

4.14
4.16
**想定を超える
混乱に直面して**

熊本大学 熊本地震記録集

4.14 4.16

想定を超える混乱に直面して

熊本大学 熊本地震記録集

目 次 contents

はじめに 学長メッセージ

第1章 熊本大学の大規模災害への備え

| | |
|--------------------------------|---|
| (1) 大規模災害を想定して | 2 |
| ◎ 減災型社会システム実践研究教育センターの地震後の取り組み | |
| (2) 危機管理体制と大規模災害対応基本マニュアル | 7 |
| ① 危機管理体制 | |
| ② 大規模災害対応基本マニュアル | |

第2章 前震、本震及び被害状況

| | |
|--------------------------|----|
| (1) 前震(平成28年4月14日21時26分) | 16 |
| (2) 本震(平成28年4月16日1時25分) | 16 |
| (3) 熊本県内の被害状況 | 18 |
| ① 人的被害 | |
| ② 建物被害 | |
| ③ ライフライン | |
| ◎ 避難所と避難者数 | |
| (4) 熊本大学の被害状況 | 20 |
| ① 人的被害 | |
| ② 物的被害 | |
| ③ 学内のライフライン | |

第3章 緊急対応

| | |
|---------------------------|----|
| (1) 災害対策本部 | 26 |
| ◎ 臨時部局長等連絡調整会議と部局ごとの対策チーム | |
| (2) 学生、教職員の安否確認 | 28 |
| ① 学生等(生徒・児童・園児含む)の安否確認 | |
| ② 教職員の安否確認 | |
| ③ 緊急開発された安否確認システム | |
| ◎ 学生の被災状況調査、教職員の住家被災状況調査 | |
| (3) 学事及び学生支援 | 34 |
| ① 休講措置 | |
| ② 被災した学生(留学生を含む)への支援 | |
| (4) 熊本市指定緊急避難場所 | 48 |
| ① 黒髪地区 | |
| ② 大江地区 | |
| ③ 本荘地区 | |
| ④ 京町地区 | |
| (5) 他大学等からの支援 | 58 |
| (6) ホームページによる情報発信 | 60 |
| ① 被害状況の発信 | |
| ② 学長からのメッセージ | |
| ③ 授業再開までの学生への周知 | |
| ◎ 報道機関、文教ニュース、文教速報 | |

| | |
|-------------------------------|-----|
| (7) 学内施設の被害確認、応急対応等 | 67 |
| (8) 化学物質等への対応 | 69 |
| (9) 医学部附属病院 | 70 |
| ① 地震発生後の体制等 | |
| ② 患者の受け入れ | |
| ③ 院内外の活動(医師、看護師の派遣など) | |
| 第4章 復旧・復興に向けて | |
| (1) 復興広報キャンペーン「復興の意気や溢るる熊本大学」 | 76 |
| ① キャッチフレーズとロゴマーク | |
| ② 広報 | |
| (2) 熊本地震復興事業基金 | 78 |
| (3) 被災学生に対する経済支援 | 80 |
| (4) 施設の復旧計画 | 85 |
| (5) 熊本復興支援プロジェクト | 86 |
| ① 震災復興デザインプロジェクト | |
| ② 阿蘇自然災害ミチゲーションプロジェクト | |
| ③ 熊本水循環保全プロジェクト | |
| ④ 熊本城等被災文化財の復旧・活用支援プロジェクト | |
| ⑤ 産業復興プロジェクト | |
| ⑥ 地域医療支援プロジェクト | |
| ⑦ 復興ボランティア活動支援プロジェクト | |
| (6) 学生ボランティア | 94 |
| ◎ 第5回紫熊祭 | |
| (7) くまもと水循環・減災研究教育センター | 97 |
| 第5章 部局長等の声 | 100 |
| 第6章 熊本地震からの教訓 | 120 |
| 第7章 資料編 | |
| (1) 学内通知等(前震から1月間) | 122 |
| (2) 主な取り組み(前震から1年間) | 136 |
| (3) 本学の被災写真 | 152 |
| (4) 平成28年熊本地震 被害状況と復旧に向けた対応状況 | 182 |
| 編集後記 | 185 |



はじめに － 想定外の想定外に遭遇して －

国立大学法人熊本大学長 原田信志

その日(4月14日)は、学内施設で開催された事務職員の歓迎会に参加し、20時頃ほろ酔い気分で帰宅した。地震発生時(21時26分)は入浴中であった。突然、湯が浴槽から振れ出るほどの激しい揺れ、浴槽にしがみつく。物が落ちる音。激しい揺れは収まるが、余震が続く。2階のベランダから大学を見ると、工学部の明かりが煌々と夜空を照らしている。いつもと同じだ。熊本城に目を向けると煙のようなものが見える(後でわかったが、石垣の崩落と瓦の落下による土煙であった)。大学から、正確な被害はわからないが、今のところキャンパス内の建物倒壊や人的被害はないとの連絡が入る。災害対策本部の設置を指示。一晩中、断続的に余震が続く。

翌朝(4月15日)、最初の災害対策本部会議。五高記念館の煙突落下、約千人が体育館に避難し一夜を明かした等の報告。詳しい被害状況の調査を指示。16時、災害対策本部会議。研究室の設備の被害が大きいが、一部では片づけも始まっている。このまま余震が収まれば、早期復旧も可能との感触を持つ。

寝入り端、ベッドから振り落とされるような激しい揺れ。生きた心地はしない。何かが倒れる大きな音。何分続いただろうか。枕元の懐中電灯で時計を照らす。(4月16日)1時半過ぎ。携帯電話の警報が鳴り続く。停電復旧。本棚が崩れ落ち、冷蔵庫も移動、テレビも落下。呼びかけに応じ、近くの公園に避難する。大勢の人々が呆然と立ちすくんでいる。数時間後、帰宅しベッドに入るが不安で眠れない。翌朝、散乱した本やテレビ等の簡単な片づけ、屋根や壁、擁壁に被害がないことを確認し大学へ。12時災害対策本部会議。一同、不安の色は隠せない。安否確認と被害状況調査のやり直し、増加する避難者を受け入れるため学内施設の開放を指示。近隣の国立大学に、水、食料及び災害用備蓄物資の提供を依頼する。17時、災害対策本部会議。被害の拡大が報告される。その後も大きな余震が続き、

2度目の地震が本震と発表された。「苦悩の日々が続くことになる。」

天災はそのほとんどが想定外であるが、今回の地震は想定の域をはるかに上回る想定外であった。数日の間に同じ地域で最大震度7の地震が2度発生したこと、2度目の地震が本震であったこと、その後も大きな余震が継続して発生したことである。そのため、更に大きな地震が来るかも知れないという不安が消えず、先の見通しが立たない状況が長く続いた。大学では、休講の期間をいつまでとするか、避難所運営の長期化など苦慮することも多かった。

反面、2度の地震が夜に発生したこと、停電の復旧が比較的早かったことで、最小限の被害に抑えることができた。日中の地震であったならば、学内で多数の負傷者が出ていただろうし、避難者への対応等で大混乱が生じたであろうと思うと背筋が凍る。また、停電が長期化すれば、日常生活に大きな影響を及ぼすとともに、特に本学では、低温機器に保存されている貴重な研究資料が喪失し、金銭では測ることができない莫大な損害となっていたであろう。

幸運にもこれらを回避できたため、地震発生からすぐに「①学生、教職員の安否確認」「②施設設備の被害調査と応急措置」「③避難所運営対策」に注力することができ、2ヶ月後には7つの「熊本復興支援プロジェクト」を立ち上げ、地域の復興支援を開始することもできた。しかしながら、これらが効果的に進められたか、大学本部と部局との間でスムーズな情報交換、情報共有が図られたか等について、今一度振り返る必要がある。

この記録は、我々の1年間の経験を記したものであり、その経験を検証するためのものである。今後、この記録を大いに活用し、反省するところは反省し、他機関の見本となるような危機管理体制の充実に努めていきたい。



第1章

熊本大学の大規模災害への備え

(1) 大規模災害を想定して

平成19年3月に整備した危機管理体制及びその整備計画に基づき、翌年3月に大規模災害対応基本マニュアルを策定した。平成22年度からは、黒髪キャンパスにおいて、地震と火災を想定した「防災・消防訓練」を実施し、初期対応、初期消火、避難等の訓練を通して、防災意識の向上を図っていた。また、平成23年度からは、学部新入生全員を対象とした共通基礎科目「ベーシック」の一部(生活のまわりのリスク)において、後述の危機管理体制及び大規模災害対応基本マニュアルを引用して、大学や住居周辺のハザードマップ、地震発生時の初期対応等を講義(毎年約1,600人が受講)していた。

【想定訓練】

- ・震度6強の地震の後、建物内で火災発生

【訓練内容】

- ・人身、建物の被害状況確認、連絡通報、初期消火、避難誘導、救出救護
- ・起震車による地震体験、消火器による消火訓練

平成24年12月には、平成23年3月の東日本大震災、平成24年7月の九州北部豪雨等の巨大規模、極端事象の災害を踏まえ、減災型社会システムの持続的な実現とその構築に資する人材育成を目的として、大学院自然科学研究科に「減災型社会システム実践研究教育センター」を設置、熊本県との共同研究講座等も活用し、防災・減災に関する研究と教育、行政や地域社会と連携しての減災型地域社会の実現化にも取り組んでいた。

減災型社会システム実践研究教育センター

Implementation Research and Education System center
for Reducing Disaster Risk (IRESC)

減災型の地域社会を持続的に実現するために、基礎から実践までをつなげることを目的とした幅広い防災・減災に関する研究を推進する。また、これまでに構築した学外地域(フィールド)、研究成果を社会技術として実装させる実践の場(フィールド・キャンパス)とし、減災型社会システムの構築に資する人材の育成を図る。

減災型自然・社会基盤システム研究推進分野

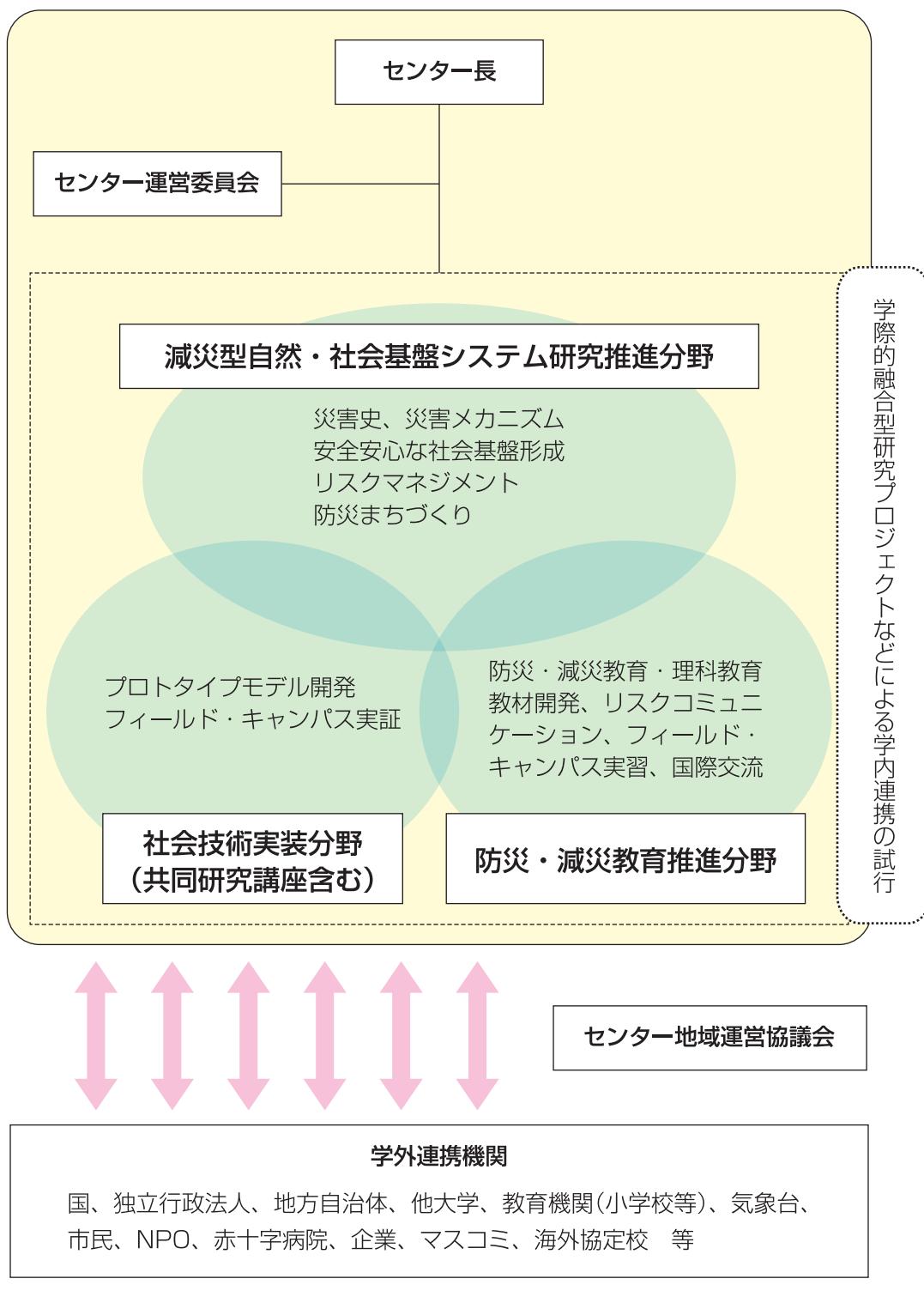
- 自然環境変動研究グループ：災害史、地圏環境変動分野、気・水圏環境変動分野
複合災害研究グループ：災害メカニズム分野、災害リスクコミュニケーション分野、
総合防災計画分野
地域安全研究グループ：社会基盤・施設設計分野、危機管理・災害復興分野、災害情報通信分野

社会技術実装分野(共同研究講座含む)

- 社会実装のためのプロトタイプモデルの開発とフィールド・キャンパスでの実証実験
共同研究講座制度を活用し、国・県・市町村、企業との人材交流・連携強化
政策創造研究教育センター等の学内関連部局および地域コミュニティとの連携強化

防災・減災教育推進分野

小・中学校と連携した防災・減災教育プログラムおよび教材の開発
リスクコミュニケーションのプロトタイプモデル開発とフィールド・キャンパス実証実験
国際的防災研究機関との教員・学生交流(交流協定)



◎ 減災型社会システム実践研究教育センターの地震後の取り組み

前震直後から、減災型社会システム実践研究教育センター(以下「減災センター」という。)は、被災地の復旧・復興支援に取り組んだ。その活動は「1. 減災センター被災地調査速報の作成・公開」「2. 地震により土砂災害リスクが増大した地域における住民説明会」「3. 行政、研究機関、N P O、マスメディア等の熊本地震に関する活動への協力」の大きく三つにまとめられる。

1. 減災センター被災地調査速報の作成・公開

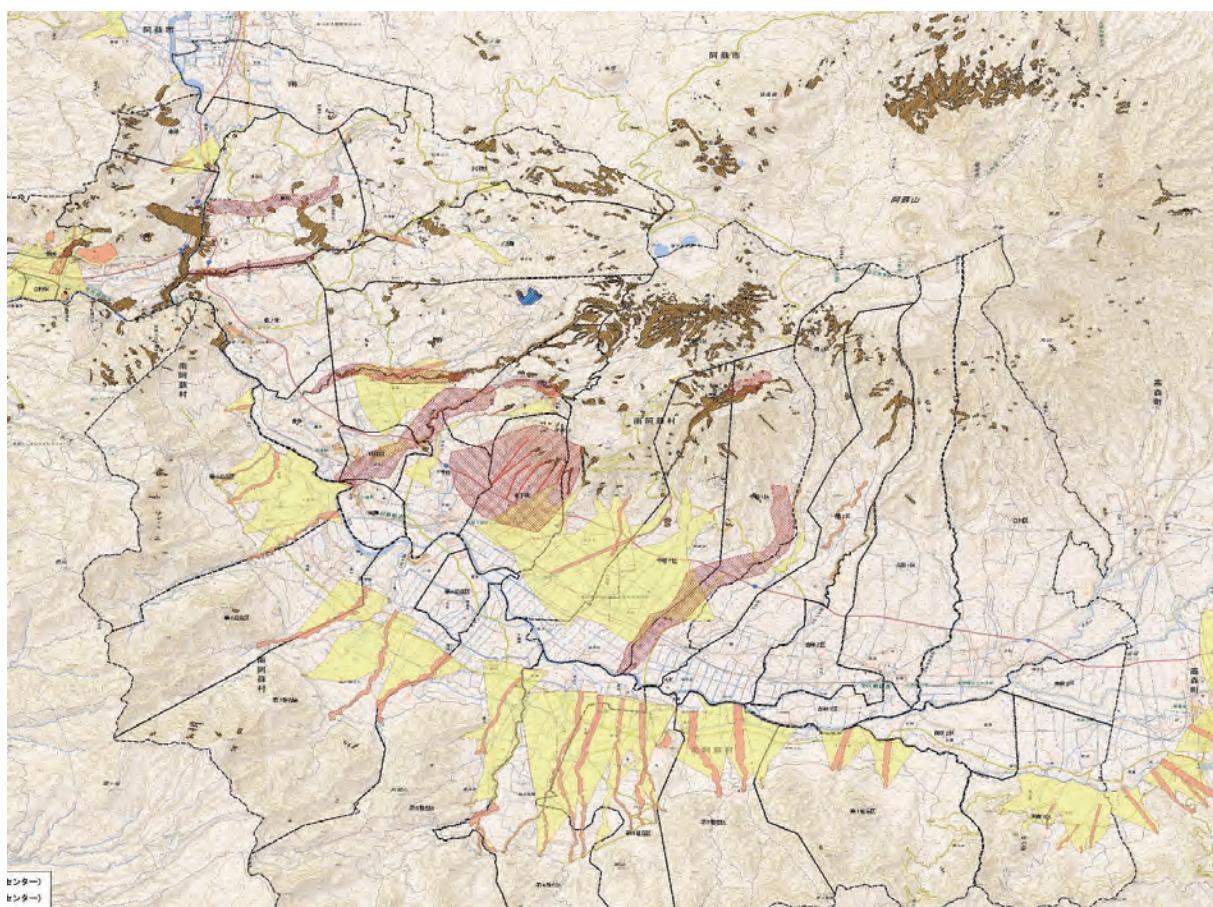
前震の翌日から、減災センターの職員は地震被害の大きかった益城町を中心に被災状況の現地調査を開始した。調査結果は「減災センター被災地調査速報」として減災センターのホームページで当日中に公開した。16日の本震後は、減災センターが所在する建物が立ち入り禁止となったものの利用可能な建物に臨時に減災センターを設置して被災地の調査活動を継続した。また、減災センター以外の本学教員や九州地区の他大学の教員にも被災調査への協力依頼することで、調査の範囲を広げた。これらの被災調査の結果を、順次、減災センター被災地調査速報の第2報、第3報という形式でとりまとめ、減災センターのホームページで公開した。この速報は、5月16日の第13報まで作成されている。減災センター被災地調査速報は、被災地から遠くの現地情報入手が難しかった他地域の研究機関やN P O等から、調査やボランティア活動のために現地入りするための事前情報として非常に有益であったとの評価を受けている。

The screenshot shows the homepage of the Implementation Research and Education System Center for Reducing Disaster Risk (IRESC). The top navigation bar includes links for 'Top Page', 'About the Center', 'Disaster Investigation' (highlighted in blue), 'Achievements', 'Disaster Prevention - Disaster Reduction Information', and 'Contact'. Below the navigation is a section titled 'Disaster Investigation' with a sub-section for 'Aso Eruption'. It lists three reports from October 2016: 'Report on Aso Eruption Investigation' (10/17), 'Report on Aso Eruption Investigation' (10/11), and 'Report on Aso Eruption Investigation' (10/11). To the right, there are three promotional boxes: 'Disaster Prevention - Disaster Reduction Education Consultation' (with a link to 'Consultation'), 'University Collaboration Disaster Prevention Promotion Project - Disaster Prevention Society Leader Training Program' (with a link to 'Leader Training Program'), and 'Kumamoto Reconstruction Support Project' (with a link to 'Access'). At the bottom, there is a section for 'Heisei 28 Kumamoto Earthquake' with a report from May 2016: 'Report on Disaster Prevention - Disaster Reduction Investigation' (5/16). A 'Return to Top' button is located at the bottom right.

減災センター被災地調査速報を掲載しているHP

2. 地震により土砂災害リスクが増大した地域における住民説明会

熊本地震により阿蘇外輪山の斜面にひび割れが発生し、梅雨時期の豪雨により土砂災害の発生する危険性が増大、地域住民の間では土砂災害に対する不安が高まっていた。減災センターでは、阿蘇の外輪山に新たに生じたひび割れや土砂崩れの状況を踏査し、そこで得られた情報から、熊本地震によるひび割れや土砂崩れによって引き起こされる土石流や斜面崩壊の影響範囲を推定して地図上に書き込んだ。下図は減災センターで作成した土砂災害危険度マップであるが、茶色の箇所がひび割れや土砂崩れを、赤の斜線の範囲が地震の影響で新たに危険になった場所を示している。



減災センターで作成した土砂災害危険度マップ

土砂災害危険度マップを用い、特に土砂災害の危険性が高まったと危惧される南阿蘇村において、下記の住民説明会を開催した。

- 日 程：6月4日(土)～7日(火)
- 主 催：南阿蘇村
- 内 容：熊本地震の調査結果と被害状況等の説明(減災センター)
梅雨期の避難体制についての説明(南阿蘇村)
気象情報等の説明(熊本地方気象台)
土砂災害対策概要等の説明(熊本県)

| 日 時 | 場 所 | 対象地区 |
|-------------|-----------|-----------------------|
| 6月4日 19:00～ | 本田技研体育館 | 新所区、立野区、立野駅区 |
| 6月5日 19:00～ | 南阿蘇中学校体育館 | 長陽地区(新所区、立野区、立野駅区を除く) |
| 6月6日 19:00～ | 白水体育館 | 白水地区 |
| 6月7日 19:00～ | 久木野小学校体育館 | 久木野地区 |



土砂災害リスクの高まった住民に対しては、豪雨が予測されているときには明るいうちからの早めの避難である「予防的避難」を行うよう呼び掛けた。また、自力では予防的避難ができない単身の高齢者や高齢者夫婦については、コミュニティバスを利用しての避難所までの送迎サービスを南阿蘇村と協力して提供した。熊本地震により増大した土砂災害リスクについての住民説明会は、益城町、西原村、阿蘇市でも開催した。

3. 行政、研究機関、NPO、マスメディア等の熊本地震に関する活動への協力

減災センターでは、熊本地震の調査、復旧・復興、広報活動を行う組織や団体等からの協力要請を積極的に引き受けた。国土交通省、熊本県、熊本市、益城町、南阿蘇村、西原村への専門的立場からの助言、復旧・復興に関する委員会の委員、他大学や研究機関の熊本地震に関する調査への協力、ボランティア活動組織への協力、新聞やテレビのインタビューへの協力などである。

(2) 危機管理体制と大規模災害対応基本マニュアル

① 危機管理体制

平成19年3月に、過去に発生した危機事象、顕在化する可能性が大きい危機事象や法令、文部科学省等の通達に基づき作成されていた個々のマニュアルや手順書等に、予防的観点も踏まえた全学の危機管理に関する基本的な考え方や責任体制、対応手順等を「熊本大学危機管理体制」として整備し、既存マニュアル等についても定期的に点検・見直すこととした。

■ 危機管理体制の整備計画

| | ～18年度 | ～19年度 | 20年度～ |
|---------------|--|--|--------|
| 全学の危機管理体制 | | 新規 (19.4) <ul style="list-style-type: none"> ●危機管理規則 <ul style="list-style-type: none"> ・学長、理事、部局長等の責務の明確化 ・危機発生時の基本的対応手順の明確化等 | |
| 全学共通基本的マニュアル等 | 既存 <ul style="list-style-type: none"> ●時間外緊急連絡網 | 新規 <ul style="list-style-type: none"> ●大規模災害時の対応マニュアル | |
| | | 新規 (19.4) <ul style="list-style-type: none"> ・平常時の危機発生予知予防活動 ・危機発生時初期緊急対応手順 ・部局共通の危機発生時の対応マニュアル ・緊急時の対応内容チェックシート、報道対応 ・復旧活動 ・危機管理の点検・評価 | 点検/見直し |
| その他の個別マニュアル | 既存(抜粋) <ul style="list-style-type: none"> ●国立大学法人熊本大学防火規則 ●健康・安全の手引き ●利益相反ハンドブック ●国際交流関係危機管理マニュアル <p>ほか 24件</p> | 点検/見直し | |
| | | 新規 <ul style="list-style-type: none"> ●整備が必要な各マニュアル等 | |

熊本大学危機管理体制

◎ 国立大学法人熊本大学危機管理規則

- 危機管理の対象となる事象の具体例（別表）
- 危機事象発生状況報告書（別記様式）
(参考)
- 熊本大学における危機管理体制

◎ 国立大学法人熊本大学における危機管理の具体的対応

(平常時の危機管理)

- (1) 平常時における危機発生の予知・予防活動

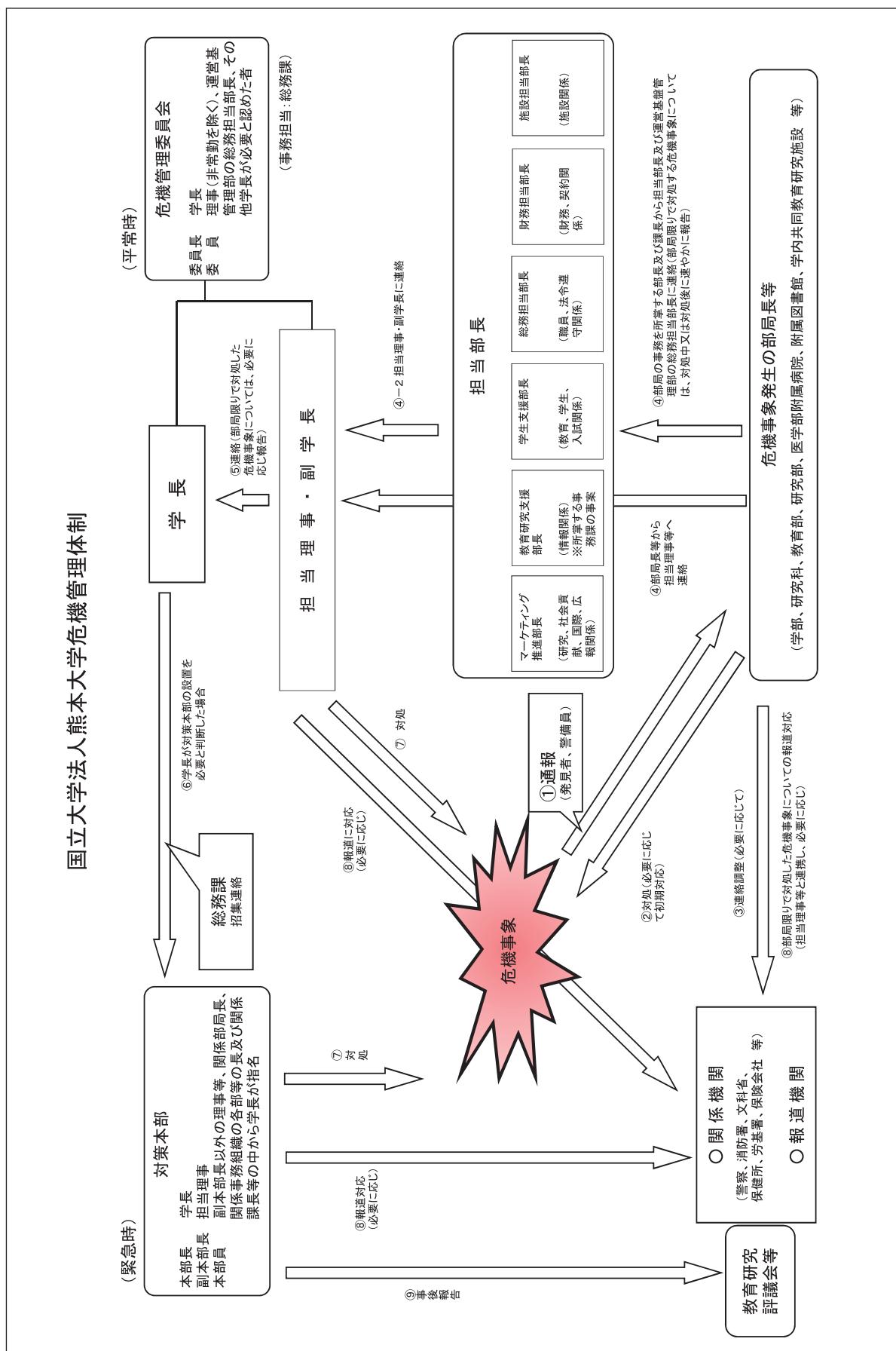
(緊急時の危機管理)

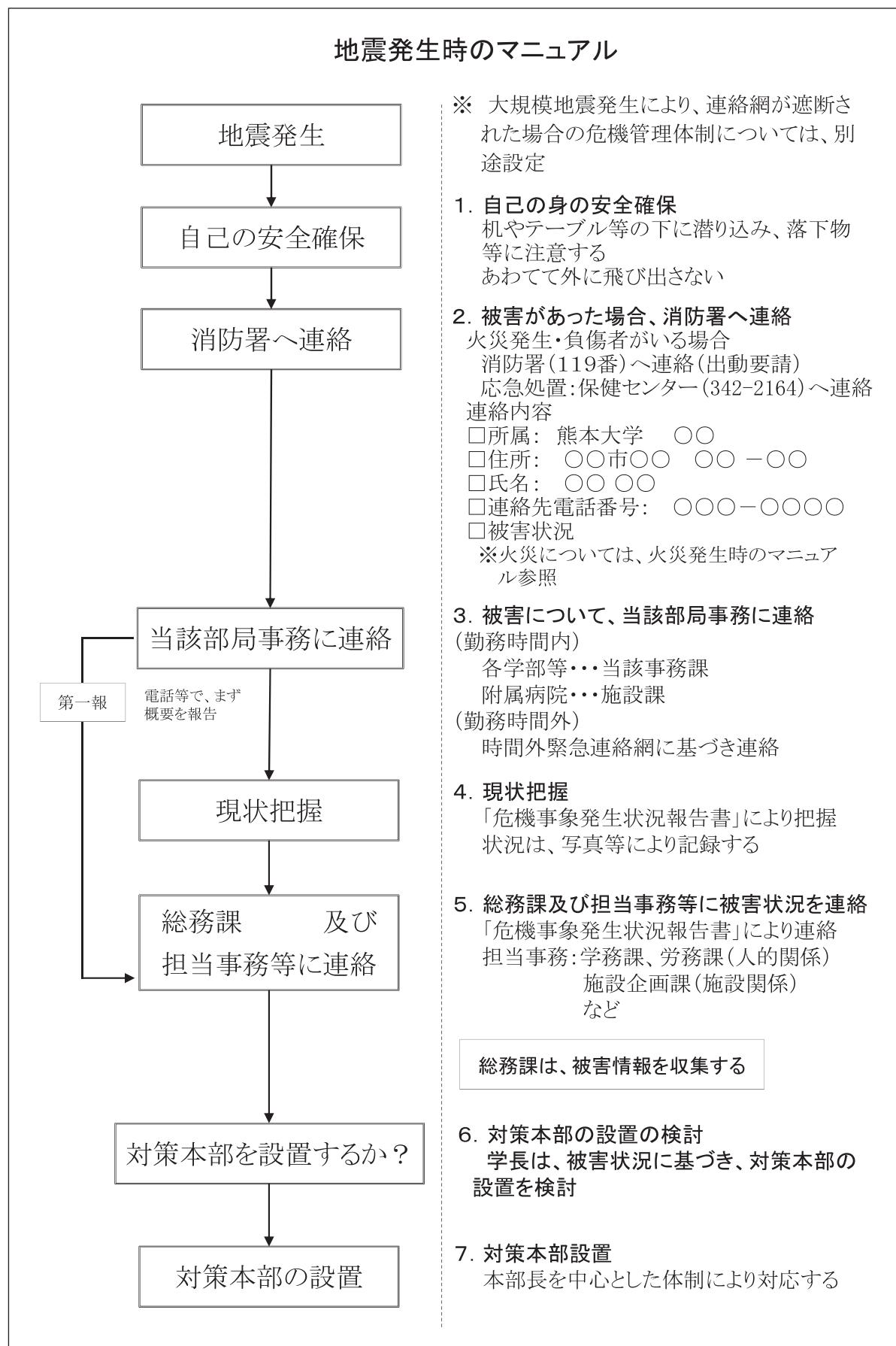
- (1) 熊本大学における危機発生時の初期緊急対応手順
- (2) 熊本大学時間外緊急連絡網
- (3) 部局共通の危機事象発生時における対応マニュアル
 - 火災発生時のマニュアル
 - 盗難発生時のマニュアル
 - 事件・事故発生時のマニュアル
 - 地震発生時のマニュアル
 - 風水害発生時のマニュアル
- (4) 緊急時の対応内容チェックシート
- (5) 緊急時の報道対応
- (6) 復旧活動

(収束時の危機管理)

- (1) 危機管理の点検・評価

◎ 国立大学法人熊本大学における危機管理マニュアル等 一覧





② 大規模災害対応基本マニュアル

平成19年3月の危機管理体制整備計画に基づき、平成20年3月に大規模地震及び風水害(台風)への対応基本マニュアルが策定された。この中で、非常時の参集体制、災害対策本部及び災害対策班の設置、安否確認の方法、地域住民の受け入れ等がまとめられ、このマニュアルに沿って対応することになった。

熊本大学における大規模災害対応基本マニュアル

大規模地震発生時の対応マニュアル

- 1 日頃の心得
- 2 地震発生時の基本的行動
- 3 避難場所
- 4 地震発生時の非常参集要領
- 5 災害対策本部・災害対策班の設置
- 6 安否確認
- 7 地域住民の受け入れ等
- 8 非常用物品備蓄リスト

風水害（台風）対応マニュアル

- 1 風水害（台風）発生時の注意事項
- 2 風水害（台風）発生時の緊急避難
- 3 災害対策本部・災害対策班の設置

共通事項

- 1 大規模災害発生時におけるライフラインの緊急対応策
- 2 化学物質等の管理と取り扱い
- 3 教育研究活動等の再開
- 4 緊急時の関係機関連絡先一覧表

ア) 非常時参集要領(役職名は平成20年度当時、イ)において同じ。)

第1次参集体制

- ① 熊本市(上益城郡益城町を含む。以下同じ。)で震度5弱の地震が発生、又は上天草市で震度5弱以上の地震が発生若しくは津波警報が発令された場合には、総務部長は、緊急時連絡要員に対し、緊急連絡網により地震情報等の伝達を行う。
- ② 緊急時連絡要員のうち緊急時参集要員は、直ちに本人の勤務場所に参集し、被害状況等の情報を収集するとともに、第5に定める各災害対策班の業務に従って、必要な初期活動を行う。ただし、教職員・家族等若しくは自宅・周辺道路等が被災したとき、又はそのおそれがあるとき、

その他の事情により大学への参集が困難な場合(以下「教職員が被災等した場合」という。)は、この限りでない。

- ③連絡を受けた緊急時連絡要員は、テレビ放送等の情報に注意して、自宅で待機するなど、連絡の取れる態勢を維持する。
- ④緊急時参集要員は、被害状況等の情報を踏まえ、必要があると認められる場合は、第2次参集体制を要請するとともに、災害対策本部の設置を要請することができる。

第2次参集体制

- ①熊本市で震度5強の地震が発生した場合には、総務部長は、緊急時連絡要員に対し、緊急連絡網により地震情報等の伝達を行う。
- ②連絡を受けた緊急時参集要員は、直ちに本人の勤務場所に参集し、各部課等に係る人的、物的被害状況等の情報を収集するとともに、各災害対策班の業務に従って、必要な活動を行う。ただし、教職員が被災等した場合は、この限りでない。
- ③連絡を受けた緊急時連絡要員(緊急時参集要員を除く。)は、テレビ放送等の情報に注意して、自宅で待機するなど、連絡の取れる態勢を維持する。
- ④電話の不通等により地震情報の伝達ができない場合、緊急時連絡要員は、テレビ放送等の情報を踏まえ、自発的に本人の勤務場所に参集し、前記②により災害活動に参画する。
- ⑤緊急時参集要員は、被害状況等を踏まえ、必要があると認められる場合は、災害対策本部の設置を要請する。

第3次参集体制

- ①教職員は、熊本市で震度6弱以上の地震の発生を了知したときは、自発的に本人の勤務場所に参集する。ただし、教職員が被災等した場合は、この限りでない。
- ②学長は、災害対策本部を設置し、本部長として本部員及び各災害対策班に対して必要な指示を行う。
- ③教職員は、災害対策本部の指示に基づき、各災害対策班の業務分担に従って、災害復旧活動に当たる。
- ④被害状況によっては、本学の学生に対しても、ボランティア活動の支援要請を行う。

参集要員(○)、連絡要員(○)

| | | 第1次 | 第2次 |
|----|----------|-----|-----|
| 1 | 学長 | | ○ |
| 2 | 理事(常勤) | | ○ |
| 3 | 部局長 | | ○ |
| 4 | 総務部長 | ○ | ○ |
| 5 | 企画部長 | | ○ |
| 6 | 財務部長 | | ○ |
| 7 | 施設部長 | ○ | ○ |
| 8 | 学務部長 | ○ | ○ |
| 9 | 研究・国際部長 | | ○ |
| 10 | 学術情報総主幹 | | ○ |
| 11 | 附属病院事務部長 | | ○ |

| | | 第1次 | 第2次 |
|----|------------------|-----|-----|
| 12 | 監査室長 | | ○ |
| 13 | 総務部総務課長 | ○ | ○ |
| 14 | 施設部施設企画課長 | ○ | ○ |
| 15 | 学務部学生課長 | ○ | ○ |
| 16 | 情報企画課長 | ○ | ○ |
| 17 | 13~16以外の課長・事務長 | | ○ |
| 18 | 13~16の副課長 | ○ | ○ |
| 19 | 17の副課長・副事務長 | | ○ |
| 20 | 13~16の係長(危機管理担当) | ○ | ○ |
| 21 | 12・17の係長(危機管理担当) | | ○ |
| 22 | その他参集が必要な職員 | ○ | ○ |

イ) 災害対策本部

| | | |
|----------|----------------------------|--|
| 本部長 | 学長 | 災害対策本部の総括 |
| 副本部長 | 理事（安全管理担当） | 本部長の補佐 |
| 本部員（本部付） | 理事（常勤）、関係部課長等の中から本部長が指名する者 | 本部長の補佐及び緊急対応方針等への意見の具申 |
| 本部員（部局付） | 各部局長、関係部課長の中から本部長が指名する者 | <ul style="list-style-type: none"> ●当該部局における災害対策業務の指揮及び緊急対応方針等への意見の具申 ●医学部附属病院長にあっては、熊本大学医学部附属病院緊急災害対策マニュアルに基づく災害医療活動の指揮 |

災害対策班

| | | |
|--|---------|---|
| 総務班 | 総務部長 | <ul style="list-style-type: none"> ●災害対策本部の総括、各班との連絡調整 ●災害状況の把握、記録 ●関係機関への緊急連絡及び支援要請 ●職員の安否確認（部局と協同して） |
| 広報・情報収集班 | 企画部長 | <ul style="list-style-type: none"> ●報道機関等外部への対応 ●情報ネットワークへの対応 ●交通機関の調査 ●その他通信・連絡手段に関すること |
| 応急措置・物資対策班 | 財務部長 | <ul style="list-style-type: none"> ●消防車等、緊急車両の進入路の確保 ●救援物資等の搬出入及び保管 ●資産等の被害状況の調査 ●その他物資対策に関すること |
| 施設・ライフライン対策班 | 施設部長 | <ul style="list-style-type: none"> ●施設等の災害拡大の防止 ●ライフラインの早期復旧 ●その他被災施設等に関すること |
| 学生対策班 | 学務部長 | <ul style="list-style-type: none"> ●学生（受験生を含む）の安否確認（部局と協同して） ●授業、入試等の対策 ●ボランティアの受け入れ ●負傷者の応急医療処置 ●その他学生の安全対策に関すること |
| 被災者対策班 | 研究・国際部長 | <ul style="list-style-type: none"> ●職員及び避難住民に対する避難場所等の周知 ●避難住民の受け入れ状況の把握 ●その他避難住民の受け入れ要請への対応 |
| 各部局災害対策班 (各部局においてマニュアル等に基づき別途危機管理体制が定められている場合は、当該体制による) | 部局長 | <ul style="list-style-type: none"> ●当該部局の被害状況に応じた応急措置 ●災害対策本部の指示に基づく災害復旧活動 ●所属学生（受験生を含む）の安否確認（学生対策班と協同して） ●所属職員の安否確認（総務・情報収集班と協同して） ●その他当該部局等の安全対策に関すること ●医学部附属病院の教職員にあっては、熊本大学医学部附属病院緊急災害対策マニュアルに基づく災害医療活動 |

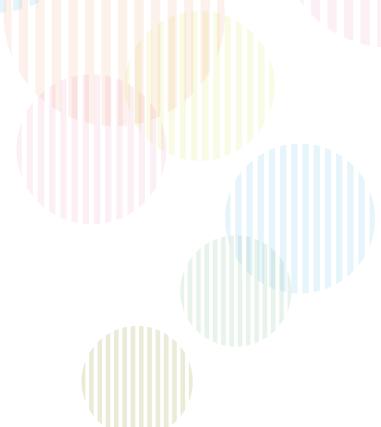
ウ) 安否確認の方法

安否確認の方法は、学生にあっては所属部局の教務担当、園児、児童及び生徒にあっては幼稚園、小中学校等の事務室、職員にあっては所属部局の総務担当に、電話による連絡を原則とし、また、災害時連絡先アドレスへのメールでの連絡や災害用伝言ダイヤル171、災害用伝言板への登録を利用することとしていた。



第2章

前震、本震及び被害状況

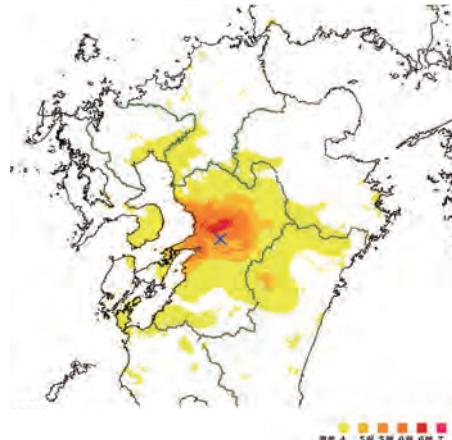


(1) 前震（平成28年4月14日21時26分）

平成28年4月14日21時26分、熊本県熊本地方を震源とする地震が発生、マグニチュード(Mj) 6.5、最大震度7を観測した。日本国内において最大震度7を観測する地震は、平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震以来、また、熊本県熊本地方での同規模の地震は、明治22年以来であった。

■ 地震の概要

- ・発生日時：平成28年4月14日21時26分
- ・震央：北緯32度44.5分、東経130度48.5分
- ・震源の深さ：11km
- ・規模：マグニチュード (Mj) 6.5
- ・最大震度：震度7（熊本県益城町）



気象庁ホームページ「推計震度分布図」より

■ 各地の震度(5弱以上)

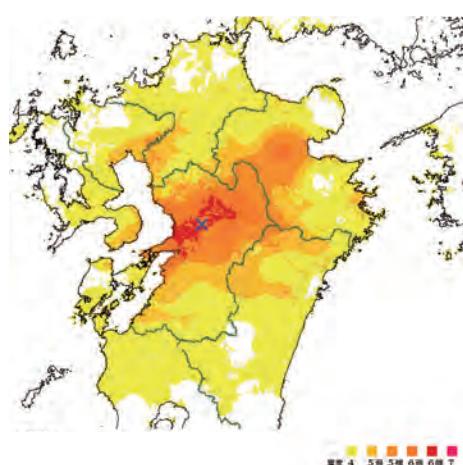
| 震度 | 都道府県 | 市町村 |
|----|------------|--|
| | | |
| 7 | 熊本県 | 益城町 |
| 6弱 | 熊本県 | 宇城市、熊本市、玉名市、西原村 |
| 5強 | 熊本県 | 宇土市、菊池市、合志市、大津町、菊陽町、氷川町、美里町、御船町、山都町 |
| 5弱 | 熊本県 宮崎県 | 阿蘇市、天草市、上天草市、八代市、甲佐町、高森町、長洲町、和水町、南阿蘇村 椎葉村 |

■ 4月14日21時27分から4月16日1時25分までの地震(震度1以上)

| 最大震度別回数 | | | | | | | |
|---------|-----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5弱 | 5強 | 6弱 | 6強 |
| 167 | 116 | 40 | 22 | 3 | 1 | 1 | 1 |

(2) 本震（平成28年4月16日1時25分）

14日21時26分の地震の後、断続的に地震(最大震度6強)が発生、これらは14日の地震の余震と考えられていたが、14日の地震から約28時間後の16日1時25分、再び最大震度7を観測する地震が発生した。その規模は、マグニチュード(Mj) 7.3を観測し、地震発生直後には、有明海と八代海の沿岸部に津波注意報も発表されたが、2時14分に解除、津波は観測されなかった。この地震を受け、気象庁は、16日の地震を本震、14日の地震はその前震であったとの見解を発表した。内陸型(活断層型)の地震においてマグニチュード(Mj) 6.5以上の地震の後、それを超える地震が発生したのは、日本で地震観測が始まった明



気象庁ホームページ「推計震度分布図」より

治18年以来初のことでの一連の地震において最大震度7が2回観測されたのは、平成8年に現在の震度階級が制定されて以来初のことであった。その後も同年12月末までに震度1以上の地震は4,209回観測され、この余震の多さも過去に類を見ない地震活動と言える。

■ 地震の概要

- ・発生日時：平成28年4月16日1時25分
- ・震央：北緯32度45.2分、東経130度45.7分
- ・震源の深さ：12km
- ・規模：マグニチュード (Mj) 7.3
- ・最大震度：震度7（熊本県益城町、西原村）

■ 各地の震度(5弱以上)

| 震度 | 都道府県 | 市町村 |
|----|---|--|
| 7 | 熊本県 | 益城町、西原村 |
| 6強 | 熊本県 | 宇城市、宇土市、菊池市、熊本市、合志市、大津町、嘉島町、南阿蘇村 |
| 6弱 | 熊本県 大分県 | 阿蘇市、天草市、上天草市、玉名市、八代市、菊陽町、和水町、氷川町、美里町 御船町、山都町 別府市、由布市 |
| 5強 | 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 | 大川市、久留米市、みやま市、柳川市 神崎市、佐賀市、上峰町 南島原市 山鹿市、芦北町、小国町、玉東町、甲佐町、高森町、長洲町、南小国町、産山村 竹田市、日田市、豊後大野市、九重町 高千穂町、美郷町、椎葉村 |
| 5弱 | 愛媛県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 | 八幡浜市 小郡市、筑後市、福岡市、八女市、大木町、遠賀町、筑前町、広川町 小城市、白石町、みやき町 諫早市、雲仙市、島原市 荒尾市、人吉市、水俣市、あさぎり町、津奈木町、南関町、山江村 臼杵市、大分市、佐伯市、津久見市、玖珠町 延岡市 長島町 |

■ 4月14日21時から平成29年3月31までの地震(震度1以上)

| 期間 | 最大震度別回数 | | | | | | | | | 計 |
|---------------|---------|-------|-----|-----|----|----|----|----|---|-------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5弱 | 5強 | 6弱 | 6強 | 7 | |
| 4/14 - 4/30 | 1,722 | 859 | 323 | 98 | 10 | 5 | 3 | 2 | 2 | 3,024 |
| 5/ 1 - 5/31 | 344 | 134 | 43 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 529 |
| 6/ 1 - 6/30 | 147 | 51 | 14 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 217 |
| 7/ 1 - 7/31 | 85 | 19 | 8 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 113 |
| 8/ 1 - 8/31 | 77 | 28 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 111 |
| 9/ 1 - 9/30 | 49 | 16 | 7 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 74 |
| 10/ 1 - 10/31 | 41 | 10 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 55 |
| 11/ 1 - 11/30 | 24 | 16 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 42 |
| 12/ 1 - 12/31 | 31 | 10 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 44 |
| 1/ 1 - 1/31 | 22 | 8 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 32 |
| 2/ 1 - 2/28 | 13 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 |
| 3/ 1 - 3/31 | 15 | 9 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 25 |
| 計 | 2,570 | 1,164 | 409 | 117 | 12 | 5 | 3 | 2 | 2 | 4,284 |

(3) 熊本県内の被害状況

① 人的被害

倒壊した建物の下敷きや土砂崩れに巻き込まれるなどして、県内で50人の死亡が確認されている。また、避難生活等におけるストレスや地震による病気の悪化などの地震関連による死者数は170人、6月の豪雨による被害で熊本地震との関連が認められた死者数は5人であり、大分県でも3人が亡くなられた。

重軽傷者は、県内では6月の豪雨による負傷で熊本地震との関連が認められた3人を含め2,682人、その他にも福岡県17人、佐賀県13人、大分県33人、宮崎県8人である。

■ 死者、負傷者

| 都道府県 | 死 者 | 重 傷 | 軽 傷 |
|------|-----|-------|-------|
| 福岡県 | 0 | 1 | 16 |
| 佐賀県 | 0 | 4 | 9 |
| 熊本県 | 225 | 1,130 | 1,552 |
| 大分県 | 3 | 11 | 22 |
| 宮崎県 | 0 | 3 | 5 |
| 計 | 228 | 1,149 | 1,604 |

■ 地震による直接死

| | |
|------|-----|
| 熊本市 | 4人 |
| 八代市 | 1人 |
| 嘉島町 | 3人 |
| 益城町 | 20人 |
| 御船町 | 1人 |
| 西原村 | 5人 |
| 南阿蘇村 | 16人 |

② 建物被害

| 都道府県 | 住宅被害 | | | 非住宅被害 | | 火 災 |
|------|-------|--------|---------|-------|--------|-----|
| | 全 壊 | 半 壊 | 一部損壊 | 公共建物 | その他の | |
| 山口県 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 福岡県 | 0 | 4 | 251 | 0 | 0 | 0 |
| 佐賀県 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 |
| 長崎県 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 熊本県 | 8,688 | 33,809 | 147,563 | 439 | 10,943 | 15 |
| 大分県 | 9 | 222 | 8,062 | 0 | 62 | 0 |
| 宮崎県 | 0 | 2 | 21 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 8,697 | 34,037 | 155,902 | 439 | 11,007 | 15 |



③ ライフライン

ア) 電 力

最大47万7千戸が停電(4月16日2:00)した。20日19時頃には、がけ崩れや道路の損壊等により復旧が困難な箇所を除き高圧配電線への送電が完了した。また、大規模な土砂崩れにより送電が困難となっていた阿蘇市、高森町、南阿蘇村においては、27日に送電線の仮復旧工事が完了し、同日21時頃には、系統から電力供給に切り替わった。

イ) 水 道

約44万6千戸で断水した。熊本市では、30日18時頃には全域に水道水が供給された。

ウ) ガ ス

都市ガスの供給停止は最大で約10万5千戸、その全ての供給再開は、30日13時頃であった。

エ) 交通機関

14日の前震直後から、一般道及び高速道路の多数の区間が通行止めとなった。特に16日の本震により、国道57号線では道路斜面が崩壊、国道325号線では橋(阿蘇大橋)が崩落したため、その復旧には数年を要するものと想定される。

鉄道も多数の区間で運転見合わせとなったが、鹿児島本線では21日熊本駅～八代駅間の運転再開により、九州新幹線では27日熊本駅～新水俣駅間の運転再開により、全線が復旧した。豊肥本線は、線路への土砂流入など被害が大きく復旧に至っていない。

熊本空港もターミナルビルの天井板落下等により一次閉鎖されたが、19日には部分的に運用が再開され、23日には被災前の運行便数にも対応可能な状態となった。

○ 避難所と避難者数

避難所と避難者数は、最大で、熊本県では855箇所、183,882人、大分県では311箇所、12,443人(いずれも17日)であった。熊本県では11月18日、大分県では5月16日をもって全避難所が閉鎖された。



(4) 熊本大学の被害状況

① 人的被害

前震、本震とも最大震度7を観測し未曾有の被害をもたらした地震であったが、発生時刻が前震21時26分、本震1時25分だったこともあり、学生及び教職員の人的被害のほとんどは大学外での軽傷であり、また、幸いにも本学関係者の死亡者、行方不明者はなかった。

■ 人的被害の内訳

| | |
|------|--------------------------|
| 死　亡 | 0 |
| 行方不明 | 0 |
| 重　傷 | 1 (学生) |
| 軽　傷 | 107 (学生96<うち留学生11>、職員11) |

② 物的被害

ア) 設備備品

設備備品等に関しては、地震直後から運営基盤管理部(財務担当)が各部局に被害状況を照会し、継続的に取りまとめた。その結果、質量分析装置やX線回折装置といった主要大型研究設備等に大きな被害が発生していることが判明した。

運営基盤管理部(財務担当)としては、復旧に係る詳細な所要額も含めて調査を行い、早期復旧及び文部科学省への災害復旧予算の要求に備えた。

| 被害状況照会の経緯 | |
|-----------|--|
| ○各種照会回答等 | |
| 4/15 | 地震による被害状況について学内調査発出 |
| 4/25 | 「平成28年熊本地震による設備(施設を除く)の被害状況調査について」学内発出 |
| 5/ 9 | 熊本地震による設備被害状況調査について文部科学省より受信 |
| 5/13 | 被害状況報告書(設備)を文部科学省に提出(1回目) |
| 5/25 | 被害状況報告書(設備)を文部科学省に提出(2回目) |
| 6/21 | 被害状況報告書(設備)を文部科学省に提出(3回目) |
| 7/10 | 被害状況報告書(設備)を文部科学省に提出(4回目) |
| 7/14 | 7/10分を除く被害状況報告書(設備)を文部科学省に提出(5回目) |
| 7/27 | 「平成28年度国立大学法人運営費交付金の追加配分について」文部科学省より伝達 |
| 10/11 | 平成28年度補正予算(第2号)成立(被災設備等復旧予算措置) |

各部局からの被害状況報告に基づき文部科学省へ復旧に係る経費を要求した結果、設備被害の復旧経費として8,362,101千円(平成28年度一次補正:6,162,397千円、平成28年度二次補正:2,199,704千円)が予算化された。

また、地震により被害を受けた設備の早期復旧と教育研究体制の整備を図るために、次のような対応を行い平成28年度中の復旧に取り組んだ。

被災設備備品等に関する処理作業

●被害状況の効率的把握のための措置(4/25)

固定資産データを基に共通サーバへ部局毎の報告用エクセルファイルを準備し、被害状況及び被害写真データの共有化を図り、契約課と連携のうえ調査を開始

●物品使用可否判定ラベルの配付(5/9)

地震により被害を受けた設備の被害状況判定用に、設備の「確認・使用不可備品」ラベルを部局に配付

●部局事務への説明会の開催(5/23)

復旧への先が見えない不安を解消するために、今後の予算の見通し、スケジュール等について部局事務に対し説明会を実施

●取引業者に対し被害額の早期把握のための協力依頼説明会を開催(5/25)

震度7を超える地震が連續して発生したこと、震度5を超える余震が頻発していたことなどから、研究機器メーカーが熊本入りを自粛するなどにより被害額の確定作業が遅々として進まない状況が続いたため、取引業者へ見積書の早期提出依頼のための説明会を開催し、被害額の早期把握のための協力を依頼

●設備復旧に伴う会計処理の特例措置

(1) 地震により被害を受けた設備の代替購入や修繕について、特例規程を活用し契約手続の短縮による早期復旧を可能とした

(2) 具体的な事務手続等を定め、7月4日に学内に通知し、7月8日に特例措置の説明会を開催した



イ) 施設

前震、本震その後の余震を受け、各キャンパスの建物にひび割れや外壁タイル等の崩落、天井ボードの落下、水漏れ等による被害が多数発生した。また、地盤の沈下や擁壁のひび割れなど外構の被害も発生した。

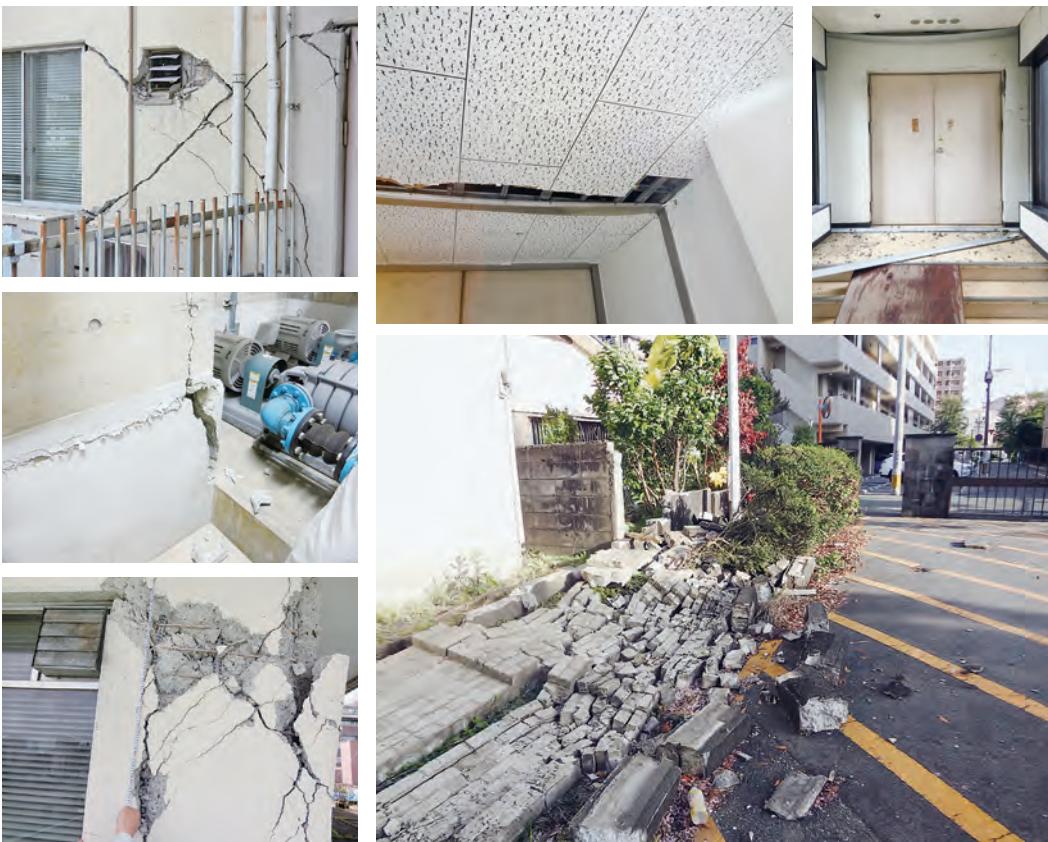
黒髪キャンパス

重要文化財である五高記念館、化学実験場及び工学部研究資料館は、煙突の倒壊、壁のひび割れや落下、屋根瓦の損傷や落下など甚大な被害を受けたため、直ちに立入を規制した。また、工学部1号館は、柱や壁梁のひび割れなど建物構造部に大きな被害を受けたため、立入を規制し建物構造被害の詳細調査を行った結果、取り壊しの後、新築することになった。



本荘キャンパス・大江キャンパス

本荘北キャンパスの外来臨床研究棟は、柱や壁のせん断、ひび割れなど建物構造部に大きな被害を受けたため、立入を規制し建物構造被害の詳細調査を行った。また、本荘中キャンパスの施設は、建物の外壁タイル崩落、地盤の沈下やひび割れなど大きな被害を受けた。大江キャンパスでは、建物の被害のほか外構のブロック塀の破損などもあった。



京町キャンパス

附属小学校管理棟は、柱等のひび割れなど建物構造部に大きな被害を受けたため、立入を規制し建物構造被害の詳細調査を行った結果、取り壊しの後、新築することになった。また、附属小学校A棟・B棟の教室は、天井ボードの落下などの被害があった。



城東町キャンパス・宇留毛キャンパス

城東町キャンパスでは、塀の破損や傾きが生じた。

宇留毛キャンパスでは、擁壁等に法面ひび割れや地割れが生じたため、国際交流会館B棟と職員宿舎の入居者を退去させ、立入を規制した。



その他の地区（渡鹿、益城、東町）

建物の内外部にひび割れや塀の倒壊などの被害が発生した。



③ 学内のライフライン

ア) 電気

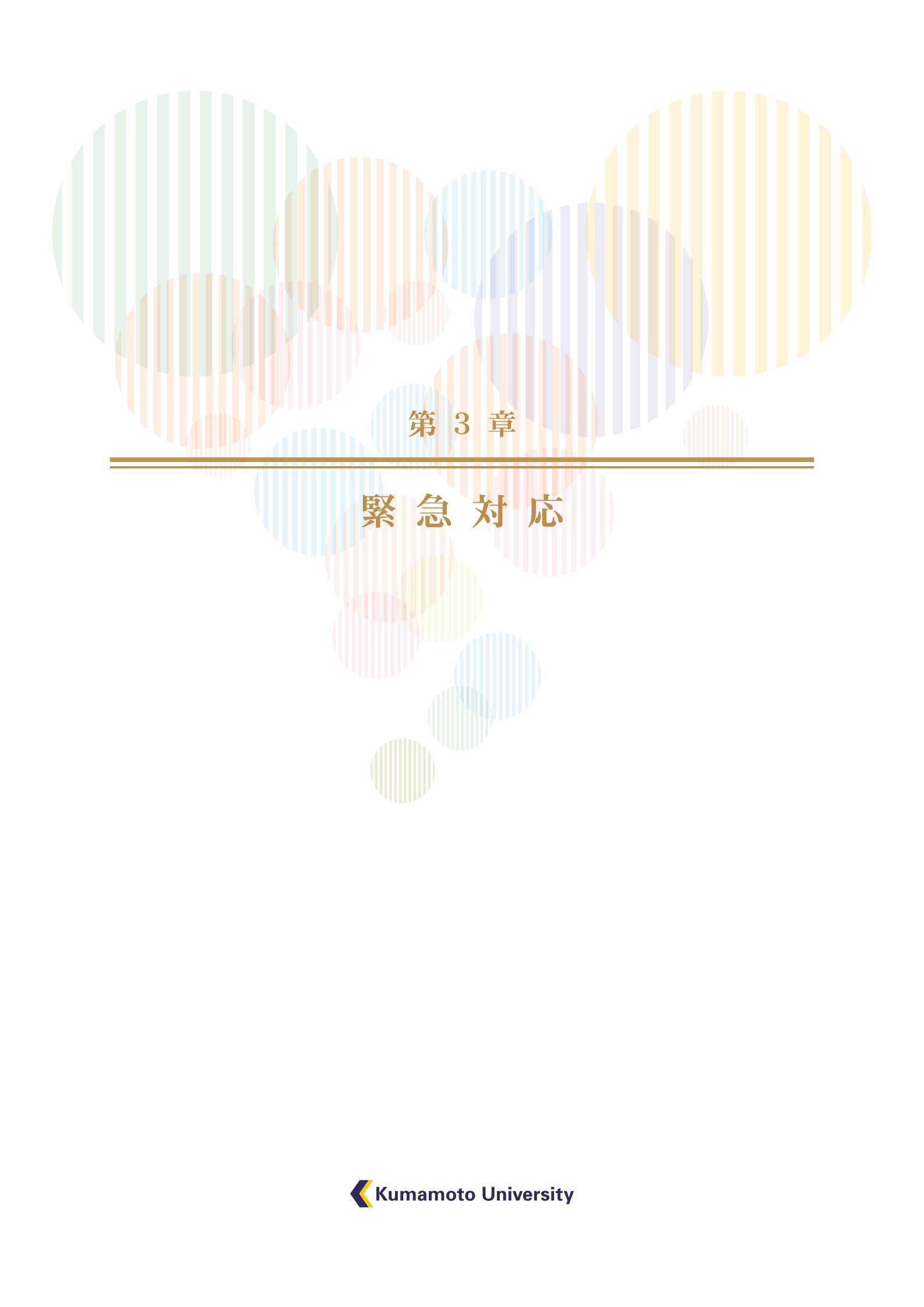
本震発生時には一時的に停電したが、当日から通常どおり受電、供給できた。

イ) 水道

前震発生時に市水は供給が停止されたが、点検確認の後、順次供給が開始され、26日には全てのキャンパスで供給可能となった。なお、井戸水供給な主要キャンパスでは、本荘北キャンパスを除き通常どおり供給できた。

ウ) ガス

前震発生時に都市ガスは供給が停止されたが、点検確認の後、順次供給が開始され、28日には全てのキャンパスで供給可能となった。



第3章

緊急対応

(1) 災害対策本部

前震を受け、危機管理担当の財務・施設担当理事、総務担当部長、施設担当部長、施設担当の職員等が大学に参集、黒髪キャンパス建物の被害状況を確認、医学部附属病院の状況と併せて学長に報告、翌15日に学長を本部長とする災害対策本部を設置、10時に災害対策本部を開き、学生、生徒、児童、園児及び職員の安否確認を最優先とすること、また、学内施設の被害情報の把握に努めることが確認された。同日は16時にも災害対策本部会議を開催、施設等の被害、避難所の



状況等が報告され、本学の状況を隨時ホームページで発信することとした。

災害対策本部会議は、28日までは24日(日)を除き毎日(15日から17日までは1日2回)、5月からは週2回、6月からは週1回、9月からは月1回開催、翌年4月17日の第41回の会議で終了した。

「平成28年熊本地震」に関する被害状況について (お知らせ) (4月15日12時現在)

1. 人的被害について

教職員2名が軽症を負っています。学生も含めて、引き続き調査中です。

2. 物的被害について

五高記念館の煙突損傷落下等が発生しています。

その他、建物にも、壁の剥落、水漏れ等の複数の被害が発生していますが、特に大きな被害はありません。

なお、薬品等に関しては、現在のところ被害報告はありませんが、引き続き調査中です。

3. 医学部附属病院について

通常どおり診療しています。

地震により怪我をされた方を受け入れ治療しています。

4. ライフラインについて

黒髪北、京町及び大江キャンパスではガスが一部供給停止となっています。

その他の状況については引き続き調査中です。

5. 地区避難所について

黒髪北キャンパス体育館及びグラウンド、大江体育館を避難所として開放しています。

余震が続いているが、今後も被害状況の把握並びに大学の安全確保に努めてまいります。

◎ 臨時部局長等連絡調整会議と部局ごとの対策チーム

本震から2日後の18日14時に部局長を招集し臨時の部局長等連絡調整会議を開き、本学施設等の被害や学内に開設されている避難所等の状況を報告、休講を5月6日まで延長すること、部局に「対策チーム」を設置し大学全体として早期復旧に取り組むことを確認、また、施設等の復旧に向けた1週間の短期的対応について情報共有を図った。

■ 任務（復旧に必要な事項の洗い出し）

◎本学が通常業務を取り戻すことを最優先事項とし、不要不急の業務を停止

※短期：遅くとも4/22まで、中期：5/13まで

| | 緊急度 | いつまでに | 何をするのか | 担当部署 |
|------------------------------|-------|-------|--------|-------------|
| 人的被害の確認 | | | | |
| 学生の安否確認 | 短期 | | | 学生支援部、各部局 |
| 学業への影響の確認 | 短期～中期 | | | 学生支援部、各部局 |
| 学生支援 | 中期 | | | 学生支援部 |
| 教育職員の安否確認 | 短期 | | | 各部局、事務局 |
| 職務専念への影響の確認 | 短期～中期 | | | 各部局、事務局 |
| 被害状況の全容把握 | | | | |
| (教育関係) | | | | |
| 教育業務再開時期 | 短期 | | | 各部局 |
| 教育に支障がある被害の有無 | 短期 | | | 各部局 |
| 代替措置の有無（「有」の場合は、具体的に記載） | 短期 | | | 各部局 |
| 至急財政措置が必要な事項 | 短期 | | | 各部局 |
| 中長期的に財政措置が必要な事項 | 中期 | | | 各部局 |
| 通常業務に戻る上で、陥路となっているものの洗い出し | 短期～中期 | | | |
| 被害箇所の把握 | 短期～中期 | | | 各部局、財務課 |
| (研究関係) | | | | |
| 研究に支障がある被害の有無 | 短期 | | | 各部局 |
| 代替措置の有無（「有」の場合は、具体的に記載） | 短期～中期 | | | 各部局 |
| 至急財政措置が必要な事項 | 短期 | | | 各部局 |
| 中長期的に財政措置が必要な事項 | 中期 | | | 各部局 |
| 通常業務に戻る上で、陥路となっているものの洗い出し | 短期～中期 | | | 各部局、財務課 |
| 被害箇所の把握 | 短期～中期 | | | 各部局、財務課 |
| 復旧財源の確認・自己財源で復旧が必要な事項の洗い出し | 短期～中期 | | | 財務課、施設企画課 |
| 地域復興に大学ができること | | | | |
| チャンネルの確認・情報集約 | 短期 | | | 社会連携課 |
| 医療支援、メンタルケア（熊本県・熊本市等、自治体と協議） | 短期～中期 | | | 附属病院 |
| 減災センター及び政創研の研究者からヒアリング | 短期～中期 | | | 関係部局 |
| 一時避難場所の維持 | | | | |
| 維持期限 | 短期 | | | 経営企画本部、対応部局 |
| 維持体制 | 短期 | | | 経営企画本部、対応部局 |
| 学生ボランティア | 中期 | | | 学生支援部 |
| 長期化した場合 | 中期 | | | 経営企画本部、対応部局 |

■ 対策チーム

人社系チーム、教育学チーム、理学系チーム、工学チーム、パルスチーム、マグネチーム
医学チーム、薬学チーム、保健学チーム、情報系チーム、国際チーム、院先導チーム
社会連携チーム、教育課程推進チーム、発生医学チーム、生命資源チーム、エイズ研チーム
先端医学チーム、埋文チーム、環境安全チーム、施設管理チーム、図書館チーム、病院チーム

(2) 学生、教職員の安否確認

① 学生等(生徒・児童・園児含む)の安否確認

前震翌日の15日8時30分、学生支援部から各部局教務担当に対して、全学生の安否を確認すること及びその結果を毎日13時、15時及び17時に報告するよう依頼した。各部局においては、電話やメール等で連絡をとり、学生名簿と突合し未確認学生を特定するなどして安否情報の収集に取り組んだ。17日からは、緊急開発された「安否確認システム(P31参照)」も活用し、可及的速やかな安否情報の収集に努めた。最終的には27日(水)9時の報告をもって、全学生の安否確認が完了した。

安否確認状況(平成28年4月27日9:00現在)

| 部局 | 確認者数 | 学生数 | 特記事項 |
|-----------|--------|--------|-------------------------------------|
| 文学部 | 778 | 778 | |
| 教育学部 | 1,277 | 1,277 | 軽傷者2年男子3名(2名は逃げる際にガラスで足を切り、1名は足を打撲) |
| 専攻科 | 23 | 23 | |
| 別科 | 40 | 40 | |
| 法学部 | 901 | 901 | |
| 理学部 | 803 | 803 | |
| 医学部(医) | 733 | 733 | |
| 医学部(保健) | 607 | 607 | |
| 薬学部 | 504 | 504 | |
| 工学部 | 2,388 | 2,388 | |
| 学部小計 | 8,054 | 8,054 | |
| 教育学研究科 | 93 | 93 | |
| 社会文化科学研究科 | 244 | 244 | |
| 自然科学研究科 | 1,170 | 1,170 | |
| 医学教育部 | 384 | 384 | |
| 保健学教育部 | 98 | 98 | |
| 薬学教育部 | 151 | 151 | |
| 法曹養成研究科 | 19 | 19 | 学生自宅家屋倒壊(益城町)の報告あり。 |
| 大学院小計 | 2,159 | 2,159 | |
| 附属中学校 | 477 | 477 | |
| 附属小学校 | 654 | 654 | |
| 附属幼稚園 | 140 | 140 | |
| 特別支援学校 | 61 | 61 | |
| 附属学校園小計 | 1,332 | 1,332 | |
| 合計 | 11,545 | 11,545 | |

※上記学生数には留学生523名を含む。

外国人留学生への対応については、地震直後に留学生用宿舎である国際交流会館に職員が駆け付け、避難誘導を行うとともに全留学生に対してメール、Facebook、Twitter等を活用して安全確保と避難所の周知を行った。安否確認は、前震時は15日に、本震時は19日に完了した。その方法は、安否確認システムの登録情報、指導教員及び各学部教務担当からの情報収集、各国の大連館、出身協定大学等が持つ情報の入手、留学生のネットワークの代表者への確認、避難所に直接足を運んで確認するなど様々な方法を駆使した。また、来日後間もない留学生も多数在籍していたため、一人で孤立しないよう個別に連絡を取れる窓口があることも周知した。

② 教職員の安否確認

前震を受け、翌15日7時48分に各部局等の事務担当宛てに人的被害と建物被害の把握とその報告についてメールを発出、同日17時時点では軽傷者2名との報告を受けた(この数以外の全教職員の安否が確認されたものではない)。

【依頼・第1次報告9時まで】地震の被害状況の確認について

総務課-総務担当

送信日時: 2016年4月15日 7:48

宛先: ☆各部局長及び本部長/各部長(22,10,1-)

CC: 施設企画課-企画担当

各総務担当 各位

お世話になります。

地震による被害について情報を収集しております。

つきましては、現時点で把握できている被害状況を下記により午前9時までに報告願います。

なお、今後新たな被害を把握した場合は隨時報告願います。

【確認事項】

1 学生の人的被害状況(死亡、重傷、軽症、不明など)

2 職員の人的被害状況(死亡、重傷、軽症、不明など)

3 本学の建物の被害状況

※建物等の被害は、施設企画課と情報を共有しますので、施設企画課へもCC等で報告願います。

このメールは☆各部局及び各部の総務担当(28,4,1-)へ送信しています。

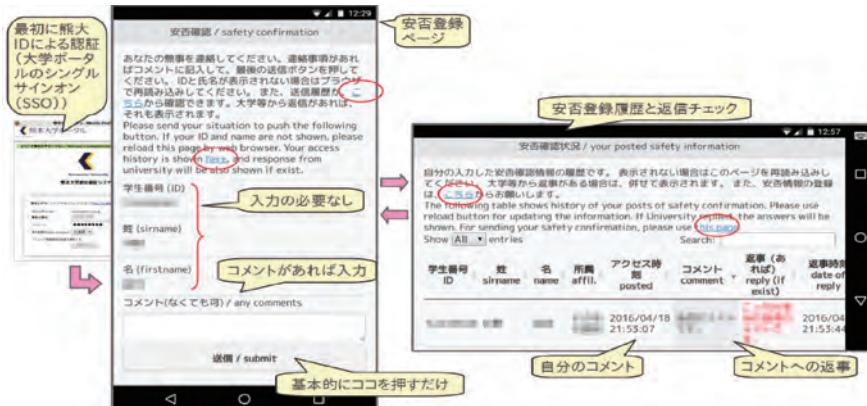
本震は、前震を上回る規模の地震であったため、改めて人的被害等の状況を把握することになり、本震発生当日11時54分に再調査を依頼するメールを発出した。ただし、当日が休日(土曜日)であったこと、教職員の多数が被害を受けていたことから、本格的な安否確認作業は18日(月)からとなった。また、個人ごとの正確な安否情報を把握するため、18日11時44分には人事給与システムから部局ごとに常勤職員と有期雇用職員を抽出し、各事務担当に送付した。

本震発生5日後の21日には、常勤職員及び非常勤講師を除く有期雇用職員の全員の安否を確認したが、非常勤講師の安否が確認できたのは5月10日で24日を要した。

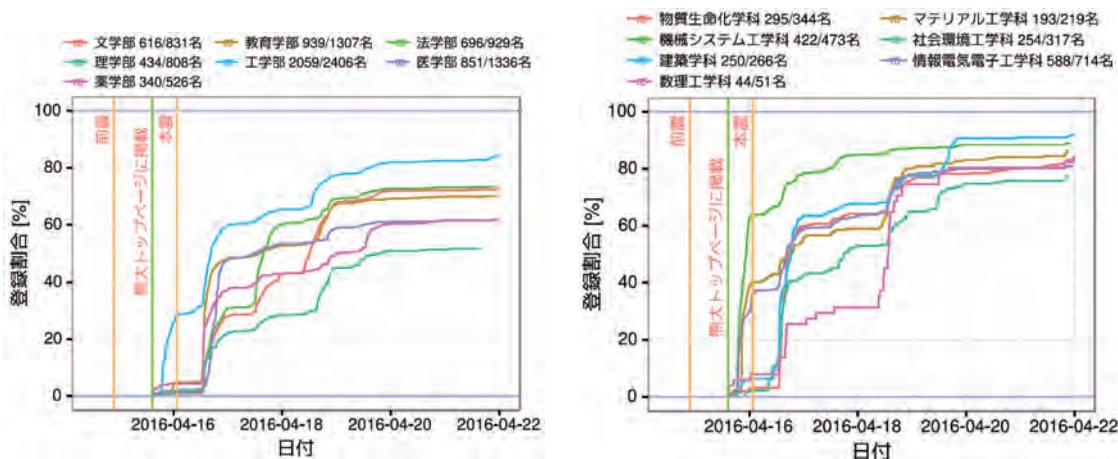
平成20年3月に策定された大規模災害対応基本マニュアルによる安否確認方法(P13参照)では、各人からの所属部局への電話連絡を原則とし、また、災害時連絡先アドレスへのメール送信や災害用伝言ダイヤル171、災害用伝言板への登録としていたが、それらの方法は、ほとんど機能しなかった。

③緊急開発された安否確認システム

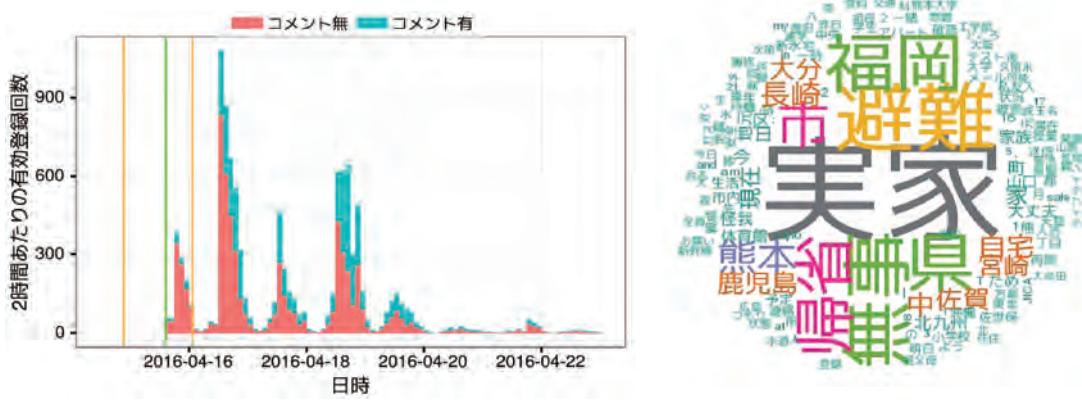
前震の後、各部局では主に電話により安否確認を行っていたが、15日11時頃、工学部長から総合情報統括センターに大学の統合認証システムを活用しての安否確認システムの構築について要請があり、13時過ぎには初版(学生の登録機能のみ)が完成、14時頃には大学と工学部のホームページのトップページにシステムの情報が掲載され、運用が開始された。その後、教職員も対象とし、コメントへの返信機能や集計機能の追加と集計速度等も改善され、特に工学系学生の安否確認に大きな効果を發揮した。



開発した安否確認システム(熊本大学統合認証で個人特定、コメント入力可)



各学部(左)及び工学部各学科(右)の登録状況(SNS等による連絡体制も反映)



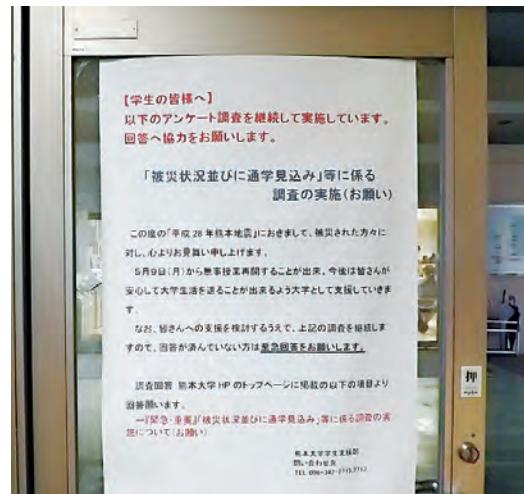
地震直後の安否登録状況とコメントの有無(左)、コメント中の頻出単語(右)

◎ 学生の被災状況調査

安否確認作業が終了した後、5月9日(月)の授業再開に向けて、Webアンケートツールを利用して25日から5月30日まで間「被災状況等把握に係る緊急調査」を実施した。なお、アンケート調査時に通学困難と回答した学生に対しては、電話等でライフラインの復旧又は転居等により通学可能か否かを再確認した。アンケート回答率は、64.6%であった。

平成28年4月25日

| |
|--|
| 学部 各研究科の長 殿 教育部 副学長 (教育・学生支援担当) 授業再開に向けた学生の被災状況等の把握に係る 緊急調査の実施について（お願い） この度の平成28年熊本地震に伴う学生の安否確認に際しましては、皆様のお陰をもちまして、現状、ほぼ全員の確認ができたところです。 各部局におかれましては、震災直後の復旧に向けた対応の中、ご尽力いただきましたことに対しまして、改めて感謝申し上げる次第です。 引き続き、5月9日(月)の授業再開に向けて、鋭意ご努力されていることと存じますが、学生自身が無事修学できるようになるかの確認が最も重要な課題であると考えております。 そのため、下記内容に係る調査の実施について、別紙のとおり貴部局等学生に対して通知する予定です。 については、ご多忙のところ誠に恐縮でございますが、本学ホームページから必要事項を回答するよう周知いただきたく、ご協力方よろしくお願い申し上げます。 |
| 記 ○学生の被災状況等に係る調査事項 1. 怪我の状況について ①無傷 ②軽傷 () ③重傷 () ④その他 () 2. 震災前の居住形態について ①自宅 ②学生寮 ③アパート ④その他 () 3. 震災後の上記2の被災状況について ①全壊 ②半壊 ③一部損壊 ④被災なし ⑤不明 4. 授業再開（5月9日（月）予定）後の居所について ①震災前の住居と同じ ②実家 ③親戚・知人宅 ④避難所 () ⑤未定 () 5. 授業再開後の通学の見込みについて ①通学可能 ②JR等の交通機関が復旧すれば可能 ③通学困難、その理由 () 6. 携帯電話番号： 1 変更なし 2 変更あり () 7. メールアドレス： 1 変更なし 2 変更あり () |



学生の被災状況等調査（H28.6.1現在）

| | 学生数 | HP回答数 | 学部 報告 | 合計 | 1.怪我 | | | | 2.震災前の居住形態 | | | | 3.住居の被災状況 | | | | 4.授業開始後の住居 | | | | 5.通学見込み | | | | | |
|-----------|--------|-------|----------|-------|-------|----|----|-----|------------|-----|-------|-----|-----------|----|-------|-------|------------|------------|-----------|-------------------|------------|-----|----------|-------------|----------|---|
| | | | | | 無傷 | 軽傷 | 重傷 | その他 | 自宅 | 学生寮 | アパート | その他 | 全壊 | 半壊 | 一部損壊 | 被災なし | 不明 | 被災前 と同じ | 実家に 避難 | 親戚・ 知人宅 に避難 | 避難所 に避難 | 未定 | 通学可 能 | JR等復 旧可能 | 通学困 難 | |
| 文学部 | 778 | 664 | 98 | 762 | 753 | 8 | 0 | 1 | 179 | 35 | 542 | 6 | 0 | 4 | 194 | 482 | 82 | 709 | 11 | 9 | 1 | 32 | 729 | 28 | 5 | |
| 教育学部 | 1,277 | 757 | | 757 | 743 | 12 | 0 | 2 | 297 | 11 | 440 | 9 | 3 | 11 | 234 | 415 | 94 | 680 | 19 | 15 | 5 | 38 | 695 | 60 | 2 | |
| 専攻科 | 23 | 20 | | 20 | 19 | 0 | 0 | 1 | 11 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 6 | 14 | 0 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 | 0 | 0 | |
| 別科 | 40 | 36 | | 36 | 36 | 0 | 0 | 0 | 5 | 1 | 30 | 0 | 0 | 1 | 12 | 17 | 6 | 31 | 0 | 2 | 0 | 3 | 33 | 3 | 0 | |
| 法学部 | 901 | 710 | | 710 | 700 | 9 | 0 | 1 | 188 | 18 | 501 | 3 | 1 | 10 | 182 | 410 | 107 | 664 | 19 | 3 | 1 | 23 | 676 | 32 | 2 | |
| 理学部 | 803 | 698 | 5 | 703 | 698 | 4 | 1 | 0 | 164 | 29 | 499 | 11 | 1 | 2 | 239 | 392 | 69 | 656 | 6 | 8 | 2 | 31 | 679 | 23 | 1 | |
| 医学部（医） | 733 | 423 | | 423 | 405 | 15 | 0 | 3 | 145 | 6 | 269 | 3 | 0 | 6 | 1 | 186 | 179 | 52 | 377 | 6 | 5 | 5 | 30 | 406 | 14 | 3 |
| 医学部（保） | 607 | 320 | | 320 | 317 | 2 | 0 | 1 | 88 | 9 | 215 | 8 | 2 | 4 | 126 | 157 | 31 | 287 | 4 | 1 | 3 | 25 | 300 | 18 | 2 | |
| 薬学部 | 504 | 318 | | 318 | 314 | 4 | 0 | 0 | 85 | 5 | 227 | 1 | 0 | 8 | 106 | 165 | 39 | 296 | 6 | 1 | 0 | 15 | 305 | 11 | 2 | |
| 工学部 | 2,388 | 1392 | | 1392 | 1379 | 12 | 0 | 1 | 385 | 49 | 950 | 8 | 2 | 9 | 395 | 849 | 137 | 1298 | 32 | 11 | 3 | 48 | 1349 | 42 | 1 | |
| 計（学部） | 8,054 | 5338 | 103 | 5441 | 5364 | 66 | 1 | 10 | 1547 | 163 | 3682 | 49 | 9 | 55 | 1680 | 3080 | 617 | 5018 | 103 | 55 | 20 | 245 | 5192 | 231 | 18 | |
| 教育学研究科 | 93 | 56 | | 56 | 55 | 1 | 0 | 0 | 32 | 0 | 24 | 0 | 0 | 2 | 26 | 26 | 2 | 52 | 0 | 2 | 0 | 2 | 52 | 4 | 0 | |
| 社会文化科学研究科 | 244 | 151 | 39 | 190 | 179 | 6 | 0 | 5 | 128 | 3 | 57 | 2 | 0 | 1 | 44 | 136 | 9 | 174 | 7 | 4 | 0 | 5 | 177 | 8 | 5 | |
| 自然科学研究科 | 1,170 | 676 | 33 | 709 | 687 | 17 | 0 | 5 | 186 | 7 | 508 | 8 | 1 | 8 | 242 | 366 | 92 | 627 | 15 | 10 | 5 | 52 | 672 | 24 | 13 | |
| 医学教育部 | 384 | 61 | 32 | 93 | 91 | 2 | 0 | 0 | 25 | 6 | 61 | 1 | 0 | 6 | 34 | 21 | 32 | 70 | 6 | 1 | 3 | 13 | 89 | 1 | 3 | |
| 保健学教育部 | 98 | 19 | | 19 | 19 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 13 | 0 | 0 | 1 | 5 | 12 | 1 | 16 | 0 | 1 | 0 | 2 | 17 | 2 | 0 | |
| 薬学教育部 | 151 | 70 | | 70 | 67 | 3 | 0 | 0 | 15 | 0 | 54 | 1 | 0 | 1 | 27 | 33 | 9 | 58 | 3 | 3 | 0 | 6 | 68 | 2 | 0 | |
| 法曹養成研究科 | 19 | 17 | | 17 | 16 | 1 | 0 | 0 | 7 | 0 | 10 | 0 | 0 | 1 | 7 | 9 | 0 | 16 | 0 | 1 | 0 | 0 | 16 | 1 | 0 | |
| 計（大学院） | 2,159 | 1050 | 104 | 1154 | 1114 | 30 | 0 | 10 | 399 | 16 | 727 | 12 | 1 | 20 | 385 | 603 | 145 | 1013 | 31 | 22 | 8 | 80 | 1091 | 42 | 21 | |
| 計 | 10,213 | 6,388 | 207 | 6,695 | 6,478 | 96 | 1 | 20 | 1,946 | 179 | 4,409 | 61 | 10 | 75 | 2,065 | 3,683 | 762 | 6,031 | 134 | 77 | 28 | 325 | 6,283 | 273 | 39 | |

◎ 教職員の住家被災状況調査（11月7日～12月28日）

市町村による家屋被害判定2次調査におおよその目途がついた11月から約2月間、各人で判定結果等を入力する方式で調査を実施した。

● 対象職員数：常勤職員 …… 2,796人

　　有期雇用職員 … 2,454人

● 調査期間：11月7日～12月28日

| | 常勤職員 | 有期雇用職員 | 計 |
|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全 壊 | 13 | 6 | 19 |
| 大規模半壊 | 16 | 13 | 29 |
| 半 壊 | 74 | 29 | 103 |
| 一部損壊 | 205 | 87 | 292 |
| 計 | 〈11.02%〉 308 | 〈5.20%〉 135 | 〈8.44%〉 443 |
| 自 宅 | 258 | 114 | 372 |
| 借家・借間 | 50 | 21 | 71 |

平成 28 年 11 月 7 日

教職員各位

災害対策本部事務局（総務担当）

平成 28 年熊本地震における住家被害状況調査について（依頼）

4 月に発生した地震では、多数の方が被害に遭われたことと存じます。

これまで、ケガ等の人的被害については、安否確認に併せてその状況等を把握したところですが、住家の被害についても、市町村における住家被害認定もおおよその目処がつきつつあるこの機に、その状況を取りまとめることになりました。

この調査は、住家の被害（全壊、大規模半壊、半壊又は一部損壊）及び住家の種別（自宅又は借家・借間）について、大学全体として総数の把握するものであり、その方法は、本学ポータルサイトにログインし 2 項目にチェック・送信するだけですので、ご協力方よろしくお願いいたします。

なお、被害認定を受けていない方は、回答の必要はありません。

(3) 学事及び学生支援

① 休講措置

ア) 学事暦の修正

前震時には14日23時30分に15日の休講を、本震時には16日15時30分に19日までの休講並びに身の安全の確保と最寄りの避難所等への避難について、本学ホームページ等への掲載により通知した。その後は21日まで次のとおり随時更新する形式で休講を通知した。

| 日 時 | 周知内容 |
|---------------------|--------------------------------------|
| 14日21時26分 前震 | |
| 14日 23時30分 | 4月15日の休講を周知（学内掲示板に掲示） |
| 16日 1時25分 本震 | |
| 16日 15時30分 | 4月19日までの休講を周知（学内掲示板に掲示） |
| 17日 18時30分 | 4月22日までの休講を周知（学内掲示板に掲示） |
| 18日 19時50分 | 5月6日までの休講を周知（ホームページに掲載） |
| 21日 | 教養教育カレンダー、行事予定表の変更を周知 (ホームページに掲載) |

5月6日（金）までの授業休講について Information on class cancellation until Friday, May 6 (16.04.18 19:50)

4月14日（木）夜及び16日（土）未明の地震発生に伴う、ライフラインの復旧及び大学施設の安全確認のため、5月6日（金）まで授業は休講いたします。

なお、5月9日（月）から授業を再開いたします。
(履修登録については、5月9日（月）から13日（金）まで実施いたします。)

(お願い)
学生の皆様の安全を少しでも早く確認するため、安否確認システムへの入力をお願いいたします。
※ 手元に学生証を用意し、以下のアドレスから安否確認のページにアクセスしてください。
<http://lecregdb.kumamoto-u.ac.jp/tapi/c1.html>

お問い合わせ
学生支援部 学務課 教務支援担当
096-342-2716

Information on class cancellation until Friday, May 6

All classes will be cancelled through Friday, May 6 to ensure the restoration of essential utilities and the safety of the University facilities.

Classes will restart from Monday, May 9. Registration period will also be extended from Monday, May 9 to Friday, May 13.

(Confirmation of your safety)
Kumamoto University is trying to confirm the safety of all Kumamoto University students.
Please access to the following 'Safety Confirmation Website' to enter your name and student ID.
<http://lecregdb.kumamoto-u.ac.jp/tapi/c1.html>

Thank you.

International Student Office 096-342-2103

第3章 緊急対応

| 2016年度 教養教育カレンダー・行事予定表 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----|------|----|----|------|---------|----|------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 授業日及び試験日 | | | | | | 補講日・予備日 | | | | | | | | | | | |
| () は各曜日の授業等回数(試験含む) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 注1) 第1ターム(4/8~6/27)・第2ターム(6/28~9/2)・第3ターム(9/28~11/29)・第4ターム(11/30~2/10) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 注2) 前学期(4/8~9/2)・後学期(9/28~2/10) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 注3) 5/9~8/8については、6限目の補講は随時可能とする | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (前学期) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 行 事 | | | | | | | | | |
| | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | (1日) | 春季休業【3日まで】 | | | | | | | | |
| | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | (4日) | 入学式・入部式 | | | | | | | | |
| | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | (5日) | 新入生オリエンテーション(ダイナマイト新歓)【7日まで】 | | | | | | | | |
| | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | (6日) | 履修相談会 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | (8日) | 授業開始(第1ターム科目・前学期セミスター科目・通年科目) | | | | | | | | |
| 5 月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | (上旬) | 履修登録期間(第1・2ターム科目・前学期セミスター科目・通年科目対象) | | | | | | | | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | (15日) | 臨時休講【5月6日まで】 | | | | | | | | |
| | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | | | | | | | | | | |
| | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | | | | | | | | | | |
| | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | | | | | | | | | | |
| | | 30 | 31 | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | | | | | | | | | |
| | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | (18日, 19日) | 新入生TOEIC-IPテスト【18日: 文・教・法・理, 19日: 医・農・工】 | | | | | | | | |
| | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | (27日) | 予備日 | | | | | | | | |
| | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | (28日) | 授業開始(第2ターム科目) | | | | | | | | |
| | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | | (28日) | 履修登録修正期間(第2ターム科目対象)【7月4日まで】 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | | | | | | | | | |
| | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | | | | | | | | | | |
| | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | | | | | | | | | | |
| | 17 | (18) | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | | | | | | | | | | |
| | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | | | | | | | | | |
| | | 31 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | | | | | | | | | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | | | | | | | | | |
| | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | (9日, 10日) | 補講日・予備日 | | | | | | | | |
| | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | (11日) | 夏季休業【8月21日まで】 | | | | | | | | |
| | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | | | | | | | | | | |
| | | 28 | 29 | 30 | 31 | | | | | | | | | | | | |
| 9 月 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | | | | | | | | | | |
| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | | | | | | | | | | |
| | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | | | | | | | | | | |
| | 18 | (19) | 20 | 21 | (22) | 23 | 24 | | | | | | | | | | |
| | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | (3日) | 夏季休業【27日まで】 | | | | | | | | |
| (3日) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (7日) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9月卒業予定者の成績入力締切(厳守) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (16日) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成績入力締切(第1・2ターム科目・前学期セミスター科目) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (28日) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業開始(第3ターム科目・後学期セミスター科目・通年科目) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (9月下旬~10月上旬) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 履修登録期間(第3・4ターム科目・後学期セミスター科目対象) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (26日) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9月卒業式 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

イ) 授業再開に向けての取り組み

■ 授業再開に伴う学生への配慮依頼

| | |
|---|-----------|
| 教員各位 | 平成28年5月6日 |
| 副学長(教育・学生支援担当) | |
| 授業再開に伴う学生への配慮について(依頼) | |
| <p>標記のことについて、各教員におかれましては「平成28年熊本地震」への対応等で大変な状況にある中、格別のご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。</p> <p>教養教育の授業の再開に当たっては、実験・実習ができない場合の座学への代替措置、また、被災のため居住環境が整わず欠席する学生や教科書等を準備できない学生に対しては、レポートの提出又はレジュメによる授業など、事情に応じた個別の対応を予定しております。</p> <p>については、専門教育の授業再開後、上述の学生に対してご配慮いただきますよう、ご協力方よろしくお願ひいたします。</p> | |

■ 授業担当教員へ地震対応通知 ※全学教育棟全教室の教卓に貼付

| 授業担当教員 各位 | 平成28年5月6日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-----------|--------------|--------------------|----|------|------------------|-----------|--------------|--------------------|------------------|----------|------------|--|-------------------|-----------|--------------|--------------------|------------|---------|-----------|--------------|----------------|--------|--------|--------------|--|-------|-----------|--------------|------------------|-------|-----------|--------------|-------------|-------|-----------|--------------|--------------------|-----------|-----------|--------------------|
| 副学長（教育・学生支援担当） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>大規模地震（身の危険を感じる揺れ：震度5弱以上）発生時の基本的な対応及び学生から各種相談があった場合の問合せ先についてお知らせいたします。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 大規模地震発生時の基本的な対応について | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p><発生時の基本的行動></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地震発生から2分間、自分の身を守る。学生には机の下等にかくれて身の安全を確保するよう指示する。 ○揺れが収まったら被害状況を確認し、火の元の点検、ドアを開け、避難経路を確認する。火災発生の場合はできる範囲で初期消火を行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p><避難等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○非常放送又は職員からの避難指示に従い、学生をキャンパス内の安全地帯へ避難誘導する。 ○避難完了者を確認し、学生支援部職員（避難誘導班長）へ報告する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 学生の教育・学生支援にかかる問合せ先一覧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>※学生から相談等がありましたら、内容に応じて以下の窓口をご案内ください。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left; padding: 2px;">問合せ内容</th> <th style="text-align: left; padding: 2px;">問合せ先</th> <th style="text-align: left; padding: 2px;">場所</th> <th style="text-align: left; padding: 2px;">電話番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px;">- 教養教育の履修等に関すること</td> <td style="padding: 2px;">学務課教養教育担当</td> <td style="padding: 2px;">全学教育棟A棟1F③窓口</td> <td style="padding: 2px;">096-342-2717, 2718</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">- 専門教育の履修等に関すること</td> <td style="padding: 2px;">各学部等教務担当</td> <td style="padding: 2px;">各学部等教務担当窓口</td> <td style="padding: 2px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">- 奨学金・授業料免除に関すること</td> <td style="padding: 2px;">学務課経済支援担当</td> <td style="padding: 2px;">全学教育棟A棟1F⑤窓口</td> <td style="padding: 2px;">096-342-2129, 2126</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">- 就職に関すること</td> <td style="padding: 2px;">キャリア支援課</td> <td style="padding: 2px;">全学教育棟C棟1F</td> <td style="padding: 2px;">096-342-2117</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">- これらのケアに関すること</td> <td style="padding: 2px;">保健センター</td> <td style="padding: 2px;">保健センター</td> <td style="padding: 2px;">096-342-2164</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;"></td> <td style="padding: 2px;">学生支援室</td> <td style="padding: 2px;">全学教育棟A棟1F</td> <td style="padding: 2px;">096-342-2766</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">- ボランティア活動に関すること</td> <td style="padding: 2px;">学生相談室</td> <td style="padding: 2px;">全学教育棟A棟1F</td> <td style="padding: 2px;">096-342-2127</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">- 留学生に関すること</td> <td style="padding: 2px;">国際教育課</td> <td style="padding: 2px;">全学教育棟A棟2F</td> <td style="padding: 2px;">096-342-2132</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">- その他教育・学生支援に関すること</td> <td style="padding: 2px;">学務課学務企画担当</td> <td style="padding: 2px;">全学教育棟A棟1F</td> <td style="padding: 2px;">096-342-2715, 2713</td> </tr> </tbody> </table> | | 問合せ内容 | 問合せ先 | 場所 | 電話番号 | - 教養教育の履修等に関すること | 学務課教養教育担当 | 全学教育棟A棟1F③窓口 | 096-342-2717, 2718 | - 専門教育の履修等に関すること | 各学部等教務担当 | 各学部等教務担当窓口 | | - 奨学金・授業料免除に関すること | 学務課経済支援担当 | 全学教育棟A棟1F⑤窓口 | 096-342-2129, 2126 | - 就職に関すること | キャリア支援課 | 全学教育棟C棟1F | 096-342-2117 | - これらのケアに関すること | 保健センター | 保健センター | 096-342-2164 | | 学生支援室 | 全学教育棟A棟1F | 096-342-2766 | - ボランティア活動に関すること | 学生相談室 | 全学教育棟A棟1F | 096-342-2127 | - 留学生に関すること | 国際教育課 | 全学教育棟A棟2F | 096-342-2132 | - その他教育・学生支援に関すること | 学務課学務企画担当 | 全学教育棟A棟1F | 096-342-2715, 2713 |
| 問合せ内容 | 問合せ先 | 場所 | 電話番号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| - 教養教育の履修等に関すること | 学務課教養教育担当 | 全学教育棟A棟1F③窓口 | 096-342-2717, 2718 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| - 専門教育の履修等に関すること | 各学部等教務担当 | 各学部等教務担当窓口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| - 奨学金・授業料免除に関すること | 学務課経済支援担当 | 全学教育棟A棟1F⑤窓口 | 096-342-2129, 2126 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| - 就職に関すること | キャリア支援課 | 全学教育棟C棟1F | 096-342-2117 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| - これらのケアに関すること | 保健センター | 保健センター | 096-342-2164 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 学生支援室 | 全学教育棟A棟1F | 096-342-2766 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| - ボランティア活動に関すること | 学生相談室 | 全学教育棟A棟1F | 096-342-2127 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| - 留学生に関すること | 国際教育課 | 全学教育棟A棟2F | 096-342-2132 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| - その他教育・学生支援に関すること | 学務課学務企画担当 | 全学教育棟A棟1F | 096-342-2715, 2713 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

■ 授業再開に係る授業への出欠調査 (学部1年次：情報基礎科目A)

| |
|--|
| 平成28年 5月 9日 |
| 情報科目専門部会長 殿 |
| 副学長（教育・学生支援担当） 古島 幹雄 |
| 授業再開に係る授業への出欠状況調査について（依頼） |
| <p>本学の教養教育における授業実施では、大変お世話になっております。</p> <p>この度の地震発生後、休講しておりました授業を5月9日（月）から再開するにあたり、1年次は「情報基礎A」の授業における出欠状況を調査することになりました。</p> <p>つきましては、5月9日から5月20日の2週間における「情報基礎A」の授業への出欠状況を調査していただき、5月24日（火）までに学務課までご報告いただきますようお願いいたします。</p> <p>また、現在、学生に対して「被災状況並びに通学見込み」等に係る調査を本学ホームページで全学LMS Moodleを利用して行っておりますが、まだ、半数の学生が未回答の状況です。授業時においても、アンケート調査に至急回答するようご指導願います。</p> <p>お手数をおかけしますが、ご協力いただきますようお願いいたします。</p> |

(学部1年次以上：各部局)

平成28年 5月 9日

各学部長、教育部長、研究科長
教養教育機構長

殿

大学教育統括管理運営機構長
古島幹雄

授業再開に係る授業への出欠状況等調査について（依頼）

標記のことにつきまして、この度の地震発生後、休講しておりました授業を再開するにあたり、教養教育の必修科目である「情報基礎A」（1年次）の受講者を対象に、5月9日（月）から5月20日（金）の2週間における出欠状況を調査しますことをお知らせします。

なお、調査結果につきましては、現在実施しております「被災状況並びに通学見込み」等に係る調査の結果を踏まえて、後日ご報告します。

また、各部局におかれましては、次の点について可能な限り対応をお願いします。

① 学部2年次以上の学生の出欠状況（5月9日から2回連続して欠席した者）について、当該学生の状況の把握。本学の全学生の状況を掌握したいので、5月31日（月）を目処に対応状況をお知らせください。

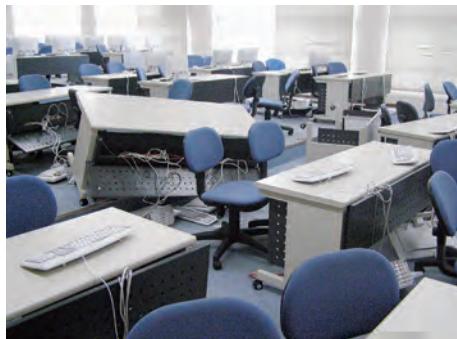
その際、メンタルケアが必要と思われる学生に対しては、学生支援部内の学生相談室又は学生支援室が対応しておりますので適宜指示していただきますようお願いします。

② 授業担当教員は可能な限りMoodle等を活用し、学生の主体的な学修環境を整えていただきたい。

③ 講義に際しては、課題等を課して成績評価において「レポート点」として評価するなど、主体的学修に対する評価の視点の可能な限り取り入れてほしい。

おって、参考までに現時点（5月8日現在）の当該調査への回答状況を別添資料のとおりお知らせしますので、学生に対し、本調査への回答についてご指導方よろしくお願いします。

- ・地震による怪我の学生1名は、5月30日から授業出席を確認
- ・上記以外の学部学生及び大学院学生は、各学部等で調査の結果、地震による欠席者はいなかった。



② 被災した学生(留学生を含む)への支援

ア) 精神面、健康面への支援

保健センター(医師 2名、看護師 2名、臨床心理士 1名)、学生支援室(臨床心理士 1名、キャンパスソーシャルワーカー 1名)、学生相談室(キャンパスソーシャルワーカー 1名)が連携して、被災した学生の精神面・健康面への支援を行った。

留学生については、ウェブサイトやSNSを通じて発信される災害関連情報を随時英語に翻訳し、情報がわからないという不安な状態にならないように支援を行った。母国を離れての被災であったため、避難支援や各種相談対応について、関係機関の様々な支援を受けた。本震翌日からは、各国の大使館、総領事館等の関係機関による避難支援が開始され、県外に避難した留学生の所在情報も関係機関からまとめて入手することができた。19日には、本学ホームページにおいて、地震でメンタルヘルスの不調をきたしている学生の相談窓口(保健センター・学生相談室・学生支援室)を、28日には、熊本地震における「こころのケア」について周知した。

避難所(黒髪地区体育館)においては、日本語や英語があまり話せない留学生のために、語学に堪能な留学生が通訳を務めメンタル面の相談をサポートした。

なお、本学において、相談件数が1日10件を超える場合には、熊本県臨床心理士会に応援を依頼することの了承を得ていたが、依頼することはなかった。

また、熊本地震による学生生活の影響(学生の精神的健康及び睡眠への影響とそれらに関連する要因等)を把握するためのアンケート調査を実施(7/22～10/31)し、その回答は1,185名であった。

熊本地震における「こころのケア」について

熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
大きな災害を体験すると、誰しもこころからだに大きなストレスを感じます。ストレスがかかると、こころやからだは、それを何とかしようとストレス反応を出します。反応が出来ることは自然なことです。
このような時には「こころのケア」が大切です。ここでは、「どんなストレス反応が出来るのか」「どうケアしたら良いのか」などを簡単にご紹介したいと思います。

■さまざまなもの

からだ

- 寝付けない、夜中に目が覚める、怖い夢を見る
- 食欲が出ない、おいしいと感じない
- お腹や頭が痛い、めまい、吐き気、だるさ

気持ち

- 音や振れなどにびくびくしやすい
- こわい 不安 1人になることを怖がる
- 何も感じない、やる気が出ない
- ひとりぼっちな感じ



行動

- 落ち着きがない はしゃぐ
- 怒りっぽくなる
- 子どもがえり ベタベタ甘える
- ひきこもる 人に会いたくない
- アルコール量が増える



考え方

- 遊びや勉強に集中できない
- 考えがまとまりにくい
- ふとした時に災害の記憶がよみがえる
- 思い出せない・忘れやすい
- 自分を責めてしまう



■ストレス反応とは

さまざまな反応は、大変な体験をしたあとにあらわれる自然な反応です。

通常は、安全で安心できる生活を続いているうちに徐々におさまっていきます。

同じ災害を体験しても、反応の強さやあらわれ方、反応の時期は、人によって異なりますので、今現在、反応が見られない場合でも、長期的に注意はしておきましょう。

■災害後の過ごし方

災害の直後は、気が張っていて頑張り続けることが出来ますが、いつのまにか疲れがたまってしまい疲子が悪くなることがあります。

「休息をこまめにとる」「食事や水分を十分にとる」「お酒を飲みすぎない」「心配や不安は信頼できる人と話をする」といったことに気をつけましょう。また、周囲の人とこまめに声掛け合い、お互いの状態変化の把握をしておきましょう。遊びや共同の作業を通じて、人とのつながりを感じる

ことも、こころが元気になる方法です。

ごろごろ横になってばかりいると下記のようなことが起こりやすくなりますので定期的に起き上がって散歩やストレッチ運動を行うことを心がけましょう。

- ・筋力への影響 1週間の安静で 20%筋力が低下し、元の筋力に戻すのに 1ヶ月かかります。
- ・関節への影響 関節の動きが低下し、動かす時に痛みを感じことがあります。
- ・血圧への影響 起立性低血圧を生じやすくなり、起立時にめまい、頭痛、発汗を生じやすくなります。
- ・精神への影響 精神的な落ち込みややる気の喪失といった精神機能の低下を認めることができます。

■セルフケア

緊張しているからだとこころをリラックスさせる方法があります。

- ・肩のリラックス法 ・呼吸法 ・漸進性筋弛緩法 ・静のワーク ・眠りのためのリラックス法 など方法の詳細は下記をご覧ください。

・http://www.aicp.info/heart311/?page_id=1765

(「日本心理臨床学会」の特設HP「東北地方太平洋沖地震と心のケア」の中の「ストレスマネジメント技術集」)

・<http://shakai-ouen.com/> (PDF & 動画)

(社会応援ネットワーク「リラクセーション実践例」)

■リンク

熊本こころの健康相談 (PDF)

http://www.city.kumamoto.jp/common/UploadFileDsp.aspx?c_id=5&id=2079&sub_id=21&file_id=83125

子どもさんや高齢者への対応についても記載されています。

保健センター

Tel:096-342-2164

学生支援室

Tel:096-342-2766

保健センターは、前震の夜、熊本大学体育館で避難者の対応(ケガや打撲の処置、内服薬の投与)を行った。留学生への支援については、指導教員、各学部等の教務担当、国際教育課が連携して行った。保健センターに相談に来る留学生については、グローバル教育カレッジの教員が通訳として立ち会うなど協力体制をとった。

(保健センターの体制)

- 本震～約1週間：医師1人、看護師3人で24時間体制とした。
- 28日まで：土日祝日を含めて夜19時までの対応
- ゴールデンウィーク中：半日対応

(症状及び対応)

- 本震翌日からは、ケガや打撲の処置に加えて発熱等の風邪症状を訴える人がでてきた。
- インフルエンザに罹患している人には、可能な限り病院での検査を勧めた。自宅に戻れず家族のところへも行けない人は、保健センターでケアし家族の迎えを待った。
- 高齢の夫婦も数組避難させていたが、疾病の発症をいち早く察知するため、時々見回りを行った。
- ボランティアの医療系又は教育系学生等による初期対応の応援があり、効率的な診療ができた。
- 地震後時間が経つに連れて精神的ストレスが増し、避難者のメンタル面にも支障が出てきた。
- 心理面をサポートする情報、ストレス発散法及び相談窓口の開設をホームページに掲載した。
- 保健センター及び学生支援室の職員で電話相談を受け、必要に応じてカウンセリングや診療を行った。

■ 14日から5月5日までの避難所の対応者

学生28人、教職員7人、学外者45人(乳児、90歳代)の計80人(外国人18人)

- グローバル教育カレッジ棟では、留学生及び被災者のメンタルケアのため、25日から28日まで、留学生が中心となって外国語と日本語レッスンや書道、折り紙、ヨガ、アートセラピー、トルコとポーランドダンス、映画等の様々な活動を提供し、地域の方54名を含む延べ269名が参加した。



イ) 生活支援(学生寄宿舎等への受け入れ)

前震発生後、学生寄宿舎の学生は、体育館又は武夫原グラウンドに避難した者とそのまま学生寄宿舎に残った者がいた。本震発生時に学生寄宿舎に残っていた学生は、集会所の前の駐車場にテントを張って避難していた。(H28.4.1の入居者：男子160名、女子69名、合計229名)本震後、学生寄宿舎の学生のために、全学教育棟に2教室(男女)を確保し、大学へ避難するよう呼びかけた。その後、実家に帰る学生が増え教室に宿泊する学生の人数が減ってきたため、夜の安全面を考慮して2教室を閉鎖し、避難所である黒髪体育館へ移動するよう指示した。

20日：学生寄宿舎の建物本体の安全確認が終了。水の通水後、学生を寄宿舎へ戻した。

25日：ガスが使用可となり、シャワー男子3台、女子2台が使用可能となった。

29日：地震関連被害学生のため、学生寄宿舎男子31室、女子10室を確保。

※入居者：女子学生1名

9月12日：ボイラーの修理後、大浴場が使用可能となった。

なお、学生寄宿舎はシャワーが少ないため、学生は、昼間は体育館のシャワーを利用していた。

また、学生寄宿舎に配置の警備員から、本震後に大きなトラブルは生じていない旨の連絡を受けたため、学生寄宿舎での職員対応は17日朝から行った。



前震後(武夫原)



15日朝(武夫原)



避難所(黒髪地区体育館)



本震後(学生寄宿舎前)

ウ) 生活支援(留学生)**● 留学生に対する奨学金支給期間の延長**

地震の影響により、修学期間を延長せざるを得なかつた留学生に対する特別措置について、文部科学省、JICA等関係機関に相談し延長が認められた。

● 住居の確保

避難所が閉鎖された後も、5月末まで国際交流会館の共有スペースを留学生のための避難生活場所として開放した。

国際交流会館B棟裏の石垣が崩落の危険性があり、B棟居住者(30世帯)に避難指示が出たため、代替アパートを法人契約するなど住居を確保した。

● 熊本大学外国人留学生後援会からの経済支援

被災した留学生に対して、生活費等の一時貸付けによる支援を実施した(上限15万)。

工) 課外活動支援

課外活動に関する施設で、一番大きな被害があったのは、大江グラウンドの弓道場であった。前震時は、練習中で、弓道場の屋根の天板が落ちてきたが、大事には至らなかった。

18日には、体育会・文化部会に部活動の自粛(県外の大会には参加可)を通知した。5月9日の授業開始に併せて通常の課外活動も全て再開した。

なお、体育系の九州大会等は夏休みに集中して開催されるが、地震による休講を補うため夏休み期間中に授業が組み込まれたことから、課外活動参加のため授業を欠席しなければならないケースも多かった。



弓道場天井



江津湖艇庫前の地割れ

才) 就職活動支援

地震は、平成29年3月卒業予定者の就職活動にも大きな影響を与えた。3月からの採用広報解禁後、希望する企業への説明会参加やエントリーシート提出締切を控えた時期だったので、移動や書類提出に支障が生じ、就職活動を行う学生から数多くの問合せがあった。

このような状況下での就活支援として以下の対応を行った。

18日：学内専用就活支援システムKUMA★NAVIを通じ、就職活動中の登録学生(1,068名)に安全確保優先のメールを配信した。

本学ホームページ「キャリア・サポート」で企業担当者へ被災学生の配慮を促すコメントを掲載した。

計画していたキャリア支援関係のサービス(就活カフェ、就職相談等)を中止、変更した。

20日：広報戦略室を通して、企業に対して被災学生への配慮依頼について各報道機関へリリースした。

22日：就職活動中の登録学生に対しKUMA★NAVIを通して、被災学生に配慮する企業が増えている旨の情報及び引き続き安全確保優先についてメールを配信（メールが届いていない友人にも情報を伝えるよう依頼）した。

27日：本学ホームページに就職活動中の学生に対しメッセージを掲載した。

現在位置: ホーム > キャリアサポート > 【重要】就活生の皆さんへ 熊本地震に関連するお知らせ > 就職活動中の熊大生の皆様へ

就職活動中の熊大生の皆様へ

最終変更 2016年04月27日 16時08分 — 履歴

平成28年4月16日未明の本震以降、未だ余震が続いていること、不安な日をお過ごしのことだと思います。皆さんにおいては特に、就活に関する焦りを感じておられることがあります。

キャリア支援課としては、やむを得ず、休講期間中のキャリア相談や就職相談会（就活フェス）を中心止ることとなりましたが、少しでも皆さんを支援するため、被災地学生への配慮をしていただけるよう、企業等へお願いしているところです。

新聞等の報道にあるように、すでに多数の企業がエントリーシートの締切を延長したり、別日程の選考を用意するなど特別な配慮を決定しており、今後もそのような動きは広がっていくものと思われます。皆さん、上記を踏まえ、焦らず、身の安全を確保し、この災害が落ち着いたときに、改めて就活に全力を出し切ってください。キャリア支援課も皆さんを全力で支援します。来室できない間は、電話、メールでの相談も可能です。

【熊本大学学生支援部キャリア支援課】
E-mail : gas-syuki@jimu.kumamoto-u.ac.jp
TEL : 096-342-2117

なお、熊本ヤングハローワークにおいて、「学生等震災特別相談窓口」が開設され、被災学生に対して細かく相談対応がなされるとのことですので、こちらも活用してください。

【熊本ヤングハローワーク】（開所時間：平日8:30～17:15）
熊本市中央区水前寺1-4-1 水前寺駅ビル2階
TEL : 096-385-8240

5月2日～6日：キャリア支援課を開室し、就職相談等に応じた。

5月9日：専門の相談員によるキャリア相談も含め支援サービスを再開した。

また、その後の就職活動を不安視する学生を鼓舞する目的で「就活RE★START」と銘打ち、面接選考試験解禁の6月まで、まだ時間はあることを伝えるポスターを学内の関連数カ所に掲示した。



力) 附属図書館における支援

附属図書館では、地震直後から全国の大学図書館で支援の輪が広がったことから、本学学生が帰省先の大学図書館を利用する際、その大学の学生と同様のサービスが受けられることを広報した。

また、中央館1階ラーニングコモンズを自主学修の場として早期に利用できるよう原状回復に努め、28日には「5月2日からの部分開館」を本学及び附属図書館のホームページに掲載した。

Kumamoto University

熊本大学附属図書館

HOME 図書館利用案内 情報検索サポート コレクション 図書館について 問い合わせ・申し込み

ホーム > リビジョン

Repository
Kumamoto University

講習会

旬の情報

hamasaki
アカウント情報
コンテンツの作成
管理セクション
ログアウト

図書館サービス支援の輪が広がっています (4月22日10時10分更新)
2016/04/19

他大学のご好意により、以下の図書館サービスを受けられます。

(4月22日更新)
※4月21日に国立大学図書館協会に情報の更新を引き継ぎました。全国の国立大学による支援状況がまとめられています。4月21日以降の最新の情報は下記を参照してください。

【国立大学図書館協会】
平成28年熊本地震への図書館サービス支援
http://www.janul.jp/j/news/2016_Kumamoto_earthquakes.html
"このページでは平成28年4月14日から続く熊本地震の被災地の学生、教職員の方への国立大学図書館による支援サービスをまとめています。"
(問合先) メール : 国立大学図書館協会事務局(クリック)

福岡県

【九州大学附属図書館】
地震の被害に遭った地域の大学生の皆さんへ (4月18日)
<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/news/3116>
"九州大学附属図書館では、被災地域の学生の皆さんに、本学学生と同等のサービスを利用できるようにいたします。"

熊本地震後の利用者数(5月)



キ) 入学試験支援

受験予定者への影響を考慮し、平成28年度に実施する全ての入学試験の対象者について入学検定料を免除することとした。

周知内容及び実績については、次のとおり。

平成 28 年熊本地震により被災した志願者の入学検定料の免除について

熊本大学では、被災した志願者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るために、平成28年度に実施する学部及び大学院入学試験等において、下記のとおり特別措置を講じることを決定しました。

該当する志願者の方で、特別措置を希望する場合は、所定の手続きが必要となりますので事前に学生支援部入試課までご連絡ください。

記

1. 特別措置の対象となる入学試験

平成 28 年度に実施する本学の入学試験

【学部】一般入試、特別入試（アドミッション・オフィス入試、推薦入試、帰国子女入試
及び社会人入試）、私費外国人留学生入試、第 3 年次編入学試験

【大学院】

【特別支援教育特別専攻科】

【養護教諭特別別科】

2. 措置内容

入学検定料の全額免除

3. 免除の対象者

免除対象となる入学試験の志願者で、平成 28 年熊本地震により災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方

- ①本人又は学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
- ②学資負担者が死亡又は行方不明の場合

【災害救助法の適用地域】(法適用日：平成 28 年 4 月 14 日)

・熊本県内全 45 市町村

4. 申請方法

申請希望者は、必ず出願期間の 20 日前までに学生支援部入試課に連絡し、該当すると判断された方は、所定の申請書（別紙様式）を出願書類とともに提出してください。（出願時に『入学検定料』を振り込まないようご注意願います。）※工学部第 3 年次編入学試験（推薦）については、平成 28 年 5 月 2 日（月）までにご連絡ください。

5. 申請書類

- (1)入学検定料免除申請書（本学ホームページからダウンロード）[直筆記入]
- (2)り災証明書（コピー可）（上記①に該当する方）
- (3)死亡又は行方不明を証明する書類（コピー可）（上記②に該当する方）
- (4)その他（学資負担者が所有する自宅家屋であることを示す書類等を求めることがあります。）

※(2)又は(3)の証明書等については、後日提出も可とします。

6. 本件に関する問合せ先 : 熊本大学学生支援部入試課 TEL : 096-342-2148

FAX : 096-345-1954

第3章 緊急対応

平成29年度入学検定料免除申請者数等一覧（H 28 熊本地震）

学部

| | 大学院 | 申請者数 | | | | | | | | | 非免除者数 | | | | | | | | | 免除者数 | | | | | | | | |
|---|----------------------|------|----|---|----|---|---|---|----|----|-------|----|---|---|---|---|---|---|----|------|----|---|----|---|---|---|----|----|
| | | 文 | 教育 | 法 | 理 | 医 | 保 | 薬 | 工 | 合計 | 文 | 教育 | 法 | 理 | 医 | 保 | 薬 | 工 | 合計 | 文 | 教育 | 法 | 理 | 医 | 保 | 薬 | 工 | 合計 |
| 1 | アドミッション・オフィス入試 (GLC) | 1 | | 1 | 1 | | | | 0 | 3 | 0 | | 0 | 0 | | | | 0 | 0 | 1 | | 1 | 1 | | | | 0 | 3 |
| 2 | 推薦 I | 1 | | 0 | | | | | 1 | 2 | 0 | | 0 | | | | | 0 | 0 | 1 | | 0 | | | | | 1 | 2 |
| 3 | 推薦 II | | 1 | | | 0 | 0 | 0 | 4 | 5 | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 5 | |
| 4 | 前期日程 | 7 | 11 | 4 | 7 | 8 | 3 | 1 | 11 | 52 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 11 | 4 | 7 | 8 | 3 | 1 | 11 | 52 |
| 5 | 後期日程 | 4 | 5 | 4 | 3 | | 2 | | 5 | 23 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 5 | 4 | 3 | | 2 | | 5 | 23 |
| 6 | 社会人入試 | | | | | | 0 | | | 0 | | | | | | | | 0 | | | | | | | | 0 | | 0 |
| | 合計 | 13 | 17 | 9 | 11 | 8 | 5 | 1 | 21 | 85 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | 17 | 9 | 11 | 8 | 5 | 1 | 21 | 85 |

*その他：平成24年7月九州北部豪雨被災による入学検定料免除……文学部（後期日程）1名

被害状況 内訳 全壊…10人(一般入試)

大規模半壊…12人（推薦 II 1名、AO入試1名、一般入試10名）

半壊…63人（AO入試2名、推薦 I 2名、推薦 II 4名、一般入試55名）

平成29年度入学検定料免除申請者数等一覧（H 28 熊本地震）

1. 大学院

| | 大学院 | 課程 | 申請者数 | | | | | | | | | 非免除者数 | | | | | | | | | 免除者数 | | | | | | | | |
|---|---------|------------------|------|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-------|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|------|-----|-----|-----|-----|----|---|---|---|
| | | | 推薦 | 第1期 | 第2期 | 第3期 | 進学者 | 合計 | 推薦 | 第1期 | 第2期 | 第3期 | 進学者 | 合計 | 推薦 | 第1期 | 第2期 | 第3期 | 進学者 | 合計 | 推薦 | 第1期 | 第2期 | 第3期 | 進学者 | 合計 | | | |
| 1 | 教育学研究科 | 修士課程 | 2 | 0 | | | | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 教職大学院の課程 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 2 | 社会研 | 博士前期課程 | 0 | 0 | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 博士後期課程 | 0 | | | | | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 博士後期課程（教授システム） | 0 | | | | | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 医学教育部 | 修士課程 | 0 | 0 | 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 博士課程 (HIGOプログラム) | 0 | | | | | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 保健学教育部 | 博士前期課程 | 1 | | | | | 1 | | 0 | | | | | | 0 | 0 | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 博士後期課程 | 0 | | | | | 0 | | 0 | | | | | | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | 0 |
| 5 | 薬学教育部 | 博士前期課程 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 博士後期課程 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 6 | 自然科学研究科 | 博士前期課程 (HIGO) | 0 | | | | | 0 | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | 0 |
| | | 博士前期課程 (3年次入試) | 0 | 3 | | | | 3 | 0 | 0 | | | | | | 0 | 0 | 0 | 3 | | | | | | | | | 3 | |
| | | 博士後期課程 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 合計 | | 0 | 6 | 0 | 0 | | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | | |

2. 平成28年度10月入学

| | 大学院 | 課程 | 申請者数 | 非免除者数 | 免除者数 |
|---|---------|--------|------|-------|------|
| 1 | 医学教育部 | 修士課程 | 0 | 0 | 0 |
| | | 博士課程 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 薬学教育部 | 博士前期課程 | 0 | 0 | 0 |
| | | 博士後期課程 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 自然科学研究科 | 博士前期課程 | 0 | 0 | 0 |
| | | 博士後期課程 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計 | | 0 | 0 | 0 |

3. 編入学・別科・専攻科

| | 学部・大学院等名 | 入試区分 | 申請者数 | 非免除者数 | 免除者数 |
|---|------------|-------------|------|-------|------|
| 1 | 文学部 | 3年次編入学 | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 法学部 | 3年次編入学 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 医学部保健学科 | 3年次編入学 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 工学部 | 3年次編入学 (推薦) | 0 | 0 | 0 |
| 6 | 工学部 | 3年次編入学 (一般) | 1 | 0 | 1 |
| 7 | 幼稚児教育特別専攻科 | | 0 | 0 | 0 |
| 8 | 義務教諭特別専攻科 | | 1 | 0 | 1 |
| | 合計 | | 2 | 0 | 2 |

ク) オープンキャンパス・進学説明会

地震直後は、学生の就学面や生活面での正常化を最優先としたため、例年8月に開催していたオープンキャンパスは中止とした。

しかしながら、その後の学内運営も早期に正常な状態に戻り、また、受験生等からの問合せも多かったことから、高校3年生を主対象とした学部ごとの進学説明会を開催した。

平成28年度 学部主催進学説明会等の概要

平成28年 8月 6日(土)開催

| 学部等 | 場 所 | 説明会会場・人数等 | 企画内容 |
|-------------|---|---|--|
| 文学部 | 文・法学部棟 時間 13時00分～16時00分 (受付: 12時から) 集合場所 文・法学部棟 ※2年生、3年生対象 | B1教室 定員300人 事前申込者が優先。 人数が多い場合は、事前申込なしの者はお断り。(7/29締切) | ・学部説明 ・4学科模擬授業 ・研究室訪問 ・個別相談会 |
| 教育学部 | 教育学部棟 時間 9時00分～12時00分 集合場所 教育学部棟ロビー | 各教室(各2回) 事前申込必要だが、来訪者は受け入れる予定 | ・学部説明 ・入試説明 ・学科説明会 |
| 法学部 | 文・法学部棟 時間 13時00分～16時30分 (受付: 12時から13時) 集合場所 文・法学部棟 ※2年生、3年生対象 | A1教室 定員200人 事前申込者が優先。 人数が多い場合は、事前申込なしの者はお断りする。(7/29締切) | ・学部説明 ・体験入学 |
| 理学部 | 理学部棟 時間 13時00分～16時00分 | 2号館1F大講義室 他 事前申込必要だが、来訪者は受け入れる予定 | 13:00～理学部長挨拶 13:05～「ようこそ熊本大学理学部へ」 (理学部の教育・研究・入試の概要を説明) 13:30～個別相談、研究紹介等(希望者のみ) 女子高生のための進路相談会 13:30～16:00 理学部 理学部1・2号館3階C330教室 |
| 薬学部 | 薬学部棟 時間 14時00分～16時30分 (受付: 13時から14時) 集合場所: 薬学部大江総合研究棟 ※3年生、予備校生、進路指導の先生対象 | 多目的ホール他 250人まで | ・学部長挨拶 ・カリキュラム・入試説明 ・懇談会、学部(研究室)見学 |
| 工学部 | 工学部棟 時間 10時00分～15時00分 | 2号館教室他 事前申込必要だが、来訪者は受け入れる予定 | 10:00～10:10 受付 10:10～10:20 学部長挨拶 10:25～10:55 学科説明 11:00～15:00 研究室公開 教員対象の説明会もあり 女子高生のための進路相談会 11:00～12:30, 13:30～15:00 工学部2号館 214教室 |
| グローバル教育力レッジ | グローバル教育力レッジ棟 時間 10時00分～15時00分 | グローバル教育力レッジ 事前申込必要だが、来訪者は受け入れる予定 | 【熊大グローバルYouthキャンパスOpen College Day】 10:00～10:20 英語による教養科目の模擬授業 10:30～10:50 IELTS(英語運用能力評価試験)の説明 & 模擬授業 11:00～11:20 留学成果発表、Q&A 11:30～12:00 グローバルリーダーコースの説明 12:00～13:00 ラウンジで「グローバルカフェ」 13:00～13:20 英語による教養科目の模擬授業 13:30～13:50 IELTS(英語運用能力評価試験)の説明 & 模擬授業 14:00～14:20 留学成果発表、Q&A 14:30～15:00 グローバルリーダーコースの説明 |



説明会の様子(8月6日)

ケ) 教員免許更新講習

県内全体の講習定員数の確保及び受講者への柔軟な対応を念頭に取り組んだ。

- 県内における各大学の被災状況と講習実施の可否を早期に確認した。
 - 被災状況等の情報を各大学で共有することで、定員数の確保と確実な実施に繋げた。
 - 受講予定者には被災状況に応じた柔軟な対応に心掛け、「講習日程変更」について通知を行い、受講漏れが出ないように配慮した。
- 本学での更新講習については、次の対応を行った。
- 特に夏季休業中の更新講習の実施及び講習会場確保(特に平日)について、講習日程変更などを担当講師や教育学部と相談しながら調整した。
※本学の授業が休講となつた影響で夏季休業以前の実施が困難となつた。
 - 使用不可となつた八代、阿蘇及び人吉の講習会場は、それぞれ八代ハーモニーホール、ホテルサンクラウン大阿蘇及び中小企業大学校人吉校を会場として確保した。
 - 6月講習料の支払い期限を4月末から5月20日に延長した。
 - 入金後に受講日変更又はキャンセルの申し出について、受講日変更は、これまでの1回のみ可としていたものを複数回でも可とした。なお、キャンセルの場合は、通常どおりの手続きで返金した。

受講予定の皆様へ

熊本大学の教員免許状更新講習へのお申込みありがとうございます。

さて、8月25日(木)の「より長期的な視野に立って社会科教育を考える」は、地震で本学の授業が遅れた影響により、8月13日(土)に日程を変更することとなりました。

せっかくお申し込みいただいたところ大変申し訳ありませんが、次のように取り扱わせていただきたいので、該当する()内に○を記入し、5月9日までにご回答いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

なお、不明な点等ございましたら、お気軽にご連絡願います。

受講申込書：提出者

() A-1 : 8月13日の講習を受講する

- ・熊本大学で日付変更処理を行い、終了後はメールで連絡します(5/9)。
- ・特にしていただく手続きはありません。

() A-2 : 別の講習を受講する

- ・熊本大学で取消処理を行い、終了後はメールで連絡します(5/9)。
- ・その後は通常の手続きとなりますので、別の講習を申込み、受講申込書をご提出下さい。

() A-3 : 受講しない

- ・熊本大学で取消処理を行い、終了後はメールで連絡します(5/9)。
- ・特にしていただく手続きはありません。

受講申込書：未提出者

() B-1 : 8月13日の講習を受講する

- ・熊本大学で日付変更処理を行い、終了後はメールで連絡します(5/9)。
- ・その後、受講申込書をご提出下さい。

() B-2 : 別の講習を受講する

- ・各自で当該講習の取消処理を行い、その後に別の講習を申込んで受講申込書をご提出下さい。

() B-3 : 受講しない

- ・各自で当該講習の取消処理を行って下さい。

(4) 熊本市指定緊急避難場所

熊本市は、「災害時危険を回避するために一時的に避難する場所」として、指定緊急避難場所(一時避難場所)を設定し、本学では以下の施設が指定を受けている。これに加え、全学教育棟(黒髪北キャンパス)、附属小学校体育館及び附属中学校の教室(京町地区)を避難所として開設し、14日から5月8日までの間、1日最大で約2,800人の避難者を受け入れた。

各避難所では、数多くの本学教職員及び学生ボランティアが、昼夜を問わず支援にあたった。

■ 一時避難場所に指定されている本学施設（熊本市HPより）

| 地区名 | 施設等名 |
|---------------|--------------------|
| 黒髪地区 | 黒髪運動場、黒髪体育館 |
| 大江地区（薬学部） | 大江体育館 |
| 本荘地区（保健学科） | 本荘体育館 |
| 京町地区（附属小・中学校） | 教育学部附属小学校・附属中学校運動場 |

■ 各避難所における避難者数の推移（前震から2週間の状況）

| | 黒髪地区 | 薬学部 | 保健学科 | 附属小学校 | 附属中学校 | 合計 |
|------------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 4/14（木）前震後 | 1,000 | 200 | | | | 1,200 |
| 4/15（金） | 50 | | | | | 50 |
| 4/16（土）本震後 | 1,200 | 600 | 300 | 700 | | 2,800 |
| 4/17（日） | 500 | 200 | 200 | 500 | | 1,400 |
| 4/18（月） | 300 | 250 | 200 | 100 | 320 | 1,170 |
| 4/19（火） | 310 | 220 | 150 | 110 | 60 | 850 |
| 4/20（水） | 170 | 200 | 150 | 130 | 112 | 762 |
| 4/21（木） | 154 | 125 | 150 | 90 | 100 | 619 |
| 4/22（金） | 120 | 80 | 90 | 20 | 83 | 393 |
| 4/23（土） | 157 | | | | | 157 |
| 4/24（日） | | 81 | | 43 | 51 | 175 |
| 4/25（月） | 78 | 90 | 164 | 20 | 20 | 372 |
| 4/26（火） | 60 | 70 | 163 | | | 293 |
| 4/27（水） | 57 | 34 | 163 | | | 254 |
| 4/28（木） | 49 | 22 | 40 | | | 111 |
| 避難書閉鎖日 | 4/30午前 | 5/2午前 | 5/8午前 | 4/26午前 | | |

① 黒髪地区

ア) 精神面、健康面への支援

14日の前震直後(22:00以降)、学生支援部職員が参集し、夜を徹して学内学生の避難所への誘導・支援等を行った。以下はその初動対応である。

- 黒髪南・北キャンパスにおいて、ハンドマイクを用いて武夫原グラウンドへ誘導
- 夜半になり冷え込んできたため体育館へ誘導
- 安全のために武夫原グラウンドの照明を点灯

- 備蓄倉庫からブルーシート、毛布、マットレス、水、非常食を搬出し、体育館で配付
- さらに冷え込んできたため、熊本大学生活協同組合に相談し、段ボールと新聞紙を受領
- 保健センターの医師とともに、体調不良者の対応
- 病気の学生に対しては、救急車を呼び病院まで付き添った上で保護者に連絡
- 体育館内の留学生には、語学堪能な職員が説明や相談に随時対応

イ) 本震前

前震から一夜明けた15日、経営企画本部、総務部及び財務部の職員4名1組で週末までの24時間体制のシフトを組み、第1班が業務終了後の夕刻から体育館へ入り、学生支援部職員との引き継ぎを行った。体育館には留学生を含む学生が約50～60人、柔道場に近隣住人が約30人避難していたが、毛布やマット、水などは行き渡っており、特段の混乱などは見られなかった。それから数時間が経過した16日1時25分、本震が発生した。

ウ) 本震直後

本震発生直後、一時的に体育館の照明が落ち、体育館の避難者は職員及び一部学生の誘導で武夫原グラウンドへ避難した。直後より、グラウンドへ避難してくる人の波は途切れることなく続き、午前3時頃にはその数は1,000人近くに上った。その後も強い余震と悲鳴、鳴り響く緊急地震速報のアラームは止むことなく続き、深夜のグラウンドは不安と恐怖に包まれていた。また、周囲にガスの臭気が漂ってきたため、ハンドマイクを用いて、ライター等の火気を使用しないよう、職員及び学生が懸命の呼びかけを行った。



本震発生直後の武夫原グラウンド(16日午前3時頃)

■ 避難所状況報告書（15日～16日）

| | |
|-------------------|---|
| 対応日時 | : 4月15日（金）19:00～4月16日（土）8:30 |
| 総括者氏名 | : ●●●● |
| 黒髪体育館及びグラウンド（武夫原） | |
| 避難者数 | <p>19:30 50名</p> <p>20:30 70名</p> <p>22:00 80名</p> <p>2:00 1,000名強</p> <p>5:30 800～1,000名（グラウンド）150～200名（体育館）</p> <p>7:50 100名超（グラウンド）200名超（体育館）</p> |
| 対応状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・熊本市職員1名、学生ボランティア4名（自然M2、工3年）で対応 ・避難者にマット、毛布、食糧を提供 ・20:15頃 地震発生（震度4）被害・混乱なし ・22:10頃 消灯 ・22:40頃 中国駐福岡総領事館が来訪。中国人留学生1組（4名）を見舞い、22:55頃退館 ・23:00頃 ブルーマット不足のため体育マットを集める ・1:26頃 震度6強の地震、体育館の避難者をグラウンドへ誘導 学生の協力により大きな混乱もなくグラウンドへ避難 高齢者を優先に椅子や毛布を配布 ・4:00頃 電気復旧後に高齢者を中心に体育館へ誘導 ・5:30頃 済々黒体育館も満員状態 ・6:00頃 支援物資を市役所に取りに行く 学生が帰宅した後にグラウンドに避難していた者を入館可能とした ・インフルエンザ患者を体育館管理室に隔離。保健センター長に確認し、投薬済で一応そのままに |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・学生や留学生は夜になると集まる傾向（一人だと不安） ・近隣住民らしき人が水をもらいにきた（19:00） ・小体育館にも数名いる ・アリーナは夜は寒いため利用者がいない ・つまめるくらいのお菓子があるといい ・毛布は就寝時には必要 ・本震後、物資（主に毛布）が不足 ・屋内にいる方が怖いという人もいた ・コンセントが少ない様子（タップケーブルが必要か？） ・男子トイレの蛍光管が切れている ・体育会学生が晩御飯（オードブル、おにぎり）を提供 21時頃残飯の回収に来てもらった |

| | |
|----|---|
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・ガセ情報があり、情報錯綜 ・電気ポット（2台）は人事課から借用、最終組は人事課へ返却のこと ・熊本市からの毛布は返却する必要があるため、持ち帰ることを控えさせる ・障害者団体から医師、薬剤師を常駐させるべきとのクレームあり、団体の代表を連れてくるとのこと（6:30頃） ・物質生命学科のトイレを開放（6:30頃 ●●准教授、断水時も使用可能） ・留学生からもボランティアの申し出あり、学生ボランティアに伝達したが、今のところ大丈夫とのこと（7:30頃） ・16（土）夜の雨の影響により白川氾濫の恐れがあるため、白川沿いの学生も体育館に避難できるようにする（HPに掲載） ・学生ボランティアグループ 紫熊会、法学部志法会、教育学部生涯スポーツ福祉課程、生協、体育会 |
|----|---|

エ) 学生ボランティアの始動

このような想定外の事態に直面し、前述のシフト職員も混乱する中、いち早く行動を起こしたのが本学学生であった。学生達は、グラウンド入口で誘導する者、各避難者を見て回りブルーシートや毛布を配る者など役割を決め率先して支援にあたった。その学生達は、大学祭の実行委員や法学部志法会等のメンバーで、SNS等を通じて自発的に集まり、自身も被災者であるにもかかわらず、夜を徹して支援にあたり、その後も長期にわたり献身的な活動を続けた。



16日8時頃の様子

オ) 避難所の運営にあたって

今回の地震では体育館を避難所として開放し、閉鎖の際は多くの方々から感謝の言葉がかけられるほど細かな対応ができたのは、ひとえに学生や教職員が積極的に運営に参画したことに加え、保健センターの医師や看護師による心身のケアや他大学等からの災害用品の提供があったこと、更に特筆すべきは、防災学が専門で避難所運営の経験を有する教員が在籍していたことである。

力) 避難所の整備と課題等

16日朝、避難所に向かい、その後、学生ボランティアを指揮し運営を主導した地域創生推進室の安部特任助教がまとめた報告書(「熊本大学黒髪体育館避難所運営について(2016.5.17)」)より、主な取り組みや今後の課題等を以下に抜粋する。

■ 避難所の整備の過程

| | |
|--------|--|
| 16日(土) | <ul style="list-style-type: none"> ● 本部機能の設立 ● 担当部署の振り分けと配置、学生ボランティアのシフト作成、運営開始 ● 各機能別(本部・物資／配給・受付・外国人対応・救護・清掃・情報)による避難所運営の実施 |
| 18日(月) | <ul style="list-style-type: none"> ● 各ブースでの引き継ぎ簿の作成 ● 学生ボランティアによる運営本部を解散(市役所・大学主体の運営に転換) |
| 19日(火) | <ul style="list-style-type: none"> ● 清掃時間(避難者の身のまわり)の設定 ● 館内に店舗の再開状況を記した地図を掲示(学生ボランティアが更新) |
| 20日(水) | <ul style="list-style-type: none"> ● 夜間受付のシフトを縮小(夜間の出入り減少のため) ● ラジオ体操の開始(車中泊を含めて声かけを実施) ● 市役所、大学、ボランティアでの全体会議の実施(7:30と17:30) ● 事務職員1名がシフトで常駐開始(昼間) ● 目安箱(リクエストボックス)の設置 ● 館内入り口の情報ボード作成(インフラ復旧状況、近隣店舗の再開状況、館内のお知らせなどを集中、情報はボランティアが毎朝更新) ● 避難所の広報窓口を広報戦略室に1本化 |

■ 避難所運営における配慮



段差の分かり難い箇所には、転倒予防の目的で色テープを貼った。



子どもたちの描いた絵は、館内に掲示した。



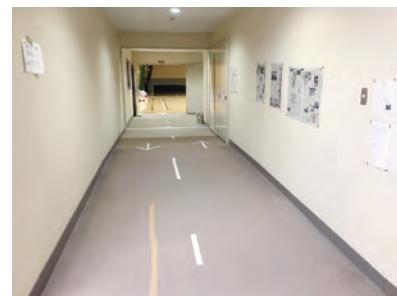
外国人避難者向けに、県外へのアクセス方法やインフラの復旧情報、各國大使館の対応などを英語で情報発信した。



地域のインフラ等の復旧情報を得るために、専用の掲示スペースを設けた。視覚的に、復旧したもののお知らせが増えることで自宅に帰る判断にしてもらった。他にマップも作成し同様に掲示した。



リクエストボックスを作成し、下着の不足などスタッフに申し出難い相談などを拾えるようにした。



食事お渡し時の混乱を避けるため、廊下に右側通行を促す表示を施した。

■ 大学が避難所を運営する利点

- 専門性
 - ・救護所の運営：看護・養護関連の課程
 - ・各団体：体育用具の貸し出し(マット類)、ブルーシート、音響設備等
 - ・スポーツ福祉課程、体育会：ラジオ体操
 - ・留学生、英語関連課程：外国人避難者対応
 - ・教育学部：音楽、画材の提供
 - ・保健センター(医師、看護師)、臨床心理士、大学生協の協力
- マンパワー：学生ボランティアの大量確保が可能
- 自治会の介入なし：指揮系統が乱れない
- 施設の充実(グランド、体育館、グローバル教育カレッジなど)
- 近隣の小学校、中学校や地域住民との交流

■ 避難所運営の課題

- 指揮系統、本部の動かし方(市との連携)と役割分担
- 学生ボランティアの調整とその解散
- ごみの回収(火・金で大学委託の業者が対応、市役所の回収なし)
- マスコミ対応
- 閉所の時期(市との調整)、その方法
- 炊き出し回数の限度(自治会の介入が見込まれないため他の避難所に比べ少ない)
- 他の避難所との連絡体制(過不足物資の情報収集)
- SNS (Twitter, Facebook, LINE)による情報の混乱

■ 避難所運営の状況



ゴミの分別表示(英文併記)

学生主体の本部運営の様子

外国人留学生ボランティアによる健診相談



16日夜の体育館の様子



スポーツ福祉課程によるラジオ体操



学生ボランティアによる読み聞かせ



避難所入口付近に設置されたテレビ



避難所に設置された携帯電話充電器



避難されている方たちの支援(おにぎりの炊き出し)



ボランティアの中学生による声掛け、人数カウント



新聞の掲示。当初避難者数に対して不十分な部数がきたため、混乱を招いた。そのため、毎日新聞を壁に掲示し、新聞が足りなくて情報を得られるようにした。



受付の様子。避難所に来た代表者の氏名、人数、家族構成(大人、子供の人数)を確認。食事の準備のために数字は必要。



洗面台。台所の生ごみ用のネットを活用して石鹼入れに代用。女性用のトイレには生理用品が必要な数取れるように設置した。



避難所を出られる日の朝、被災者の方がお礼にと洗面台を磨いてくれた。



紙ごみの現状。特に新聞紙は毎日大量にごみになる。掃除などで利用するが圧倒的にごみになる量が多いので、一か所に集める。ごみ集配の優先順位が低いため、最終日まで回収はなかった。



各支援団体への対応が必要(D-MAT)



口腔ケア用品や、体をふくウェットティッシュは洗面台のところにまとめて設置。



本部席側面。市政だよりや新聞紙の他に、マスクや掃除道具などはまとめて管理。

動物の預かりをどうするか対策が必要。体育館は、犬以外に蛇の持ち込みがあった(受付で預かり、ケースに入れて下駄箱で保管した)。



■ 避難所の一日

- 7:00 起床
- 8:00 全体会議(朝) *上記スタッフ及び学生ボランティアによる
- 8:30 館内清掃(ボランティアによる)
- 10:00 ラジオ体操①
- 11:30 昼食の配給
- 16:00 ラジオ体操②
- 16:30 館内の掃除(避難者が自身の周辺を清掃)
- 17:00 全体会議(夕)
- 18:00 夕食の配給
- 22:00 消灯

■ 外国人留学生に対する一問一答（一部抜粋）

Q: 避難所でどんな問題があったか？

初めに直面したのは食事の問題です。インド人留学生はヒンドゥー教のため、牛や豚を食べられません。そのため、避難所の食事を食べられませんでした。私たちはよく、避難所でもらうスナック菓子を食べていました。次に困ったのは水です。当初、アパートにも避難所にも飲んだり料理に使ったりする水がありませんでした。私たちはペットボトルの水をコンビニで買い、料理に使っていました。その後は、お風呂の問題がありました。避難所ではシャワーを使うことができませんでした。この2つの問題を除いては、本当に避難所の担当の方々に感謝しています。

Q: どんな情報が欲しかったか？

1回目の地震の直後、どこに行けば安全なのか全く情報がありませんでした。友達から情報が来て、桜山中学校に行きました。2回目の地震の後も、同じようにこの中学校に行き夜を過ごしました。2日目になって、熊本大学に避難所があることを知り、移動しました。このことから、私たちは特に日本語のわからない留学生に対して、どこに避難所があるのかといった情報を早く出してほしいと思います。

Q: 他の避難者たちとどのように交流をしていたか？

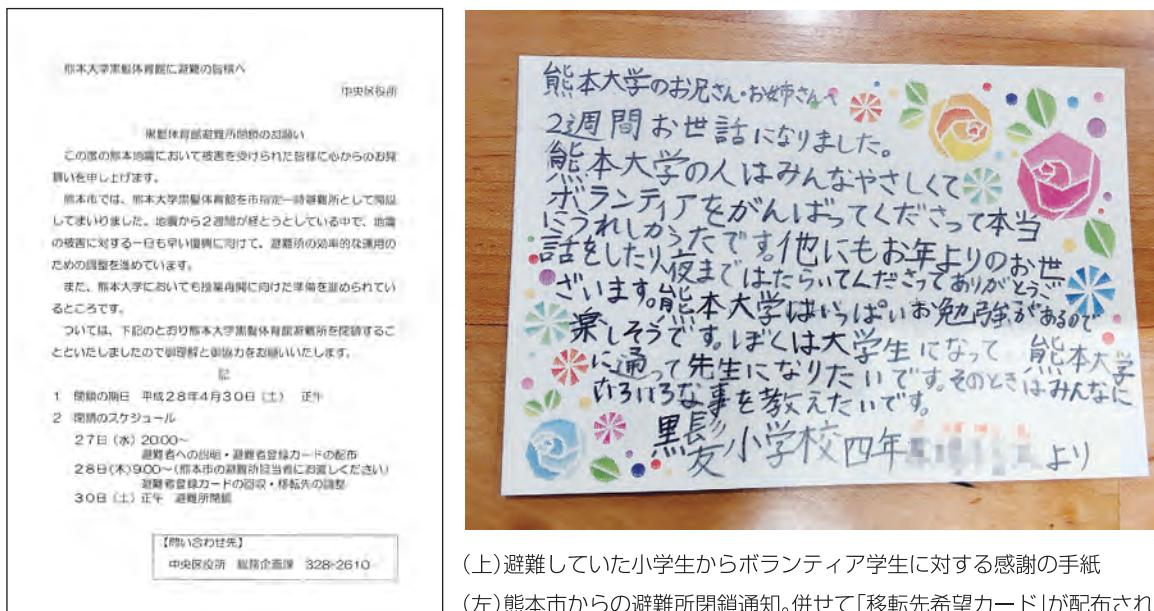
いろんな国からの留学生たちと、本当に良い時間を過ごすことができました。日本人の家族や留学生との交流は、地震に対する緊張や恐怖を和らげてくれました。私たちは外国人の子供たちとゲームをしたりしました。インドのゲームもしたり、話をしたりして過ごしました。

キ) 避難所運営主体の転換

学生ボランティアは18日(月)正午をもって解散し、自治体や避難者主体の運営に切り替えた。これにより、避難者自らが食事手配や清掃等に携わるようになった。

ク) 避難所の閉鎖

黒髪地区避難所は、30日の午前を持って閉鎖した。閉鎖に際しては、熊本市が事前に避難者へ通達した上で今後の避難希望先を照会していたことから、特段の混乱は生じなかった。



(上) 避難していた小学生からボランティア学生に対する感謝の手紙
(左) 熊本市からの避難所閉鎖通知。併せて「移転先希望カード」が配布された

② 大江地区

大江地区(薬学部)避難所は前震発生後の14日に体育館を開放し、5月2日午前の閉鎖までの間、ピーク時には約600人が避難した。また、大江グランドには約100台の車が集まり、避難所全体で1,000人を超えた。

避難所では、主に教職員及び学生がボランティアとして支援活動を行い、避難されている方々の食事の世話、生活支援などを行った。また、怪我をした方の病院への搬送や急病を発症した方の看病、病院への連絡等を行った。

キャンパス内では、体育館を地域市民の避難場所とし、宮本記念館を学生、留学生の避難場所とした。一般の方は、薬学部周辺の大江地区市民が多くいたが、白川地区や他の地区からも避難されていた。学生は、薬学部、大学院薬学教育部の学生、留学生のほか医学部の学生もあり、多い時には、1日約70人程度が宿泊した。

なお、避難所運営主体は教職員、学生から、避難者(自治体)へと切り替えていった。



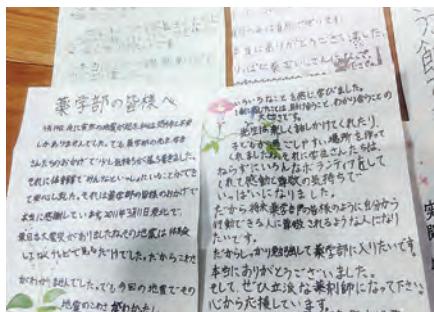
避難所の様子(夜間)



避難所の様子



体育館前での炊き出しの様子



避難者から寄せられた感謝の手紙

③ 本荘地区

本荘地区(医学部保健学科)避難所は、本震発生後の16日に体育館を開放し、5月8日午前の閉鎖までの間、ピーク時には約300人が避難した。前震直後に第1体育室(メイン体育館)が使用不能となつたことから、第2体育室は階段まで避難者があふれ、一時は座ることもできないような状態であった。避難所では、主に教員及び学生ボランティア(各10名程度)が交替で避難されている方(主に近隣の住人)の食事の世話や生活支援を行い、消防団員も焼き出しや食事の配膳等に加わった。

なお、避難所には熊本市職員が常駐していたが、災害時の対応が周知されていない様子で、最終的には後日応援に駆けつけた北九州市、名古屋市職員が避難所運営の陣頭指揮をとる形となった。

④ 京町地区

京町地区(附属小中学校)避難所は、本震発生後の16日に附属小学校体育館及び附属中学校の教室を開放し、26日午前の閉鎖までの間、ピーク時には小中学校あわせて約700人(ほとんどが近隣住人)が避難した。

附属中学校では教員が3人1組となり24時間体制で避難者を支援し、また、学生ボランティア(約20名)や卒業生、保護者等が避難者の食事や体操等の世話をした。附属小学校では主に教職員が運営を行った。



中学校1階の1年生の教室



廊下にまであふれた避難者



生徒・卒業生等による物資の配給



生徒・卒業生等がコーラスで避難者を励ます

(5) 他大学等からの支援

国立大学協会を中心に支援を働きかけていただき、九州大学が総合支援窓口となり、必要な人的・物的支援をいただいた。特に避難所運営等に必要な物資の支援については、九州大学による迅速かつ的確な調整により、当面必要な物資を潤沢に備蓄、使用することができた。国立大学以外の企業等16社からも物資の支援をいただいた。

また、14日の前震後から、県内外から多数の支援申し出があったが、個人からの申し出は原則としてお断りした。

支援物資は主に各避難所及び各キャンパスへ配付した他に被災した教職員等にも支給した。



支援物資を搬入する職員(16日)



集積された支援物資(本部棟大会議室)

■ 本学から九州大学へ物資等を依頼した連絡票（一例）

| 依頼日 | 物資 | 希望量 | 何時までに | 備考 |
|-------|----------------------------|---------------|---|---|
| 4月18日 | (例) 保存食糧 | (例) 6000食 | (例) 4月〇日 | (例) 備蓄量では4月〇日までしかもない (例) 乳幼児がいるため、〇〇が欲しいなど |
| | 保存食料 | 1,500食 | 4/19(火)まで | 4/17依頼済 |
| | 保存食料 | 10,000食 | 4/19(火)の夕方から本学に到着するよう、五月雨で構いませんので手配をお願いします。 | |
| | 飲料水(500ml) | 10,000本 | | 4/18(月)12:00依頼 |
| | 全身清拭タオル | 10,000人分 | | |
| | 紙コップ | 10,000人分 | | |
| | ウェットティッシュ(アルコール) 80枚入 | 100 | | |
| 4月21日 | ウェットティッシュ(アルコールなし) 80枚入 | 100 | | |
| | 建築技術者(緊急危険度判定士) | 12人/日(6人×2日間) | 別途調整 | 緊急危険度調査(倒壊等の危険性を緊急に調査) |
| | 建築技術者 | 25人/日(5人×5日間) | | 建物被災状況調査(建物内外部をやや詳細に調査) |
| | 電気設備技術者 | 15人/日(3人×5日間) | | |
| | 機械設備技術者 | 5人/日(1人×5日間) | | |

■ 九州大学から本学への連絡票（一例）

| 送付希望日時 | 物資 | 対応大学 | 量 | 到着予定 | 備考 |
|---|---------------------------------------|--------|--------|------------|------------|
| 4/19(火)の夕方から本学に到着するよう、五月雨で構いませんので手配をお願いします。 | 保存食料: 10,000食 | 宮崎大学 | 1600食 | 未定 | |
| | | 長崎大学 | 600食 | 未定 | |
| | | 山口大学 | 1710食 | 未定 | |
| | (ミルク缶) | 山口大学 | 11缶 | 未定 | |
| | 飲料水(500ml): 10,000本 → 5,000L | 佐賀大学 | 4,800L | 4月19日 | 病院への送付分も含む |
| | | 九州工業大学 | 4,200L | 4月19日 | |
| | 全身清拭タオル: 10,000人分 | 九州工業大学 | 600 | 4月19日 | |
| | | 九州大学 | 10000 | | |
| | 紙コップ: 10,000人分 | 九州大学 | 10000 | 4月19日 | |
| | ウェットティッシュ(アルコール) 80枚入 × 100(8,000枚) | 九州工業大学 | 42 | 4月19日 | |
| | | 九州大学 | 90 | 4/19 or 20 | |
| | ウェットティッシュ(アルコールなし) 80枚入 × 100(8,000枚) | 九州大学 | 100 | 4/19 or 20 | |
| | ペーパー食器(主食用・底) | 山口大学 | 6000個 | 未定 | |
| | ペーパー食器(主食用・蓋) | 山口大学 | 6000個 | 未定 | |
| | ペーパー食器(汁用・底) | 山口大学 | 6000個 | 未定 | |
| | ペーパー食器(汁用・蓋) | 山口大学 | 6000個 | 未定 | |
| | ペーパー食器(惣菜) | 山口大学 | 1000個 | 未定 | |
| | 水 1200L | 鹿児島大学 | 1200L | 4月19日 | |
| | 菓子パン | 鹿児島大学 | 300個 | 4月19日 | |

■ 各国立大学から援助を受けた支援物資の状況

| 大学名 | 受領日 | 主な支援物資 |
|------------|-------|--------------------------|
| 九州大学 | 4月16日 | 水、アルファ米、毛布 ほか |
| 長崎大学 | 4月16日 | 水、カンパン、毛布、簡易ラジオ ほか |
| 佐賀大学 | 4月19日 | 水(100箱) |
| 鹿児島大学 | 4月19日 | 水、菓子パン、カップ麺、ウェットティッシュ ほか |
| 山口大学 | 4月19日 | パン缶、アルファ米、ミルク ほか |
| 九州工業大学 | 4月19日 | 水、ウェットクロス、ペーパー食器 ほか |
| 宮崎大学 | 4月19日 | アルファ米 |
| 山梨大学 | 4月21日 | 水、パン缶、アルファ米、おでん缶 ほか |
| 奈良先端科学技術大学 | 4月22日 | 水、アルファ米 |

■ 支援を受けた企業等

(株)ジャパネットたかた、日立造船(株)、九州電力(株)、(株)ムラタ溶研、三菱商事(株)、(株)神戸製鋼所、(株)恵信工業、新日鐵住金(株)、ジブラルタ生命保険(株)、(株)リケン、日鉄鉱業(株)、丸三産業(株)、岩谷産業(株)、大正製薬(株)、九動(株)、税理士法人近代経営

■ 支援物資の受払表（一例）

H28. 4.20 (水)

| 区分 | 時間 | 受入・搬出先 | 受入・搬出物品 | 数量 | 残 |
|----|-------|--------|----------------|------|---|
| 払い | 10:00 | 附属小中学校 | 缶ジュース | △10箱 | |
| | | | ディスポタオル | △2箱 | |
| | | | 水 (2L) | △18箱 | |
| | | | 牛すき焼き缶 | △2箱 | |
| | | | 炊き出し白粥等 (50袋入) | △9箱 | |
| | | | ドライカレー | △2箱 | |
| 払い | 11:40 | 教職員 | アルファ米 (50袋) | △38箱 | |
| | | | アルファ米 (20袋) | △6箱 | |
| | | | 水 (2L) | △72箱 | |
| 受け | 14:00 | 山梨大学 | 水 (2L) | 239箱 | |
| | | | パン缶 (24個) | 90箱 | |
| | | | アルファ米 (50袋) | 100箱 | |
| | | | おでん (6缶) | 130箱 | |
| | | | 充実ボックス (5個) | 10箱 | |
| | | | ウェットティッシュ (6個) | 5箱 | |
| 払い | 14:30 | 薬学部避難所 | 水 (2L) | 48箱 | |
| | | | アルファ米 (50袋) | 30箱 | |
| | | | 紙皿 | 1箱 | |



5月13日残った支援物資を備蓄倉庫へ(右手は黒髪北地区備蓄倉庫)

(6) ホームページによる情報発信

① 被害状況の発信

一連の地震で学内の建物や設備は大きな被害を受け、一部については全面的な機能停止やネットワーク機器が入ったラックが横転などしたが、幸いにも情報ネットワーク基盤の被害は比較的小さく、メールやホームページの運用に大きな障害は生じなかった。地震後、様々な情報が錯綜する中で、本学の状況を正確に発信するため、「人的被害」「物的被害」「医学部附属病院」「ライフライン」「地区避難所」の情報等を、15日から7月4日までホームページに掲載した。

また、地震発生から1月が経過した5月13日には、初期対応や被害状況等を整理し「平成28年熊本地震」における熊本大学の初期対応等についてもホームページ掲載した。



横転したネットワークラック（情報企画課）

「平成28年熊本地震」に関する被害状況について
(お知らせ) (4月15日12時現在)

「平成28年熊本地震」に関する被害状況について (お知らせ)
平成28年4月15日 12時現在

1. 人的被害について
教員2名が軽度を負っています。学生も含めて、引き続き調査中です。

2. 物的被害について
五島記念館の煙突倒壊落下等が発生しています。
その他、建物にも、壁の剥落、水漏れ等の複数の被害が発生していますが、特に大きな被害はありません。
なお、菓品等に関しては、現在のところ被害報告はありませんが、引き続き調査中です。

3. 医学部附属病院について
通常どおり診療しています。
地蔵により骨折をされた方を受け入れ治療しています。

4. ライフラインについて
黒髪化、羽町及び大江キャンパスではガスガーバ供給停止となっています。
その他の状況について引き続き調査中です。

5. 地区避難所について
黒髪北キャンパス体育館及びグラウンド、大江体育馆を避難所として開放しています。

永瀬が続いているのですが、今後も被害状況の把握並びに大学の安全確保に努めて参ります。

お問い合わせ
運営基盤管理部 担務課 担務担当
096-342-3117

「平成28年熊本地震」に関する被害状況について
(お知らせ) (7月4日17時00分現在)

「平成28年熊本地震」に関する被害等について (お知らせ)
平成28年7月4日17時現在
熊本大学災害対策本部

災害対策本部にて把握している、熊本大学の主な取り組みに関する情報は以下のとおりです。

- 益城町の町民健康診断等のため、コーディネーターとして医師を派遣 (5月30日(月)～終了時期未定)
- 熊本復興支援キャラバンについて
- 熊本復興支援プロジェクトについて
- 本学が実施するボランティア活動（熊本大学復興支援プロジェクト）について
「熊本大学COC地（M）の熱点整備事業」のHPに掲載

※4月14日(木)の前震発生後より、定期的に本学の被害状況等をお知らせしてまいりましたが、被害の全体像がほぼ固まるとともに、「熊本復興支援プロジェクト」をはじめとする復興に向けた取り組みが個別に始動していることから、定期的な被害状況等のお知らせは今回をもって終了させていただきます。
今後、新たな被害情報等を把握した際には、熊本大学災害対策本部より改めてお知らせいたします。

お問い合わせ
運営基盤管理部 担務課 担務担当
096-342-3117

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|--|--|--|----|----|----|----|----|----|----|--|--|--|--|--|-----------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|--|--|--|--|--|--|--|-----------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|---|---|---|----|----|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-----------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="12" style="text-align: center;">4月</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">3</td> <td style="width: 10%;">4</td> <td style="width: 10%;">5</td> <td style="width: 10%;">6</td> <td style="width: 10%;">7</td> <td style="width: 10%;">8</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;">2</td> <td style="width: 10%;">15</td> <td style="width: 10%;">16</td> <td style="width: 10%;">17</td> <td style="width: 10%;">18</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="12" style="text-align: center;">6月</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">5</td> <td style="width: 10%;">6</td> <td style="width: 10%;">7</td> <td style="width: 10%;">8</td> <td style="width: 10%;">9</td> <td style="width: 10%;">10</td> <td style="width: 10%;">11</td> <td style="width: 10%;">12</td> <td style="width: 10%;">13</td> <td style="width: 10%;">14</td> <td style="width: 10%;">15</td> <td style="width: 10%;">16</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 4月 | | | | | | | | | | | | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 1 | 2 | 15 | 16 | 17 | 18 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 28 | 29 | 30 | | | | | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | | | | | 6月 | | | | | | | | | | | | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | | | | | | | <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="12" style="text-align: center;">5月</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;">2</td> <td style="width: 10%;">3</td> <td style="width: 10%;">4</td> <td style="width: 10%;">5</td> <td style="width: 10%;">6</td> <td style="width: 10%;">7</td> <td style="width: 10%;">8</td> <td style="width: 10%;">9</td> <td style="width: 10%;">10</td> <td style="width: 10%;">11</td> <td style="width: 10%;">12</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>16</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>24</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>30</td> <td>31</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="12" style="text-align: center;">7月</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;">2</td> <td style="width: 10%;">3</td> <td style="width: 10%;">4</td> <td style="width: 10%;">5</td> <td style="width: 10%;">6</td> <td style="width: 10%;">7</td> <td style="width: 10%;">8</td> <td style="width: 10%;">9</td> <td style="width: 10%;">10</td> <td style="width: 10%;">11</td> <td style="width: 10%;">12</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>30</td> <td>31</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 5月 | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 15 | 16 | 22 | 23 | 24 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 29 | 30 | 31 | | | | | | | | | | 7月 | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 29 | 30 | 31 | | | | | | | | | |
| 4月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 1 | 2 | 15 | 16 | 17 | 18 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 28 | 29 | 30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | 16 | 22 | 23 | 24 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | 30 | 31 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 29 | 30 | 31 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※4/15は、12時と17時30分に、他の日は、
17時に情報を更新

第3章 緊急対応

「平成28年熊本地震」における熊本大学の初期対応等について

平成28年5月13日
熊本大学

1.はじめに

熊本県では、4月14日（木）21時26分に最大震度7（マグニチュード6.5）の前震、同16日（土）1時25分に最大震度7（マグニチュード7.3）の本震が発生しました。

熊本大学では、前震後である4月15日（金）から、HPにて被災状況等をお知らせしてまいりましたが、地震発生から一ヶ月が経過し、被害の全容像を把握すると共に、大学等の授業も再開したこと等から、本学における地震発生後の初期対応等を整理しました。

主な内容は以下のとおりです。

2. 地震発生直後の対応

（1）地震発生と灾害対策本部設置

- 前震を受け、危機管理担当である財務・施設担当理事をはじめ、参集可能な職員が大学に集まり被災等の状況を確認し、同理事から学長へ、病院も含めて確認された被害状況を報告。
- 翌朝、速やかに学長を本部長とする「災害対策本部」を設置し、被害に関する情報収集や初期対応等を開始。

（2）初期対応等について

- 第1回災害対策本部会議において、総務班、広報、情報収集班、被災者対策班等から構成される災害対策班を設置。
- 各班所定の業務を行うとともに、学生（留学生を含む。以下同じ）、教職員の安否確認を最優先として、電話、メール、Webシステム等を活用し、情報を収集。

（3）部局との連携

- 4月18日（月）に、各部局長が集まる連絡調整会議を臨時で開催し、本学の被害状況及び施設等被災の復旧に向けた今後1週間の短期的対応について情報共有。
- 同会議における学長要請により、各部局において「平成28年熊本地震」における対策チームを設置し、復旧に必要な検討事項を洗い出し、今後の復旧工程表を作成することを依頼。
- 現在は、各対策チームの検討状況に基づき、短期、中期、長期に復旧工程を整理し、災害対策本部において今後の対応を検討中。

3. 被害状況について

（1）人の被害

- 前震及び本震発生後、前述の方法により、速やかに学生及び教職員の安否を確認。
- 現在は、全ての学生及び教職員の確認が取れており、学生83名、教職員11名が軽傷を負ったとの状況を把握。
- 学生については、「被災状況並びに通学見込み」等に関する調査を4月25日（月）から実施。

（2）物的被害

- 前震により、国指定重要文化財である五高記念館の煙突や屋根瓦の損傷落下げ等が発生。
- その他の建物にも壁のひび割れや剥落、水漏れ等の被害が発生。
- 本震により、五高記念館に新たな損傷落下げが発生したほか、同じく国指定重要文化財である化学実験場や工学部研究資料館においても、損傷落下げや外壁のひび割れ等の被害が発生。
- これら3棟は使用を中止し、周囲を立ち入り規制中。
- 黒髪キャンパスの工学部1号館をはじめとして、各キャンパスの建物の壁にひび割れや剥落、天井ボードの落下、水漏れ等の被害が多数発生。
- これを受けて、本学施設担当職員と九州大学からの支援職員が建物の応急危険度判定を行い、新たに2棟を当面の間使用を中止。
- 調査により、宇宙毛貝地法面にひび割れが判明したことにより、同地区的教職員宿舎及び留学生等の宿舎である国際交流会館の一部の入居者の退去を指示。現在も、教職員宿舎及び国際交流会館の一部は立ち入り禁止。
- 九州地区5大学（九州大学、佐賀大学、長崎大学、宮崎大学、鹿児島大学）からの支援も得て、建物内部の被災調査を実施。
- 実験装置にも倒壊や落下げ等が多數あり、被害状況を調査中。
- 薬品等を扱う全ての研究室等について調査を実施し、必要な応急対応処理を完了。
- 5月1日（日）に、施設科学大臣が附属小・中学校及び国指定重要文化財建物、工学部建物の被災状況を視察。
- 5月7日（土）に、文化庁による、国指定重要文化財建物の被災調査。
- 附属小学校建物の応急修理を終え、5月8日（日）に、授業再開に向けた保護者への説明会を実施。

（3）ライフラインについて

- 本震発生後は、電力は通常どおり供給されたが、上水道及び都市ガスが供給が停止。
- 上水道の供給停止期間中、一部のキャンパスにおいては学内の井戸水を供給し対応。
- 現在、電力、上水道、都市ガスは全キャンパスで通常通り供給中。
- エレベーター・エスカレーターは、安全確認を行い順次稼働させているが、被害を受け修理が必要なものもある。

4. 避難所の開設について

- 前震発生直後から、一時避難所として、黒髪北キャンパス体育館及びグラウンド、

大江体育館（英学部）を開設。

- 本震を受けて、上記に加えて黒髪北キャンパス全学教育棟、本庄体育馆、附属小学校体育馆及び附属中学校教室を開設し、最大で約2,800名の学生や地城住民を受け入れ。
- これらの避難所においては、本学職員のみならず、学生ボランティアも参画し、熊本市職員と連携を図りながら運営。また、留学生ボランティアも参画して、外国语による対応も実施。
- 避難者の増加による本学の支援物資の激減を、九州大学及び長崎大学の速やかな支援により補うとともに、継続的な被災者支援のため、九州大学を窓口として、8大学（九州大学、佐賀大学、鹿児島大学、山口大学、九州工業大学、宮崎大学、山梨大学、奈良先端科学技術大学（受入順））から水、食糧、毛布等の支援を得た。
- ※ 熊本での避難所集約化の方針により、5月8日（日）までに全ての学内避難所を閉鎖。

5. 医学部附属病院の状況について

- 職員、患者等に人の被害なし。
- 建物間の渡り廊下に亀裂、外來診療棟及び中央診療棟の天井壁の落下、医療用エレベーターの故障等の物的被害あり。
- これらの物的被害は現在仮復旧により対応。この他、エスカレーターの復旧は5月下旬に見込まれる。
- 本震後、上水道及び都市ガスが供給停止となり、透析患者及び重症患者の手術等の水を確保するため、熊本県災害対策本部に対して自衛隊の給水を要請。給水車により、4月17日（日）から25日（月）まで毎日5トン～115トンの供給を受けた。4月25日（月）に上水道が復旧。
- 他の病院において、重症患者の受け入れ体制が整わない状況を受けて、一時に本学附属病院にて重症患者の受け入れを実施。その後、患者の搬送等を勘案し、他県の国立大学附属病院等へ一部の患者を転院。現在は平常時の状態。
- 医療スタッフ及び職員の飲料及び食糧が不足したため、3大学病院（九州大学、佐賀大学、宮崎大学（受入順））をはじめ、順次長崎大学、大分大学、鹿児島大学から支援を得た。
- 4月18日（月）の外来診療を休止した者は、通常どおり診療を実施。

6. 学生に向けた対応について

（1）教育支援

- カレンダー・行事予定表の見直しを実施。
- 5月6日（金）まで休講とし、9日（月）より授業を再開。
- 履修登録期間も4月21日（水）から5月13日（金）に延期。
- 附属学校等については、小学校及び中学校は5月9日（月）より授業を再開、幼稚園及び特別支援学校は同10日（火）より授業を再開。

（2）学生支援

- 主に以下の事項について実施

- 災害救助法適用の地域で被災した世帯の学生で、家計急変のため修学が困難となった学生に対する授業料免除（本申請5月9日（月）～20日（金））。

- 平成28年度定期授業料の提出期限を1ヶ月延長。
- （4月28日（木）～5月27日（金））
- 奨学金の申請受付期間や関係書類の提出期限等を一部延長。
- 地震でメンタルヘルスの不調をきたしている学生の相談窓口を掲示及びHPで周知し、保健センター、学生支援室及び学生相談室で対応。
- 企業の人事担当者向けに、被災地域の学生へ、説明会等日程や細切について特別の配慮を依頼する文面をHPに掲載するとともに、マスクミリリース等により、報道に働きかけます。
- 入居希望の避難学生に対する学生宿舎空き室への受入体制を整備。
- 工学部3年次編入学試験（推薦）の入学願書受付等を延長。
- 「平成28年熊本地震」により被災した志願者の入学検定料免除の実施。
- （5月受付開始の工学部編入学試験を始め、全ての入試を対象に検定料免除を実施）
- 4月29日（金）～5月8日（日）の連休期間中も、学生支援部の窓口を開設して対応。

（3）その他

- 8月に開催を予定していた本年度のオープンキャンパス、サマープログラムの中止を決定。その他多くの事業を中止並びに中止を検討。

7. 最後に

余震が続いているが、今後も大学の安全確保を図るとともに、教育研究体制や施設設備等の短期、中期、長期の各段階による復旧計画を検討・策定します。

各大学からの職員の派遣並びに物資の支援、さらには各大学への物資支援等の働きかけをされた文部科学省、一般社団法人国立大学協会に感謝申し上げます。

また、多くの方から、本学の早期復旧のためにいただいているご支援について感謝申し上げます。

② 学長からのメッセージ

学生及び教職員に対しては、15日に「余震への注意喚起」を、本震後には19日に教職員向け「平成28年熊本地震」からの復興に向けてを、21日に学生向け「学長から学生諸君に」を学長からのメッセージとしてホームページに掲載した。

余震に注意してください。

14日（木）に発生した地震の余震が続いています。余震発生時には次の点にご留意ください。

事前に確認すること
○避難場所の確認

余震が起きた場合
○まず身の安全を守る！（落下物・転倒物から、特に頭部を守る。）
○火気を使用中の際には、しばらく火を消し、火災の発生を防止する。
○ドアを開けて非常出口を確保する。
○あわてて建物から飛び出さない。
○エレベーターの中をしている場合は、すべての階のボタンを押し、停止した階で降りる。閉じ込められたら、非常ボタンを押して放出を待つ。
○自動車を運転中は、ゆっくりと道路の左側に寄せてエンジンを切る。

足りがおさまったら
○電気器具のプラグをコンセントから抜く。また、漏電の危険性がないことを確認されるまで、ブレーカーを切る。
○倒れやすくなっている物・落しやすくなっている物は、応急廻避する。
○負傷者がいれば、応急廻避を行なう。必要に応じて応援を求める。

火が出たら初期消火
○出火の際は、とにかく大声で周囲に知らせる。また、火災報知器を使用する。
○消防栓（ケツ）、消火器、消火栓等により初期消火を行なう。
○天井に火が届くようになったときは、すぐに避難する。

お問い合わせ
運営基盤管理部 務務課 務務担当
096-342-3117
マーケティング推進部広報戦略室
096-342-3119

「平成28年熊本地震」からの復興に向けて＜教職員向け＞

「平成28年熊本地震」からの復興に向けて

先の「平成28年熊本地震」で被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。
本年4月14日以降の一連の地震は、美しい風景とそこにいたった我々の日常生活をあまりにも無残に、冷酷に踏み躊躇り、熊本の地に計り知れない苦痛と悲劇をもたらしました。

本学にとっても、第3回中国目標期間初年度を頂え、これから教職員一丸となって、未来への復興を試みようとしたときにこのような災厄に向か合はなければならることは、初めて経験であります。

しかししながら、我々大学人は、大学人である限り、人類の歴史をもってしても防ぐことができない災害に立ち向かなく、連携と受け継がれてきた知識的活動を発展させ、次の世代に繋いでいかなければなりません。能動的状態を聞きつけた全国の国立大学から支援の申し出をいただきしており、これらの支援に応えることも我々の使命だと思います。

教職員、学生の皆様におかれましては、ご自身が被災されているにも関わらず、大学の避難所や各地域の避難所等で様々な形で支援の輪に加わり活動されていることに感謝いたします。

また、研究拠点大学の構成員として我々は、知識的活動を重視し、新たな知を創造し、社会の発展に寄与しなければなりません。そのためには、出来るだけ早く、教育研究環境を回復させることが必要だと考えます。

我々はこの震災から早期復旧を成し遂げなければなりません。熊本の間に支えられ、地域とともに成長してきた本学が、熊本の復興のためにまず成すべきことは、我々が一日早く、震災前よりも活力ある大学として復活を遂げることです。我々が取り戻すべき活力は、必ず熊本復興の原動力になると信じております。

本学の有する最大の資産は、その構成員である皆様です。皆様一人ひとりの尽力がなければ、この難題を乗り越え、本学が本来の姿を取り戻すことは出来ません。

これから立ち向かわなければならない困難は計り知りませんが、皆様の持てる力を結束し、教育研究に酒氣を取り戻し、熊本の復興に尽力できる熊本大学の再生に取り組んで行ないますので、何卒ご協力をお願いいたします。

平成28年4月19日
熊本大学長 原田 信志

学長から学生諸君に＜学生向け＞Regarding the Kumamoto Earthquake Message from the President to the Students of Kumamoto University(4月21日掲載)

学長から学生諸君に

14日から始まった「熊本地震」は、かつてない大きな地震の群発地帯で、熊本大学のシンボルである五高記念館や多くの校舎に大きな被害を受けています。我々はこの悲惨な現実を目の当たりにし、不条理とも言える状況を克服すべく、決意を新たに様々な問題に挑戦しなければなりません。誤解を恐れずに言うならば、このような危機は、また、チャンスでもあり、これらの体験を経てさらに力強い人間に成長しようではありませんか。

現在、本学では学生や教職員の安否確認とともにキャンパスの安全確認・確保に全力を挙げています。多くの学生諸君には避難所でのボランティア活動や研究室の清掃などを行なっていただき、大変感謝しております。

現在、5月9日からの授業再開に向けて、教職員が一丸となって復旧作業に尽力しています。学生諸君におかれましては、確実な情報の把握に努め、ウェブサイトなどで本学からの最新情報を随時確認し、慎重な行動をとっていただきたい。また、休講期間中は、多くの苦難の状況を克服し、自分自身に打ち克つための自学自習の時間としていただきたいと思います。

平成28年4月21日
熊本大学長 原田 信志

Regarding the Kumamoto Earthquake
Message from the President to the Students of Kumamoto University

The series of devastating earthquakes, which first hit Kumamoto Prefecture on the evening of April 14th, have been part of earthquake swarms, never before experienced by this area. Our university's symbol, the Memorial Museum of the Fifth High School, and many other school buildings on the campus have suffered damage. In light of this catastrophic situation, we have to find a new resolve, to meet these obstacles in order to overcome this unimaginable tragedy. We will emerge stronger from our shared difficult experiences.

We are currently confirming the safety of the students and faculty members and will strive to learn the full extent of the damage in order to ensure safety of the campuses. I would like to offer my deepest thanks to the large number of students who have volunteered to support the evacuation shelters and cleaned the offices and laboratories.

We plan to restart the lectures on May 9th and our university staff will make a concerted effort to resume the university activities. Please continue to act with care and keep up to date with developments by regularly consulting the university website. I hope that you will be able to overcome these difficult times you have experienced and that you will emerge from this crisis with a renewed desire towards self-discipline and self-improvement.

April 21st, 2016
HARADA Shinji
President of Kumamoto University

③ 授業再開までの学生への周知

ホームページ上に「重要なお知らせ」を開設して、周知を図った。休講期間の延長等の掲載記事の変更を行ったが、掲載時間等の表示がなかったため掲載内容の修正の周知が行き届かないことも考慮し、掲示タイトルに掲載日時や更新日時を付け加えた。また、英語版ホームページにも同じ内容を掲載していたが、情報を速やかに伝達するため、19日から日本語と英語の併記とし、過去の記事も併記掲載した。

なお、5月16日には「在学生の皆様へ」のページとして情報の集約を図った。

地震に伴う4月15日（金）の授業休講について

4月15日（金）の授業については、全て終日休講とします。

お問い合わせ
学生支援部 学務課 教務支援担当
096-342-2716

4月15日(金)の授業休講について(4月14日(木) 23:40掲載)

学生の皆様 安否確認について Confirmation of your safety (16.04.16 15:30)

学生の皆様

16日未明の地震に伴い、学生の安否確認を再度行っています。
下記、アドレスへアクセスし安否について再度連絡してください。

※手元に学生証を用意し、
<http://lecregdb.kumamoto-u.ac.jp/tapi/c1.html>から安否確認のページにアクセスしてください。
・ログインID（熊本大学ID）の確認方法について
<http://www2.cc.kumamoto-u.ac.jp/cas2014/>
・パスワードが分からぬ場合は、096-342-3949にご連絡ください。
⇒「在学生の皆様へ」に戻る

To all students

Confirmation of your safety.

Kumamoto University is again trying to confirm the safety of all Kumamoto University students. Confirmation of your safety (16.04.16)
Prepare your student ID card and please access the "Safety Confirmation Website".
<http://lecregdb.kumamoto-u.ac.jp/tapi/c1.html>

International Student Office
096-342-2103

⇒ Back To "Important information regarding the earthquake for International Students"

お問い合わせ
学生支援部 学務課 教務支援担当
096-342-2716

学生の皆様 安否確認について
(4月15日(金)に掲載し、16日(土)に再掲載)

5月6日（金）までの授業休講について Information on class cancellation until Friday, May 6 (16.04.18 19:50)

4月14日（木）夜及び16日（土）未明の地震発生に伴う、ライフラインの復旧及び大学施設の安全確認のため、5月6日（金）まで授業は休講いたします。
なお、5月9日（月）から授業を再開いたします。

（履修登録については、5月9日（月）から13日（金）まで実施いたします。）

（お願い）
学生の皆様の安全を少しでも早く確認するため、安否確認システムへの入力をお願いいたします。
※ 手元に学生証を用意し、以下のアドレスから安否確認のページにアクセスしてください。
<http://lecregdb.kumamoto-u.ac.jp/tapi/c1.html>

お問い合わせ
学生支援部 学務課 教務支援担当
096-342-2716

Information on class cancellation until Friday, May 6

All classes will be cancelled through Friday, May 6 to ensure the restoration of essential utilities and the safety of the University facilities.

Classes will restart from Monday, May 9. Registration period will also be extended from Monday, May 9 to Friday, May 13.

（Confirmation of your safety）
Kumamoto University is trying to confirm the safety of all Kumamoto University students. Please access to the following "Safety Confirmation Website" to enter your name and student ID.
<http://lecregdb.kumamoto-u.ac.jp/tapi/c1.html>

Thank you.

International Student Office 096-342-2103

5月6日(金)までの授業休講について(4月18日(月)掲載)

授業料免除・奨学金等に関する重要なお知らせ (16.04.19 15:00)

平成28熊本地震に伴い、奨学金の申請受付期間や関係書類の提出期限等を一部変更します。
詳細は、熊本大学ポータル掲示板（学外からスマート閲覧可）で確認してください。

1. 日本国学生支援機構奨学金

- 学部1年次
 - 在学採用（大学で新規申込み） ※変更あり
受付日：4月28日（木）～5月2日（月） → 5月17日（火）～18日（水）に延期
 - 予約採用（高校で申込み）
・インターネット未入力の方
4月24日（日）～5月16日（月）初回振込
4月25日（月）～5月26日（木）までに入力 → 6月10日（金）初回振込
※関係書類が手元にないやインターネット入力が出来ない環境の方は、
学生本人が至急経済支援担当まで連絡してください。
 - ・大学からユーザID・PWを未受領の方
※学生本人が至急経済支援担当まで連絡してください。

- 学部2年次以上（継続生含）及び大学院生の在学採用（新規申込み） ※変更なし
受付日：5月10日（火）～12日（木）

- 大学院生（予約申込みの4月採用者）
 - ・進学届（インターネット入力）を4月8日までに入力した方
返還誓約書等を5月9日（月）に配付予定
※郵便事情で配付延期の場合は、5月2日（月）にポータル掲示板で周知します。

- 別枠生及び専攻科生（新規申込み） ※変更あり
受付日：4月26日（火）～5月9日（月）に延期

2. 各種奨学金（地方自治体、企業等の奨学金）の申請予定期

※受付名簿に記入された方は、提出期限の延長を地方自治体等へ交渉しています。
期限が切迫している方には、大学から学生本人の携帯へ個別に連絡します。

4月15日(金)の授業休講について
(4月14日(木) 23:40掲載)

被災された世帯の学生を対象とした平成28年度前期分授業料免除について (16.04.28 16:45)

このたびの平成28年熊本地震により、災害救助法適用の地域で被災された世帯の学生で、家計急変のため修学が困難となった学生に対して、授業料免除を実施します。

以下の「免除の対象者」に該当し、申請を希望される方は、仮申請用のアドレスへアクセスし、授業料免除の仮申請を必ず行ってください。仮申請者は、5月27日（金）の前期分授業料口座振替は行いません。本申請は、授業再開後、以下の申請期間内に必要書類を提出することにより、受け付けを行います。

免除の対象者

学資を主として負担している方が災害救助法適用地域に居住し、市区町村長又は消防署長が証明する「り災証明書」により、その家庭等が全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊等であると証明された方・学資を主として負担している方が震災により死亡（行方不明を含む。）した場合

※「学資を主として負担している方」とは、学生本人の保護者（保証人）を示します。

※独立生計者（大学院生に限る。）は、本人所有の持ち家の場合のみ対象となります。

※留学生は、「免除の対象者」に該当する場合は申請できます。

不明な場合は、096-342-2126までご連絡ください。

申請期間及び申請場所

- ・仮申請：本学ホームページ掲載後～5月12日（木）まで
- ・本申請：5月9日（月）～5月20日（金）（8:30～18:15土・日を除く）
- ・申請場所：学生支援部学務課経済支援担当 全学教育棟6窓口まで（黒巻北地区キャンパスマップ [17]番の建物）

本申請の必要書類

- ・震災特別枠授業料免除申請書（PDF753KB）→申請書の注意事項を熟読してください。
- ・公的機関発行の「り災（被災）証明書」（コピー可）→被災状況の写真が必要です。
- ・学資負担者死亡（又は行方不明）の場合は、それを確認できる書類
- ・独立生計者の場合は、本人所有の持ち家であることを証明できる書類

※「り災（被災）証明書」は発行までに時間がかかります。お住まいの市区町村へ早めに申請してください。提出が遅れる場合は、本申請期間内に「申請した証明」の提出をお願いします。すでに申請中で申請証明等がない方は、申請書の該当箇所にチェックを入れてください。

被災された世帯の学生を対象とした平成28年度前期分授業料免除について（4月25日（月）掲載）

『緊急・重要』「被災状況並びに通学見込み」等に係る調査の実施について（お願い）※(回答期限延長：5月30日まで)(16.04.28 17:43)

※追加連絡※

以下の調査を継続して実施しています。（5月30日まで実施）

回答にご協力いただけますようお願いいたします。

学生並びに保護者の皆様へ

この度の「平成28年熊本地震」におきまして、被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。

また、学生並びに保護者の皆様におかれましては、生活面等全ての面におきましてご不安な点があるかとお察し申し上げます。

現在、私どもは、学生の皆さんお一人おひとりの不安な面に対して、いろいろなケアや支援を検討しているところであり、できるだけの対応をしてまいる所存でございます。

私ども大学としては、一日も早く授業等を再開し、学生の皆さん自身の生活を通常の日常生活に戻すことを最優先事項に掲げて、教育環境の復旧に努めているところです。

つきましては、5月9日（月）からの授業再開に向けて学生の皆さんが安心して大学生活に戻ることができるよう、学生の皆さんへの被災状況（住民、住處等）の調査を実施することとしました。

同様の調査が幾つか実施されており、混乱を来しているところがあるかと思いますが、上記趣旨をご理解いただき、以下のサイトから、ご回答くださいますようお願いいたします。

なお、締切りは、授業再開のための準備の都合上、5月8日（日）とさせていただきます。

余震が続く状況下で、皆様にご負担を強いることとなり、誠に申し訳ございませんが、ご協力いただけますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

「被災状況並びに通学見込み等に係る調査」[ここ](#)をクリック

お問い合わせ

学生支援部 学務課 学務企画担当
096-342-2715,2713

『緊急・重要』「被災状況並びに通学見込み」等に係る調査の実施について（お願い）（4月25日（月）掲載）

◎ 報道機関、文教ニュース、文教速報

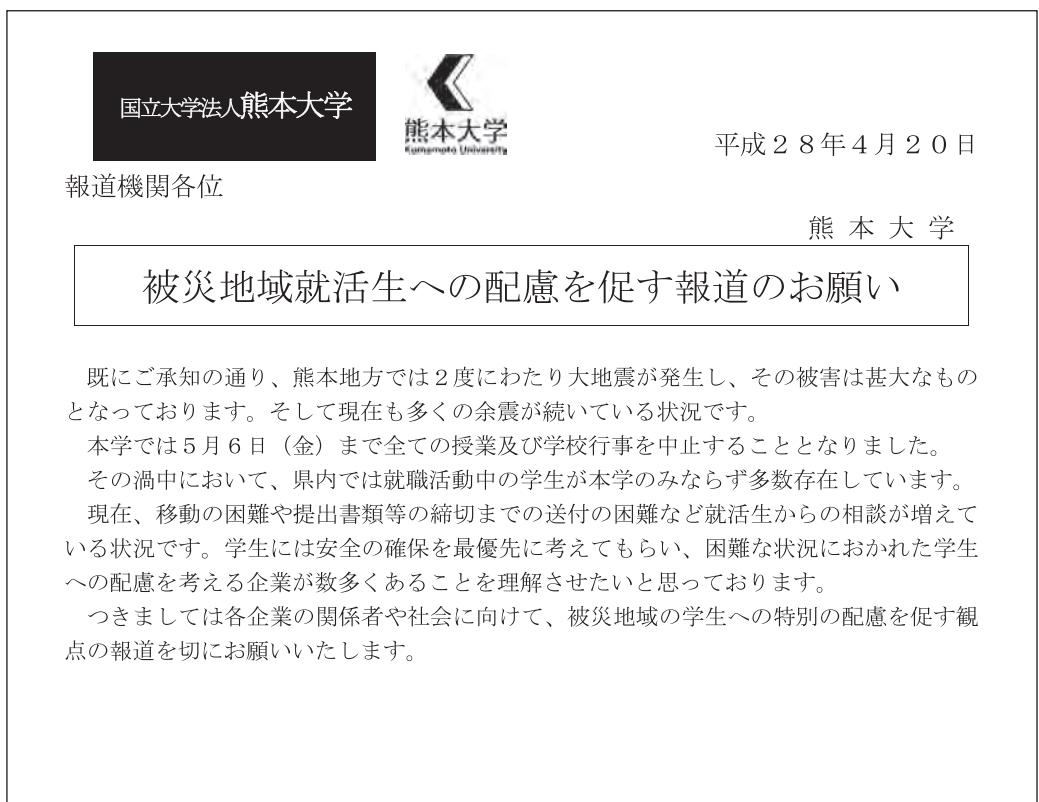
公式ホームページの情報を発信したが、学生の住居等の環境によっては閲覧できないことも想定されたことから、プレスリリースによる新聞記事やテレビ放送のテロップ等も利用した。

また、各研究室等は、LINEやTwitter等もを利用して情報発信を図った。

| 日 時 | 内 容 | 送付先 |
|-------|---|--|
| 4月20日 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度前期分授業料の口座振替を 5月27日(金)に延期 ・5月6日(金)まで全ての授業及び学校行事を中止 ・各企業の関係者や社会に向けての被災地域の 学生への配慮について | 熊本日日新聞社 朝日新聞社熊本総局 毎日新聞社熊本支局 西日本新聞社熊本総局 読売新聞熊本支局 日本経済新聞社熊本支局 共同通信社熊本支局 時事通信社熊本支局 NHK熊本放送局 (株)熊本放送 (株)テレビ熊本 (株)熊本県民テレビ 熊本朝日放送(株) |

| |
|---|
| 平成28年4月20日 |
| 報道機関 各位 |
| 国立大学法人熊本大学長 原田信志 |
| 平成28年熊本地震に伴う広報の協力依頼について |
| <p>標記の件について、本学の保護者及び学生等に対し、地震に伴う授業料の取扱い及び経済支援の状況を緊急に知らしめるため、広報の御協力をお願ひいたします。</p> <p>なお、本学においてもホームページへの掲載、保護者等への文書の送付など努力をしておりますが、現在の状況を御考慮いただきまして、重ねてお願ひいたします。</p> <p>1. 広報内容 「熊本大学では、今回の地震による影響を鑑み、4月27日(水)に予定しておりました平成28年度前期分授業料の口座振替を中止し、5月27日(金)に延期いたします。 なお、被災された学生を対象とした授業料免除制度を検討しており、準備ができましたら本学ホームページ等にてご案内いたします。」</p> <p>2. 広報方法 紙面掲載、テレビテロップ等</p> |

平成28年熊本地震に伴う広報の協力依頼について（4月20日(水)発信）



被災地域就活生への配慮を促す報道のお願い (4月20日(水)発信)

「平成28年熊本地震」に関する熊本大学の被害状況について

熊本県では、4月14日（木）21時26分に震度7（M6.5）の前震、同16日（土）1時25分に震度6強（M7.3）の本震が発生いたしました。

前震発生後、本学では速やかに対策本部を設置し、被害に関する情報収集を行いました。現時点（4月20日（水））で、人的被害としては、学生3名、教職員6名が軽傷を負ったとの状況を把握しております。

物的被害としては、文化財である五高記念館の煙突損傷落下をはじめ、同じく文化財である化学実験場、工学部研究資料館に一部倒壊の恐れ等の被害が出ており、使用を中止し、周囲を立ち入り規制しております。

また、その他の建物についても、応急危険度判定を行い、要注意建物と判定された工学部1号館及び旧外來臨末研究棟については立ち入りを制限しており、その他についても安全確認作業を行っているところです。さらに実験装置にも倒壊や落下等の被害が多数ありました。附属学校においても、校舎の天井崩落等の大きな被害が発生しています。一部の職員宿舎にも影響があり、退去させている例もあります。

医学部附属病院については、他の病院からの重傷患者の受け入れも含めて、地震により怪我をされた方を治療していますが、都市ガスの供給停止等により、一部支障が生じています。

なお、本学では前震直後から、避難所として黒髪北キャンパス体育館、グラウンドをはじめとする複数の施設を開放し、最大で約2,800名の学生や地域住民を受け入れています。不足する水、食糧、毛布等の物資については、九州大学が窓口となり、各大学から提供していただいております。

余震が続いているますが、大学として最大限の安全確保と教育研究環境の早期復旧に努めています。

1. 国指定重要文化財(五高記念館)の前で学長から説明を受ける馳大臣
2. 施設担当部長から被災状況の説明を受ける馳大臣
3. 学長から被災状況の説明を受ける馳大臣と木原議員

4月25日(月)文教ニュース掲載

5月16日(月)文教速報掲載

(7) 学内施設の被害確認、応急対応等

前震翌日から、施設担当職員約20名で建物の応急危険度判定、施設、ライフライン等の被害状況の確認、応急復旧及び立入規制等の措置を行った。

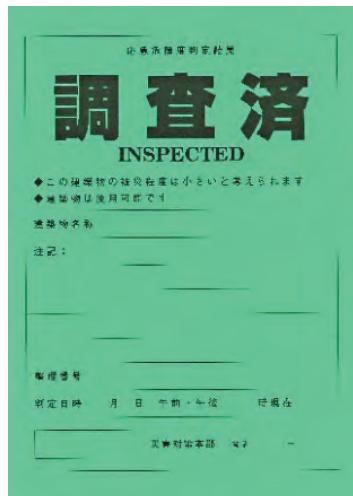
■ 応急危険度判定

| 日 時 | 対応内容 |
|-----------|--|
| 14日 21:26 | 前震 ・施設担当職員が各キャンパス建物の被害状況を確認 |
| 15日 | |
| 16日 1:25 | 本震 ・施設担当職員(応急危険度判定士と他1名のチーム)を3チーム編成して、各キャンパス建物の簡易の応急危険度判定を実施 |
| 22日 | ・本学での簡易応急危険度判定の結果「要注意」「危険」と判定された建物など13棟について、九州大学の職員(応急危険度判定士6名)の支援を受け、再度応急危険度判定を実施 |



※応急危険度判定とは

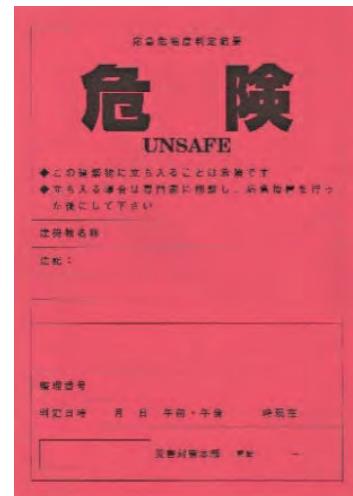
応急危険度判定士が大地震により被災した建築物を調査し、その後に発生する余震などによる倒壊の危険性などを判定することにより、人命にかかる二次的災害を防止すること。



この建物は使用可能



この建物に立ち入る場合は
十分に注意が必要



この建物に立ち入ることは危険

■ 応急危険度判定の結果

| 危険度 | 調査済 | 要注意 | 危険 | 計 |
|-------|-----------|--------|--------|-----|
| 棟数(%) | 266(95.7) | 6(2.2) | 6(2.2) | 278 |

■ 施設、ライフライン等の被害確認及び応急復旧等

| 日 時 | 対応内容 |
|---------------------|--|
| 14日 21:26 15日 | <p>前震</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部局等教職員及び施設担当職員が各キャンパスの施設、ライフラインの被害状況の情報を収集し現地を確認。施設担当職員が各キャンパス建物の被害状況を確認 |
| 16日 1:25 16日～17日 | <p>本震</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部局等教職員及び施設担当職員が施設、ライフラインの被害状況を現地で確認し、水漏れの止水、エレベータ等の再稼働対応や立入規制の措置を実施 |
| 18日～22日 | <ul style="list-style-type: none"> 被害が甚大な施設から順次調査を始め、部局等からの被害情報も含めて、被害状況の取りまとめを開始。22日には九州大学職員の支援を受け、応急危険度判定を再度実施。併せて応急復旧について業者に依頼。また、学長及び理事等による被害状況の現地確認も実施された。 |
| |   |
| 23日～28日 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、被害調査や被害状況の取りまとめを実施し、さらに5月9日の授業等再開に向けて附属小学校教室など早急に復旧する必要がある施設の仮復旧工事・応急修理を開始 |
| 29日～5月8日 | <p>文部科学省には、15日から26日まで計9回の災害速報を提出、また、26日に被害状況に関する災害報告を提出了。</p> <ul style="list-style-type: none"> 応急復旧工事や緊急対応等のため、早急に建設会社等と連携して安全確保を行った。また、5月9日以降の授業等再開に向けて、被害復旧状況の再確認及び危険箇所の立入規制も実施した。 |
| |   |
| | <p>附属小学校教室の仮復旧工事</p> <p>復旧工事の完了</p> |
| 9日～ | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、被害状況の再確認を実施、施設災害復旧の予算要求に向け、被害状況の記録、被害数量の確認、被害額の積算等を開始した。 <p>施設災害復旧の要求にあたっては膨大な書類が必要となるため、施設担当職員の作業に併せて設計事務所や建設会社への調査委託や他国立大学法人等の施設担当職員の支援（32大学、延べ294人）を受けて、8月には最終の取りまとめが完了、要求書を提出了した。</p> |

(8) 化学物質等への対応

薬品瓶の破損等による漏洩が発生、ほとんどの場所は現場で対処可能な範囲であったが、一部の実験室等で復旧支援が必要な場所があったため、九州工業大学教員の支援を受け、安全衛生担当職員がその対応を行った。

| 日 | 対応内容 |
|-----|--|
| 15日 | ・化学物質取扱場所の被害状況調査を開始 |
| 18日 | ・災害対策本部会議において「劇物・毒物・薬品等の整理・処分」についての具体対応方法を報告するとともに、同日の臨時部局長等連絡調整会議で各部局長等に周知した。 ・附属小学校の保管庫内で薬品容器が多数割れたため、薬品回収、換気、濃度測定を実施し、26日に基準値以下（事務所衛生基準規則 0.1mg/m3）であることを確認した。 |
| 19日 | ・自然科学研究科研究棟において、給水管が破断し各階に漏水し、加えて異臭がする階があるとの報告があったため、測定を行い、毒性の高いガスが発生していないことを確認した。また、廃液タンクを臨時配布し、漏えいした水を回収し、専門業者により不明廃液として成分分析を行った上で処理した。 |
| 20日 | ・ベンチャーラボ・衝撃極限環境研究実験棟において、給水管が破断し各階に漏水したため、薬品の漏洩及び廃液タンクからの漏洩を確認、21日に重金属が含まれていないことを確認し、排水処理を行った。 |
| 22日 | ・化学物質取扱場所の被害状況調査を開始し、5月2日に全ての化学物質取扱場所に立ち入りが可能であることを確認した。 ・理学部の有機合成系の実験室で薬品が大量に落下、破損したため、測定を行い、毒性の高いガスが発生していないことを確認したが、落下、破損した薬品が膨大であったため、九州工業大学の支援を受け、25日に復旧作業を実施、完了した。 |
| 25日 | ・附属小学校教室等仮復旧工事（天井ボード撤去等）による粉じん等が懸念されるため、環境測定を実施し粉じん濃度が基準値以下（事務所衛生基準規則 0.15mg/m3）であることを確認し、換気及び清掃を行った。 |



今回の地震では、幸いにして化学物質に起因する死亡、負傷は発生しなかったがその要因としては、次のことが挙げられる。

- ① 地震が発生時期が研究が活発に行われる時期ではなく、また、夜であったため学内に人が少なかつたこと。
- ② 火災爆発が発生しなかったこと。
- ③ 東日本大震災の教訓を活かし、平成23年度から転倒防止対策を全学で実施していたこと。

(9) 医学部附属病院

主要建物のうち病棟(西病棟…平成14年竣工、12階建て、東病棟…平成22年竣工、12階建て)及び中央診療棟(平成18年竣工、7階建て)は、再開発計画に基づく新営建物であるが、それらは免震構造であったことから、高層建物にもかかわらず、入院患者や医療システム、医療機器等に大きな被害はなかった。電気や水等のライフラインが停止したため手術の一部に影響が生じたが、自衛隊からの水の補給支援、電気やガス(中圧)は早期に復旧したため、その影響は小さく、病院としての機能を継続することができたことは非常に大きなことであった。

① 地震発生後の体制等

| 日 時 | 対応内容 |
|--------------------|--|
| 14日 21:26 22:00 | 前震発生 <ul style="list-style-type: none"> ・病院長を本部長とする「災害対策本部」設置 <ul style="list-style-type: none"> » 入院患者・宿直職員の安否、病院の被害状況の確認 » 救急搬送患者受入体制を構築し、初期対応を開始 |
| 15日 0:10 17:00 | <ul style="list-style-type: none"> ・第1回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> » 手術中患者の手術終了報告 » 建物被害の状況、ライフライン等の確認(停電なし、都市ガス停止、井水の濁り) » 患者受入については、医者10名(救急以外)及び看護師10名体制で対応 » 患者給食の搬送などの要員確保(エレベーター停止のため) » 職員の安否確認 » 15日の予定手術の実施を決定 ・第2回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> » 建物被害の状況、ライフライン等の確認(病棟で断水) » 職員の安否確認の状況 |
| 18日 7:30 11:00 | <ul style="list-style-type: none"> ・第3回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> » 各診療部門等から被害状況の報告、対応を検討 ・臨時運営審議会を開催 <ul style="list-style-type: none"> » 病院の基本方針と今後の診療体制に関する情報共有 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 入院患者・病院職員の人的被害状況(被害なし) ✓ 救急患者の受入状況 ✓ 熊本市民病院からの重症患者の受入状況、医療者の派遣予定 ✓ ライフラインの回復状況 ✓ エレベーター及びエスカレーターの復旧見通し、建物内の通行禁止区域の設定 ✓ 支援物資の受入状況、東病棟12階に仮眠室の設置 ✓ 各中央診療施設等における現状報告 ✓ 診療科長及び医局長の緊急連絡先確認のための協力依頼 ✓ 他院からの患者受入について ✓ 他院からの医療従事者の応援受入について ✓ 本日の外来診療休診について(手術は実施) |
| 18:00 | <ul style="list-style-type: none"> ・第4回災害対策本部会議 <ul style="list-style-type: none"> » 各診療部門等から現状報告 » 建物被害の状況、ライフライン等の確認(井水の復旧(飲用は不可)) » 職員の安否確認 |

| 日 時 | 対応内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|-------|-------|------|------|---|-----|-----|-----|-----|------|-------|-------|------|------|---|----|----|----|----|-----|
| 19～27日 | <ul style="list-style-type: none"> 毎日 18 時から災害対策本部と院内各部署の拡大会議を開催 病院機能の復旧状況の確認と問題点の解決を図る  | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 28～5月6日 | <ul style="list-style-type: none"> 学校・保育園などの休校・休園 休校及び医師・看護師等が診療等業務に従事するため、職員の子供のための院内学童保育を実施（医学部学生を中心に延べ 90 名の協力、院外から保育士 2 名他） 院内保育所の受け入れ拡充 <p>■ 臨時学童保育所（小学生、中学生が対象）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>4月27日</th> <th>4月28日</th> <th>5月2日</th> <th>5月6日</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31名</td> <td>39名</td> <td>49名</td> <td>47名</td> <td>166名</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 院内保育所（2ヶ月～6歳が対象）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>4月27日</th> <th>4月28日</th> <th>5月2日</th> <th>5月6日</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5名</td> <td>5名</td> <td>4名</td> <td>6名</td> <td>20名</td> </tr> </tbody> </table> | 4月27日 | 4月28日 | 5月2日 | 5月6日 | 計 | 31名 | 39名 | 49名 | 47名 | 166名 | 4月27日 | 4月28日 | 5月2日 | 5月6日 | 計 | 5名 | 5名 | 4名 | 6名 | 20名 |
| 4月27日 | 4月28日 | 5月2日 | 5月6日 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 31名 | 39名 | 49名 | 47名 | 166名 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4月27日 | 4月28日 | 5月2日 | 5月6日 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5名 | 5名 | 4名 | 6名 | 20名 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

■ 院内ライフラインの経時的状況



※ライフラインの影響は多少あったが、診療施設である病棟及び中央診療棟は、免震化が図られていたため、診療に影響するような被害はなかった。

■ 支援物資の受け入れ

国立大学病院長会議の「災害時における国立大学病院相互支援に関する協定」に基づき、九州地区の幹事大学である九州大学病院が窓口となり、近隣の九州地区国立大学病院及び九州地区私立大学病院から、飲料水を中心に不足が予想される患者給食関連の食材及び職員用の非常食の支援をいただいた。また、全国の大学病院や医療機関、自治体、その他多くの方々からも支援をいただいた。

なお、医薬品や医療材料については、通常どおりの納入が確保されていたため、支援の要請は必要としなかった。



② 患者の受け入れ

19日から手術を含む通常の診療体制を再開した。

■ 救急搬送患者(地震関連含む)の受け入れ(14～27日)

| | |
|---------------------|-------------|
| 患者数()は、地震関連で内数 | 575名 (303名) |
| うち入院患者数()は、地震関連で内数 | 199名 (158名) |

■ 他医療機関の重症患者の受け入れ

| | |
|--|-------------|
| 重症患者数(16～20日) ()は、熊本市民病院からの移送患者で内数 | 101名 (84名) |
| 産科患者数(15～27日) | 39名 |
| N I C U患者数(15～27日) | 11名 |

■ 医療機関で診療継続が困難な患者の受け入れ(15～27日)

| | |
|-------|------------|
| 透析患者数 | 42名 (106件) |
| 化学療法数 | 18名 (19件) |

■ 医療機関で診療継続が困難な患者の受け入れ(15～27日)

| 日(曜日) | 外来患者数 | 手術件数(緊急手術) |
|--------|-------|------------|
| 18日(月) | 461 | 14(3) |
| 19日(火) | 919 | 18(3) |
| 20日(水) | 1,011 | 27(1) |
| 21日(木) | 926 | 24(2) |
| 22日(金) | 1,166 | 33(2) |
| 25日(月) | 1,353 | 35(2) |
| 26日(火) | 1,200 | 18(1) |



③ 院内外の活動(医師、看護師の派遣など)

■ 熊本市民病院等からの受け入れ

【14日前震時】

救急搬送患者受入に係るトリアージ(注)エリアを時間外出入口(屋外)、赤エリア(重症)を時間外出入口(屋内)、黄エリア(中等症)を外来B・Cブロック、緑エリア(軽傷)を外来待合に配置し、受け入れ体制を確保した。救急患者数24名(震災関連)を受け入れたものの、当日は他病院からの受け入れはなかった。

(注)トリアージ…大災害により多数の負傷者が発生した際に、現場で傷の程度を判断し、治療や搬送の順番を決めるここと。

【16日本震時】

14日同様、救急搬送患者受入に係るトリアージエリアを時間外出入口(屋外)、赤エリア(重症)を時間外出入口(屋内)、黄エリア(中等症)を中央放射線受付前、緑エリア(軽症)を透視室前の屋外に計3カ所配置し、受け入れ体制を確保した。16日から27日までに、救急患者数279名(震災関連)を受け入れた(表1)。また、市民病院等から合計101名の入院患者を受け入れた(表2)。

(表1)

熊本地震発生後の救急患者受け入れ

| 日 | 救急患者数 | 内)入院患者数 |
|------------|----------|----------|
| 14日22:00以降 | 16(7) | 1(1) |
| 15日 | 25(17) | 10(8) |
| 16日 | 170(123) | 110(105) |
| 17日 | 58(31) | 8(5) |
| 18日 | 48(22) | 12(8) |
| 19日 | 43(17) | 11(9) |
| 20日 | 33(16) | 9(6) |
| 21日 | 32(16) | 4(3) |
| 22日 | 28(15) | 9(5) |
| 23日 | 38(16) | 7(3) |
| 24日 | 31(9) | 2(1) |
| 25日 | 17(4) | 4(0) |
| 26日 | 19(6) | 7(3) |
| 27日 | 17(4) | 5(1) |
| 計 | 575(303) | 199(158) |

※()は地震関連患者数

(表2)

<入院>

| | 熊本市民病院 | 熊本赤十字病院 | 地域医療センター | 森都総合病院 | その他 | 日 計 |
|-----------|--------|---------|----------|--------|-----|-----|
| 16日他院受け入れ | 76 | 6 | 5 | 2 | 1 | 90 |
| 17日他院受け入れ | 2 | | | 1 | | 3 |
| 18日他院受け入れ | 2 | | | | 1 | 3 |
| 19日他院受け入れ | 1 | | | | 1 | 2 |
| 20日他院受け入れ | 3 | | | | | 3 |
| 計 | 84 | 6 | 5 | 3 | 3 | 101 |



■ 小児心臓血管外科チーム

熊本市民病院の小児心臓外科は、熊本県内で小児心臓手術を行う唯一の施設(150例/年)であったが、建屋の損害が大きく手術等を行うことが困難となった。そのため、N I C Uを有し、また、肝移植を始め多数の小児の手術及び成人の心臓血管外科手術を実施し、施設や設備が整っている本院と熊本市民病院との間で、6月20日付けで契約を取り交わし、受け入れを開始することになった。

